

InternetDisk ASP

メンバーマニュアル

2023/6/19 版

ジャストシステムは、個人情報保護コンプライアンス・プログラムを策定し、お客様情報の保護を図っています。利用規約にて定めるとおり、InternetDisk ASP に関する業務以外の目的でお客様情報を使用することはありません。

- 本商品は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、本商品にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
 - 「インターネットディスク」「InternetDisk」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
 - Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Mac、macOS、Safari は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Google Chrome は、米国 Google LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Adobe Reader、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
 - 商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、弊社は商標使用許諾を受けています。
 - その他記載された会社名、商品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
 - 本マニュアル（紙媒体または電子データで提供するものを含みます）は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。
- 使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。
1. お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出したりすることはできません。
 2. マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

目次

InternetDisk ASP 概要	8
InternetDisk ASP とは.....	8
InternetDisk ASP の特長.....	8
InternetDisk ASP の関係者.....	9
インターネットディスク事務局.....	9
パートナー.....	9
お客様.....	10
InternetDisk ASP を利用するまでの手順.....	10
InternetDisk ASP の契約を申し込む.....	11
メンバーを InternetDisk ASP へ登録する.....	11
共有ディスクを作成し、共有メンバーを設定する.....	11
共有フォルダを作成し、アクセス権を設定する.....	11
メンバーが InternetDisk ASP を利用する.....	13
InternetDisk ASP を利用するためのツール.....	13
Web ブラウザ上で使うツール.....	13
セットアップして使うツール.....	14
通知メール.....	15
共有アドレス通知メール.....	15
非日本語環境で InternetDisk ASP を使う.....	16
セキュリティを確保する.....	16
パスワードを正しく管理する.....	16
メンバーとアクセス権を管理する.....	16
SSL 通信を設定する.....	16
InternetDisk ASP のセキュリティ機能を設定する.....	17
オプションサービス.....	18
個人ディスク.....	18
共同編集機能.....	18
ウイルスチェックサービス.....	19
アクセスログ.....	19
自動実行機能.....	20
ワンタイム伝送.....	20
InternetDisk ASP を利用する	23
使用するツール.....	23
Web ビュー.....	23
InternetDisk ディスクマネージャ ASP.....	24
Web ビューを使う	26

Webビューの開始と終了	26
Webビューで InternetDisk ASP にログインする	26
ログイン用パスワード を忘れた場合	27
パスワード 有効期限とログイン有効期限	27
エラーが発生してログインできない場合	28
Webビューの言語設定を切り 替える	29
ログイン用パスワード を変更する	30
InternetDisk ASP の運用状況を確認する	31
ログアウト する	31
共有フォルダを開く	32
ディスク一覧から共有フォルダを開く	32
URL を指定して直接共有フォルダを開く	32
[オプション] 個人ディスクを開く	32
別のフォルダを開く	33
下のフォルダを開く	33
上のフォルダを開く	33
フォルダ階層を確認する	33
共有ディスクを切り 替える	33
フォルダを切り 替える	34
フォルダの内容を調べる	34
フォルダやファイルの並び順を変更する	34
画像ファイルをサムネイル表示する	35
フォルダやファイルの詳細情報を表示する	36
[オプション] ウイルスチェック結果を確認する	37
ファイルをダウンロード する	37
ファイルをダウンロード する	37
ファイルをアップロード する	38
ファイルをアップロード する	39
アップロード のときに通知メールを確認・設定する	40
フォルダの下に別のフォルダを作成する	43
フォルダやファイルを移動する	43
フォルダやファイルをコピーする	43
フォルダやファイルを削除する	43
フォルダやファイルの名前を変更する	44
ファイルを検索する	44
ファイル検索を開始する	44
ファイル検索結果	46
ほかのメンバーに情報を連絡する	46
共有メンバーを確認する	46
ファイルのダウンロード 状況を確認する	47
共有アドレス通知を送信する	48
共有アドレス通知の設定項目	48
[オプション] ワンタイム伝送機能を利用する	49

ワンタイム伝送機能とは.....	49
ワンタイム伝送の手順.....	50
ワンタイム伝送の運用ルール.....	51
ワンタイム伝送を開始する.....	51
伝送用フォルダを削除する.....	54
ワンタイム伝送用にメールアドレスを登録する.....	55
ゲストがファイルをダウンロードする.....	56
ワンタイム伝送のダウンロード通知を受け取る.....	59
ディスクマネージャを使う.....	60
ディスクマネージャの開始と終了.....	60
ディスクマネージャをダウンロードする.....	60
ディスクマネージャをセットアップする.....	60
ディスクマネージャを起動してログインする.....	61
ディスクマネージャから InternetDisk ASP へログインする.....	61
パスワード有効期限とログイン有効期限.....	62
エラーが発生してログインできない場合.....	63
ディスクマネージャを終了する.....	63
ディスクマネージャの画面.....	64
表示するディスクやフォルダを切り替える.....	65
表示可能なディスク/フォルダ.....	65
表示するディスクやフォルダの種類を切り替える.....	65
ファイルやフォルダの情報を表示する.....	68
画面を最新の情報に更新する.....	68
表示方法を切り替える.....	68
サムネイル表示する.....	68
フォルダやファイルを整列させる.....	69
ディスク容量と空き容量を確認する.....	69
フォルダやファイルのプロパティを表示する.....	70
SSL の証明書を表示する.....	70
2つの画面間でフォルダやファイルをコピーする.....	71
ドラッグ&ドロップでコピーする.....	71
右画面にコピーする.....	71
左画面にコピーする.....	71
共有アドレスを通知する.....	72
アップロード時にメール通知する.....	72
画面に表示している共有フォルダなどをメール通知する.....	75
通知メールの設定.....	76
ダウンロード情報を確認・設定する.....	77
フォルダやファイルを操作する.....	77
ファイルを開く.....	77
フォルダを作成する.....	77
フォルダやファイルの名前を変更する.....	78

フォルダやファイルを削除する	78
フォルダやファイルを移動する	78
フォルダやファイルをコピーする	78
ディスクマネージャを設定する	79
ディスクマネージャの設定項目	79
ログイン用パスワードを変更する	80
ディスクマネージャの情報を表示する	80
ディスクマネージャのバージョンを確認する	81
ディスクマネージャを自動更新する	81
[オプション] 共同編集機能	81
共同編集機能を利用するには	81
共同編集用のメニュー	82
共同編集の手順	82
共同編集を開始する	83
共同編集ファイルを編集する	85
共同編集の履歴を表示する	87
共同編集を確定する	88
共同編集を終了する	88
[オプション] 同期ツールを使う	89
同期ツールの開始と終了	89
同期ツールをダウンロードする	89
同期ツールの動作環境	89
同期ツールをセットアップする	90
同期ツールを終了する	90
同期をとる	91
同期の必要性を確認する	91
同期をとる	91
同期の対象となるファイル一覧を表示する	93
ディスク容量を確認する	93
同期ツールを設定する	94
同期ツールのオプションを設定する	94
同期対象フォルダを変更する	94
個人ディスクのファイルをすべて削除する	95
同期ツールのバージョンを確認する	96
同期ツールを更新する	96
ログインアグリゲータを使う	97
概要	97
ログインアグリゲータとは	97
ログインアグリゲータの開始と終了	99
ログインアグリゲータをダウンロードする	99
ログインアグリゲータをセットアップする	99

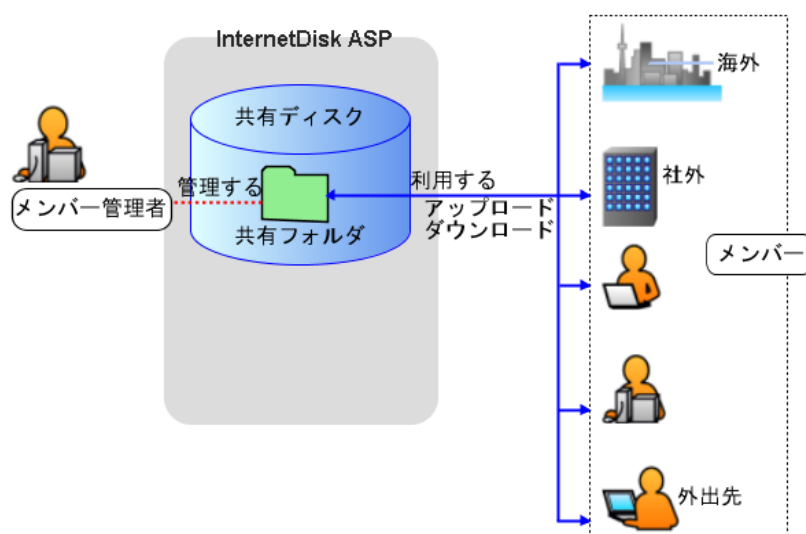
ログインアグリゲータを初めて起動する	99
ログインアグリゲータを起動する (2回目以降)	100
ログインアグリゲータを終了する	100
使い方	101
アカウント 情報セット の登録	101
InternetDisk ASP にログインする	105
ログインアグリゲータの設定	105
ログインアグリゲータの情報を表示する	107
ログインアグリゲータを自動更新する	108
InternetDisk ASP 関連以外のプログラムの登録	108
付録	111
新機能と改良点	111
2023.6.19 版での主な改良・変更ポイント	111
2012.10.17 版での主な改良・変更ポイント	111
2012.2.15 版での主な改良・変更ポイント	111
2011.12.12 版での主な改良・変更ポイント	111
2010.06.21 版での主な改良・変更ポイント	112
2008.12.15 版での主な改良・変更ポイント	112
2008.09.28 版での主な改良・変更ポイント	112
2007.07.08 版での主な改良・変更ポイント	112
2007.02.13 版での主な改良・変更ポイント	112
2006.10.15 版での主な改良・変更ポイント	112
2006.06.25 版での主な改良・変更ポイント	113
2006.02.05 版での主な改良・変更ポイント	113
2005.08.07 版での主な改良・変更ポイント	113
2005.01.24 版での主な改良・変更ポイント	114
通知メール一覧	115
メンバーに送信される通知メール一覧	115
ワンタイム伝送機能のゲストに送信される通知メール一覧	116
メンバーの状況別お問い合わせ先一覧	117
エラーメッセージ一覧	118
Webビュー エラーメッセージ一覧	118
パスワード 変更・再設定時のエラーメッセージ一覧	124
ゲスト ログイン時のエラーメッセージ一覧	124
InternetDisk ディスクマネージャ ASP エラーメッセージ一覧	125
共同編集機能のエラーメッセージ一覧	127
InternetDisk 同期ツール ASP エラーメッセージ一覧	128
ログインアグリゲータ エラーメッセージ一覧	130

第1部 InternetDisk ASP 概要

InternetDisk ASP 概要

InternetDisk ASP とは

InternetDisk ASP は、インターネット上のディスク領域（インターネットディスク）を共有ディスクとして利用し、登録したメンバー間でファイルを受け渡すシステムです。メンバーは、インターネットに接続可能な環境でコンピュータを使っていればどこからでも InternetDisk ASP を利用できます¹。そのため InternetDisk ASP によって、社外の方などの大容量データの受け渡しや情報共有を実現できます。



InternetDisk ASP の特長

セキュリティの確保

InternetDisk ASP ではセキュリティを確保するためにさまざまな工夫をしています。ただしセキュリティを維持するため、お客様に気をつけていただくことがあります。
→P.16 セキュリティを確保する

さまざまな環境からの利用

InternetDisk ASP は、macOS や非日本語環境にも対応しています。
→P.13 InternetDisk ASP を利用するためのツール

通知メールによる連絡

メンバーを登録するときやファイルをアップロードしたときなど、連絡が必要な場面で通知メールが自動的に送信されます。この機能により、ファイルの受け渡しに関する連絡や操作方法の案内などがスムーズに行われます。
→P.15 通知メール

¹ メンバー管理者が IP アドレス制限を設定した場合には、許可されていないネットワークから InternetDisk ASP を利用することはできません。

補足：InternetDisk ASP と個人向けインターネット ディスクの違い

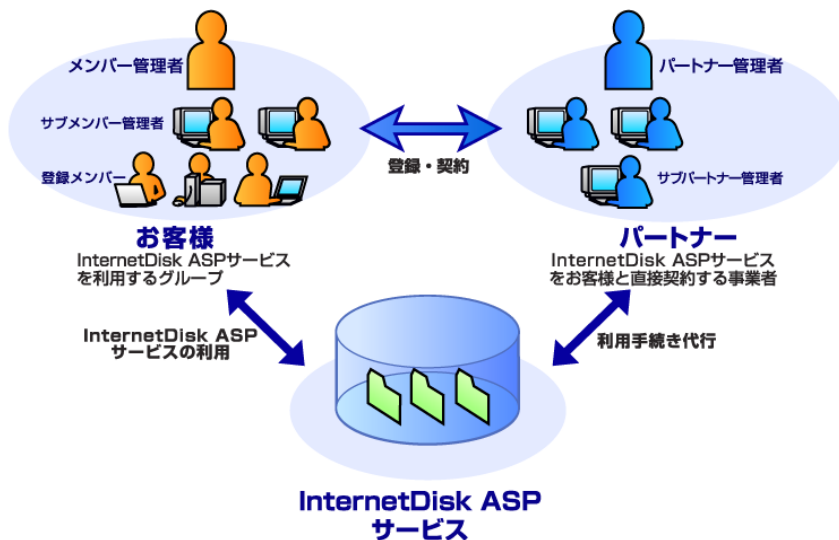
ジャストシステムでは、複数のメンバーで共有するファイルを扱う InternetDisk ASP とは別に、個人向けインターネット ディスクを提供しています。なお InternetDisk ASP では、個人用のファイルを扱うためのオプションサービスとして、個人ディスクを用意しています。

→P.18 個人ディスク

InternetDisk ASP の関係者

InternetDisk ASP の関係者は、次のとおりです。

- インターネット ディスク事務局
- パートナー
- お客様
 - メンバー管理者とサブメンバー管理者
 - メンバー



インターネット ディスク事務局

インターネット ディスク事務局は株式会社ジャストシステムの社内に設置されており、InternetDisk ASP を運用・サポートしています。

パートナー

パートナーは、InternetDisk ASP の販売事業者です。InternetDisk ASP は、ジャストシステムが直接サービスを提供する場合と、パートナー経由で提供場合があります。パートナー経由の場合、料金のお支払いや契約の更新などをパートナーが担当します。一方、ディスク領域の提供やメンテナンスなどはパートナー経由の場合でもジャストシステム社内のインターネット ディスク事務局が担当します。運用状況などはインターネット ディスク事務局からお客様へ直接連絡します。

お客様

お客様は、InternetDisk ASP を利用する会社などの組織です。それぞれのお客様には、お客様 ID が 1 つ割り当てられます。お客様の中にはメンバー管理者とサブメンバー管理者、およびメンバーが含まれます。

メンバー管理者とサブメンバー管理者

それぞれのお客様の中には必ず 1 人のメンバー管理者がいて、管理者 ID とパスワードが割り当てられます。メンバー管理者の業務は、メンバーの登録・共有ディスクの管理・セキュリティの設定などです。

また、メンバー管理者はサブメンバー管理者を登録し、共有ディスクの管理など業務の一部を委託することもできます。サブメンバー管理者は 19 人まで登録でき、それぞれのサブメンバー管理者に管理者 ID とパスワードが割り当てられます。

メンバー

メンバーは、事前に登録された InternetDisk ASP の利用者です。共有ディスクにファイルをアップロードしたり、共有ディスクからファイルをダウンロードしたりします。1 つのお客様の中には通常、複数のメンバーが登録され、それぞれのメンバーにメンバー ID とパスワードが割り当てられます。メンバーは InternetDisk ASP を利用するために、お客様 ID・メンバー ID・パスワードが必要です。

補足：メンバー管理者が直接 InternetDisk ASP を利用することはできません

メンバー管理者は、ファイルのアップロードやダウンロードなどといった InternetDisk ASP の利用はできません。InternetDisk ASP を利用するには、メンバー管理者自身をメンバーとして登録してログインする必要があります。

InternetDisk ASP を利用するまでの手順

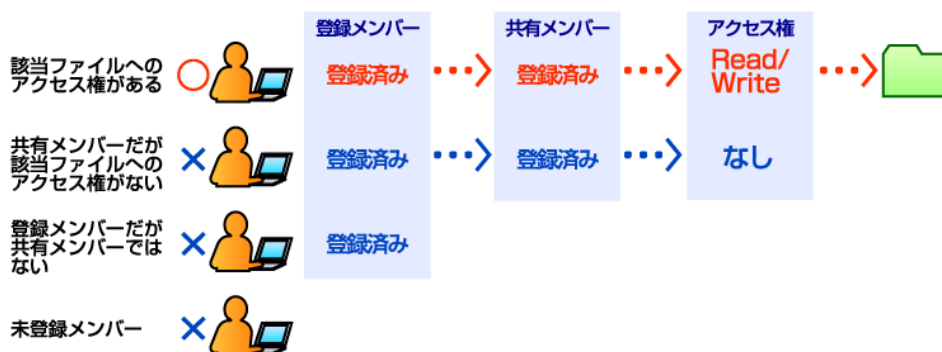
お客様が InternetDisk ASP を利用するまでの手順は、次のとおりです。

1. InternetDisk ASP 利用契約を申し込む
2. メンバー管理者がメンバーを InternetDisk ASP に登録する
3. メンバー管理者が共有ディスクを作成し、共有メンバーを設定する
4. メンバー管理者が共有フォルダを作成し、アクセス権を設定する
5. メンバーが InternetDisk ASP を利用する

メンバーはファイルのアップロードやダウンロードなどをすることで、データを受け渡します。

補足：共有ディスクと共有フォルダを設定してください

メンバーは、InternetDisk ASP に登録されただけではサービスを利用できません。メンバー管理者によって共有メンバーとして共有ディスクに登録され、さらに共有フォルダのアクセス権を付与されることで利用できるようになります。



InternetDisk ASP の契約を申し込む

InternetDisk ASP を利用するには、ジャストシステムかパートナーに契約を申し込む必要があります。また、InternetDisk ASP の契約にはさまざまなコースやオプションがあり、契約の内容によって利用できるサービスが異なります。

メンバー管理者はオンラインのツールを使って契約の内容を確認したり、契約内容を即時に変更したりできます。ただし契約を変更する場合は、ジャストシステムかパートナーに書面で依頼しなければならない場合もあります。

メンバーを InternetDisk ASP へ登録する

メンバーの InternetDisk ASP への登録は、お客様ごとにメンバー管理者が行います。登録可能なメンバー数は、契約によってお客様ごとに定められます。メンバー管理者は、メンバー情報の変更やメンバーの削除をいつでもできます。

共有ディスクを作成し、共有メンバーを設定する

共有ディスクは、メンバー管理者が作成します。1 か所のお客様が複数の共有ディスクを作成することもできます。

作成した共有ディスクには、ディスクごとに共有メンバーを設定します。1 人のメンバーを複数の共有ディスクの共有メンバーに設定することもできます。

メンバーは、共有メンバーとして設定された共有ディスクだけを利用できます。共有メンバーとして設定されていない共有ディスクは利用できません。

補足：共有ディスクの直下にファイルを置くことはできません

ファイルは、共有ディスクの下に作成する共有フォルダの下に置きます。

共有フォルダを作成し、アクセス権を設定する

共有フォルダは、メンバー管理者が共有ディスクの下に作成します。1 つの共有ディスクの下に複数の共有フォルダを作成することもできます。

InternetDisk ASP のファイルは、共有フォルダの下に置きます。また、共有フォルダの下にフォルダを作成し、その下にファイルをアップロードしたり別のフォルダを作成したりすることもできます。

共有フォルダのアクセス権

作成した共有フォルダでは、共有ディスクを共有しているすべてのメンバーに対して「なし」「Read」「Blind Read」「Read/Write」のいずれかのアクセス権を付与します。

アクセス権「なし」のメンバー

共有フォルダにアクセスできません。

アクセス権「Read」のメンバー

共有フォルダの内容を調べたり、ファイルを開いたり、ダウンロードできます。ただし、ファイルのアップロードや、共有フォルダ内にあるファイルの移動・コピー・削除、フォルダの作成はできません。また、共有フォルダにアクセス権を持つすべての共有メンバーを確認できます。

アクセス権「Blind Read」のメンバー

メンバーがお互いの存在を知ることなくファイルを共有するようにしたい場合に、メンバー管理者はこのアクセス権を設定します。このアクセス権を持つメンバーはそれぞれ、同じ権限を持つメンバーの存在をお互いに知らないまま、共有フォルダにアップロードされたファイルを受け取れます。

アクセス権「Blind Read」のメンバーは「Read」のメンバーと同様に、共有フォルダの内容を調べたり、ファイルを開いたり、ダウンロードしたりできます。ただし、ファイルのアップロードや、共有フォルダ内にあるファイルの移動・コピー・削除、フォルダの作成はできません。また、「Read」または「Read/Write」の共有メンバーを確認できます。

一方、アクセス権「Read」のメンバーとは異なり、自分以外で「Blind Read」のアクセス権を持つメンバーの存在を知ることができません。逆に、自分以外で「Blind Read」のアクセス権を持つメンバーからも、「Blind Read」のメンバーは確認できません。

		ほかの共有メンバーのアクセス権		
		Read/Write	Read	Blind Read
自分の アクセス権	Read/Write から	○	○	○
	Read から	○	○	○
	Blind Read から	○	○	×

「Blind Read」のメンバーには、画面や通知メールに「Read」と表示されます。

アクセス権「Read/Write」のメンバー

ファイルのアップロードや、共有フォルダ内にあるファイルの移動・コピー・削除、フォルダ作成ができます。アクセス権「Read」のメンバーと同様に、共有フォルダの内容を調べたり、ファイルを開いたり、ダウンロードしたり、アクセス権を確認したりすることもできます。

共有フォルダの下に作成するファイルやフォルダは、共有フォルダと同じアクセス権が設定されます。共有フォルダと異なるアクセス権を設定することはできません。

メンバーが InternetDisk ASP を利用する

登録され、共有するディスクと共有フォルダへのアクセス権が設定されたメンバーは、InternetDisk ASP にログインすることで、ファイルのアップロードやダウンロードなどができます。

ログインに必要な情報や InternetDisk ASP の使い方は、通知メールに記載されます。

→P15 通知メール

InternetDisk ASP を利用するためのツール

InternetDisk ASP を利用するためには、次のツールを使います。

分類	ツール名	対象	対応 OS	非日本語環境
Webブラウザ上で使うツール	パートナー管理者ツール	パートナー	Windows macOS	非対応
	メンバー管理者ツール	メンバー管理者		対応
	Webビュー	メンバー		
セットアップして使うツール	ログインアグリゲータ	メンバー管理者、 メンバー	Windows	非対応
	同期ツール	メンバー		
	ディスクマネージャ			対応*1

InternetDisk ASP の利用者は、こうしたツールは自由にダウンロードできます。

*1 英語版のディスクマネージャをセットアップする必要があります。ただし、英語版はノンサポートでのご提供となります。あらかじめご了承ください。

Webブラウザ上で使うツール

InternetDisk ASP は、Webブラウザ上で使うパートナー管理者ツール・メンバー管理者ツール・Webビューでほとんどの作業ができます。これらのツールはWebブラウザがインターネットに接続できる状態になっていれば使うことができ、ソフトウェアをセットアップする必要はありません。また、macOS上のWebブラウザから使うこともできます。

パートナー管理者ツール

パートナー管理者やサブパートナー管理者用のツールです。お客様の登録や契約の変更など、パートナー業務ができます。

メンバー管理者ツール

メンバー管理者やサブメンバー管理者向けのツールです。メンバーの登録やディスクや共有フォルダの作成・設定など、ほとんどのメンバー管理者業務ができます。

注意：メンバー管理者業務やパートナー業務は、非日本語環境ではできません

Webビュー

メンバーが使うツールです。このツールからはファイルのアップロードやダウンロードなどの作業ができます。Webブラウザからログイン画面 (<https://www.idiskasp.com/>) へログインすることで利用できます。



メンバーメニュー

Webビューは、macOS や非日本語環境で使うこともできます。非日本語環境では、英語が用いられます。

メンバーメニュー

Webビューのログイン画面には、メンバーメニューが表示されます。このメニューからは、共有ディスクや各種オプションの利用方法を参照できます。また、InternetDisk ASP に関連するツールやマニュアルのダウンロード、パスワードの変更などもできます。

セットアップして使うツール

ディスクマネージャ・同期ツール・ログインアグリゲータは、Windows にセットアップして使うツールです。この3つのツールを使うには、あらかじめお使いのコンピュータにセットアップしておく必要があります。セットアップしたり使用したりするときは、Windows の管理者権限が必要です。なお、macOS では、これらのツールは使えません。

注意：環境により、セットアップして使うツールは使用できません

macOS をお使いの場合、ディスクマネージャ・同期ツール・ログインアグリゲータは使用できません。また、非日本語環境では、同期ツール・ログインアグリゲータは使用できません。こうした環境で InternetDisk ASP を利用するには、Webビューを使用します。

ディスクマネージャ

Webビューと同じく、メンバーがファイルのアップロードやダウンロードなどの作業を行うためのツールです。このツールでは、ドラッグ&ドロップでファイルを操作できます。

また、複数のファイルや、フォルダ内にあるすべてのファイルをまとめて操作することもできます。なお、オプションサービスである共同編集機能を利用する場合は、このツールが必要です。

→P.18 共同編集機能

同期ツール

オプションサービスである個人ディスクを利用している場合に、お使いのコンピュータのフォルダと個人ディスクの内容を同期させるツールです。

→P.18 個人ディスクのフォルダを同期する

ログインアグリゲータ

Web ビューやディスクマネージャをアカウント情報ごと登録できるツールです。

複数のアカウントを切り替えて利用しているメンバーは、このツールを使うとアカウントを切り替えてログインする手間を省くことができます。

なお、ログインアグリゲータには、メンバー管理者ツールも登録できます。

通知メール

InternetDisk ASP では、必要な情報を関係者のメールアドレス宛に通知メールを送信して連絡します。通知メールが送信されるのは、例えば次の場面です²。

場面	送信先
メンバー管理者がメンバーを登録する	メンバー
メンバー管理者がメンバーに共有フォルダのアクセス権を付与する	
メンバーが別のメンバーに共有アドレス通知メールを送信する	
メンバー管理者かパートナーにより、契約が変更される	メンバー管理者 パートナー

通知メールは、場面に応じて自動的に送信されます。また、メールの見出しを変更したり、本文にメッセージを追加したりできる場合もあります。

通知メールの送信先となる関係者は、操作方法・共有アドレス (URL) ・通知 ID などの連絡をメールで受けることとなります。

共有アドレス通知メール

通知メールの一種である共有アドレス通知メールは、ファイルをアップロードしたときなどに送信されます。共有アドレス通知メールには、共有フォルダまたはその配下のフォルダの共有アドレス (URL) と通知 ID が記載されます。

共有アドレスは Web ビューで共有フォルダやその配下のフォルダへアクセスする場合に利用します。Web ブラウザで連絡された共有アドレスを開くことで、すばやく目的の共有フォルダやその配下のフォルダを開くことができます。

通知 ID は、ディスクマネージャで共有フォルダやその配下のフォルダへアクセスする場合に利用します。

²通知メールの一覧は、マニュアルの付録にあります。

非日本語環境で InternetDisk ASP を使う

海外など非日本語環境でコンピュータを利用している方が InternetDisk ASP を利用する場合は、メンバーとして登録するときに通知メールの言語を英語に設定し、英語の通知メールが送信されるようにします。

通知メールの言語はメンバーごとに設定するため、1つのお客様の中に日本語のメンバーと英語のメンバーを混在させることもできます。

非日本語環境で InternetDisk ASP を使うメンバーは、英語版 Web ビューや英語版ディスクマネージャを使います。英語の通知メールでは、英語版 Web ビューの操作方法や URL を連絡します。

※ 英語版ディスクマネージャはノンサポートでのご提供となります。

※ 同期ツールは非日本語環境で使うことはできません。

セキュリティを確保する

InternetDisk ASP では、セキュリティの確保を重視しています。

InternetDisk ASP のデータは、金融・証券会社と同等レベルのセキュリティをもつデータセンターで多重化して保管されています。そのため、ディスクの故障によるデータの破損や物理的なデータ盗難の危険性は少なくなっています。

しかし、お客様が設定したパスワードが破られた場合やお客様のメンバーに不適切な権限が付与された場合などにはセキュリティを確保できません。ここでは、セキュリティを確保するために気をつけていただきたい点をご説明します。

パスワードを正しく管理する

パスワードを破られた場合、メンバー管理者やメンバーになりすまして不正にログインした侵入者が、データを漏えい・破壊・改ざんする危険性があります。こうした事態を防ぐには、次の点に注意してください。

- パスワードが記載された通知メールが届いたら、すぐに変更する
通知メールの内容はインターネット上で漏えいする可能性があります。
- パスワードは他人に知られないようにする
- パスワードは定期的に変更する

メンバーとアクセス権を管理する

InternetDisk ASP を利用する必要がなくなったメンバーはこまめに削除してください。また、メンバーには必要最小限の共有ディスクや、共有フォルダへのアクセス権を設定するようにしてください。例えば、ファイルをダウンロードするだけのメンバーに共有フォルダのアクセス権を付与する場合は、「Read/Write」ではなく「Read」を設定してください。

SSL 通信を設定する

SSL (Secure Socket Layer) は、暗号などの技術を用いてインターネット上での安全な通信を提供します。パートナー管理者ツールやメンバー管理者ツールは、必ず SSL 通信が設

定されます。一方、メンバーが InternetDisk ASP を利用する場合は SSL 通信と通常の通信のどちらにも設定することもできますが、セキュリティの観点から SSL 通信によるアクセスを推奨します³。通常の通信では暗号化されていないデータがインターネット上を流れるため、通信中にデータが漏えいする危険性があります。

InternetDisk ASP のセキュリティ機能を設定する

InternetDisk ASP では、セキュリティに関して次の設定ができます。

- IP アドレス制限
- ログイン制御
- パスワードロック
- パスワード強制変更（パスワード有効期限の設定）

こうした設定は、メンバー管理者が決定します。お客様の環境と必要なセキュリティレベルを考慮して設定してください。セキュリティを高く設定すると、InternetDisk ASP を利用するうえで不便になる場合もあります。初期状態では、セキュリティ機能はすべて無効になっています。

IP アドレス制限

InternetDisk ASP へのログインを特定のネットワークからだけ許可し、それ以外のネットワークからは禁止します。例えば、自分の会社や関係者のネットワークに割り当てられた IP アドレスやドメインからだけアクセスを許可し、それ以外のコンピュータからのアクセスは拒否するように設定できます。

ログイン制御

InternetDisk ASP へのログインを特定の期間や時間のみ許可し、それ以外の期間や時間は禁止するようになります。例えば、平日の日中のみログインを許可し、夜中や土日のログインは禁止するような設定ができます。

パスワードロック

メンバーや管理者（メンバー管理者とサブメンバー管理者）のパスワードが一致しないために連続してログインに失敗した場合、そのメンバーなどがログインすることを禁止する機能です。この機能は、不正な侵入者が片端からパスワードを入力してログインしてしまうことを防止します。

パスワード変更強制

すべてのメンバーやサブメンバー管理者に対して、InternetDisk ASP へ接続するとき必要なパスワードに有効期限を設定します。有効期限が切れたあとはメンバーや管理者に、パスワードの変更を強制する（パスワードを変更しなければ、ログインできないようにする）か、ログインのたびにパスワードの変更を促すメッセージを表示します。また、有効期限が近くなった場合にもそのことを表すメッセージをログイン時に表示します。

³ SSL 通信の場合、ネットワーク環境によっては通常の通信と比べて若干処理速度が低下することがあります。

オプションサービス

InternetDisk ASP では、次のオプションサービスが用意されています。

- 個人ディスク
- 共同編集機能
- ウイルスチェック
- アクセスログ
- 自動実行機能
- ワンタイム伝送

これらサービスを利用するには、お客様からオプション契約をお申し込みいただく必要があります。オプション契約には追加料金が発生します。

個人ディスク

個人ディスクは、InternetDisk ASP のメンバーが個人用に使うディスク領域です。個人ディスクにあるファイルは、そのメンバー以外はアクセスできません。

補足：個人用インターネットディスクとの機能の違い

InternetDisk ASP の個人ディスクでは、個人用インターネットディスクで提供されている「公開機能」は利用できません。

個人ディスクのフォルダを同期する

個人ディスクを利用する場合は、InternetDisk 同期ツール ASP（同期ツール）を利用して個人ディスクのフォルダをお使いのコンピュータの指定したフォルダに同期できます。同期とは、2つのフォルダの内容を参照し、どちらかのフォルダが更新された場合、もう一方のフォルダにも同じ内容で更新することをいいます。例えば、お使いのコンピュータの指定したフォルダに新しいファイルを作成した場合、そのファイルを個人ディスクにアップロードします。

共同編集機能

共同編集機能は、共有フォルダ内にあるファイルを複数の共有メンバーで編集する機能です。

ある共有メンバーが編集中のときは、ほかの共有メンバーは編集できません（排他制御）。このため、ファイルの内容の整合性を保ちながら、編集することができます。

補足：macOS では共同編集機能は利用できません

共同編集機能を利用するためにはディスクマネージャを使う必要があります。しかし、macOS ではディスクマネージャを使えないため、共同編集機能を利用できません。

ウイルスチェックサービス

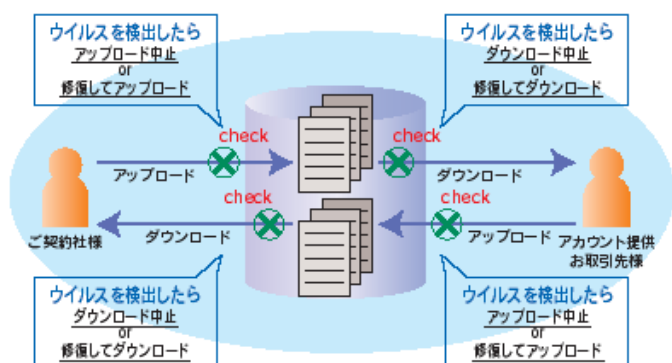
ウイルスチェックサービスを申し込むと、次の場合にファイルにウイルスが含まれているかどうかを自動的にチェックします。

- ファイルを共有ディスクにアップロードする
- 共有ディスクからファイルをダウンロードする

そのため、共有ディスク上のファイルは二重にウイルスチェックされます。

ウイルスチェックの結果は、メンバーとメンバー管理者が確認できます。またウイルスが検出された場合、メンバー管理者とお客様が指定されたメールアドレスへ通知メールで連絡します。

なお、このサービスを利用する場合は、すべての共有ディスクがウイルスチェックの対象となります。一部の共有ディスクや共有フォルダだけをウイルスチェックの対象にすることはできません。



注意： お客様のコンピュータでのウイルス対策と併用してください

InternetDisk ASP のウイルスチェックサービスは、ウイルスチェックソフトの導入などといったお客様のコンピュータでのウイルス対策と併用してください。このサービスは、お客様のコンピュータ内やメール送受信時のウイルス感染をチェックするものではありません。

アクセスログ

アクセスログ取得機能を利用するとメンバー管理者は、メンバーやメンバー管理者・サブメンバー管理者の操作を記録したアクセスログを取得できます。アクセスログは InternetDisk ASP の利用証跡として、システム監査に利用できます。

ログファイル

ログファイルには、ファイル操作ログと管理操作ログの 2 種類があります。

ファイル操作ログには、メンバーが InternetDisk ASP にログインしてファイルを操作したことが記録されます。管理操作ログには、メンバー管理者やサブメンバー管理者による操作が記録されます。

ログファイルは、1 日 (0:00~24:00) 分ずつ作成されます。メンバー管理者は、前日までのログファイルを取得できます。当日分のログファイルは、取得できません。また、アク

セスがまったくなかった日はログファイルが作成されません。

ログファイルの保存期間

ログファイルの保存期間は、記録の対象となった日の翌々月の末日までです。保存期間を経過したログファイルは削除されます。

例えば、2/1のアクセスログデータは、2/2から取得でき、4/30まで保管されます。2/29のアクセスログデータは、3/1から取得でき、4/30まで保管されます。

削除されるのは、どちらのデータも5/1午前0:00です。



注意： アクセスログ取得機能を利用する場合

アクセスログ取得機能を利用する場合はあらかじめ、メンバー管理者がメンバーの利用状況をログデータを通じて知り得ることを各メンバーに周知してください。
詳しくは、アクセスログサービス申込時の同意書を参照してください。

自動実行機能

自動実行機能を利用すると、InternetDisk ASP上のファイルに対するアップロード・ダウンロード・削除ファイルといった操作を事前に設定した日時に自動実行できます。この機能を利用すると、InternetDisk ASPの操作を意識せずにデータの受け渡しや、配布、収集ができるようになります。

自動実行機能では、専用のツール・マニュアル・ヘルプを利用します。詳細は、「メンバーメニュー」にある「自動実行」のページを参照してください。

ワнтаイム伝送

ワнтаイム伝送は、InternetDisk ASPのメンバーからメンバー以外の人(ゲスト)にファイルを受け渡しする機能です。ゲストへは、ファイルを受け取るために必要な情報や方法を通知メールで連絡します。また、ゲストの設定はメンバーがします。

ワнтаイム伝送機能を利用すると、通常の共有フォルダを使う場合のようにメンバー管理者がメンバーを事前に登録したりアクセス権を設定したりする必要がないため、すばやくファイルを受け渡しできます。

注意： メンバー管理者は直接ゲストを管理できません

ゲストは、ワнтаイム伝送機能を利用するメンバーが管理します。メンバー管理者は、メンバーがワнтаイム伝送機能を利用できるようにするかどうかを設定できます。メンバー管理者が直接ゲストを管理することはできません。

注意： ワンタイム伝送機能を利用する場合の制限

ワンタイム伝送ではファイルの預かり期限が72時間（3日間）と定められており、期限を過ぎたファイルはInternetDisk ASP から削除されます。また、ゲストのダウンロード回数も最大3回までです。そのほか、伝送1件あたりのファイル数や容量、ゲストの人数、同時に伝送可能な数なども制限があります。

第2部 Webビューを利用する

InternetDisk ASPを利用する

メンバーが InternetDisk ASP を利用する方法を説明します。

使用するツール

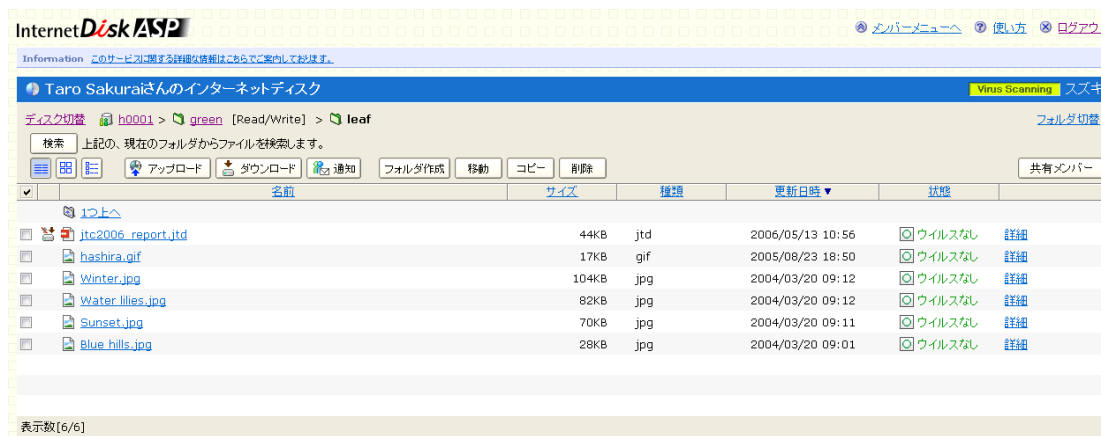
InternetDisk ASP は、次の 2 つのツールから利用できます。それぞれのツールの特長に合わせて、使いわけてください。

- Webビュー
- ディスクマネージャ

また、上記のツールをアカウント情報ごと登録して、簡単に起動してログインさせることができるログインアグリゲータというツールも用意されています。

→P.97 ログインアグリゲータを使う

Webビュー



Webビューは、Webブラウザを用いて InternetDisk ASP にアクセスするツールです。さまざまな環境から利用可能で、セットアップが不要です。

さまざまな環境から利用可能

Webビューは、macOSでも利用できます。

また、メッセージなどを英語に切り替えることで、非日本語環境で利用することもできます。

セットアップが不要

Webビューは、Webブラウザからインターネットに接続できる環境であれば利用可能です。特別なツールをセットアップする必要はありません。InternetDisk ASP の URL ・ お客様 ID ・ メンバーID ・ メンバーのログイン用パスワードを覚えておけば、インターネットに接続されたコンピュータからインターネットを経由して利用できます。

動作環境

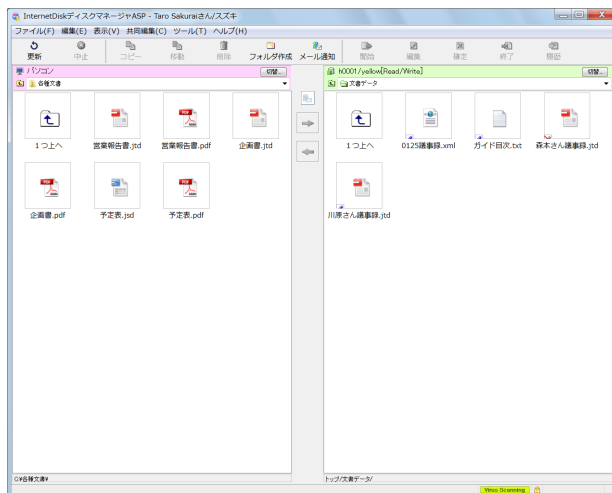
項目	要件
OS	Windows 11
	Windows 10
	macOS v10.15 Catalina
	macOS v10.14 Mojave macOS v10.13 High Sierra
ブラウザ	Microsoft Edge
	Microsoft Edge Internet Explorer(IE)モード
	Google Chrome
	Firefox Safari
ハードディスク容量	なし
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
画面	解像度 800×600 以上、High Color 以上
その他	インターネットに接続できる環境とメールアドレス

※ 最新の詳細情報は、InternetDisk ASP の Web サイトにある「動作環境」
(http://www.idiskasp.com/rules/disk_env.html) を参照してください。このページは、InternetDisk ASP のメンバーメニューで「動作環境」をクリックしても表示されます。

InternetDisk ディスクマネージャ ASP

InternetDisk ディスクマネージャ ASP (ディスクマネージャ) は、InternetDisk ASP をより簡単に使うためのツールです。ディスクマネージャでは、画面で確認しながら、直感的に InternetDisk ASP を利用できます。

ただし、ディスクマネージャを使うには Windows にセットアップする必要があります。macOS では利用できません。また、日本語版のディスクマネージャは、非日本語環境では利用できません。



ファイルのアップロード やダウンロード が簡単にできる

ディスクマネージャでは、2つの画面に InternetDisk ASP やお使いのコンピュータのフォルダを表示します。この画面のどちらかに表示されたファイルをドラッグ&ドロップなどでもう一方の画面にコピーすると、ファイルのアップロードやダウンロードが完了します。

複数ファイルやフォルダ単位でファイルのアップロードやダウンロードできる

ディスクマネージャでは、1ファイル単位だけではなく、複数ファイル単位やフォルダ単位でもファイルのアップロードやダウンロードができます。そのため、多数のファイルを少ない操作でアップロード・ダウンロードできます。

動作環境

項目	要件
OS	Windows 11 Windows 10
ハードディスク容量	約 5MB ※セットアップ時、20MB の空き容量が必要です。
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
画面	解像度 800×600 以上、High Color 以上
その他	インターネットに接続できる環境とメールアドレス

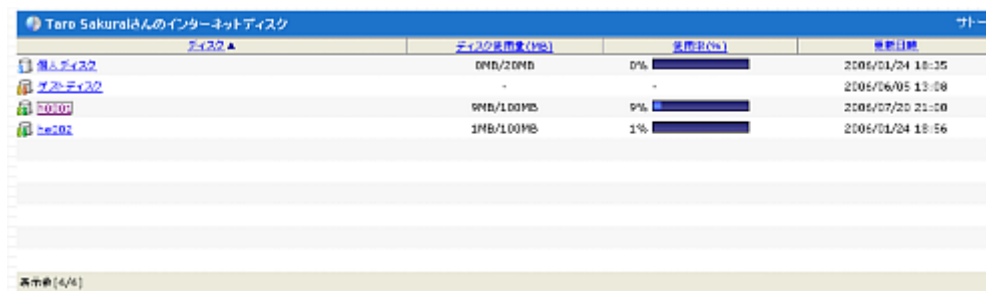
- ※ 最新の詳細情報は、InternetDisk ASP の Web サイトにある「動作環境」(http://www.idiskasp.com/rules/disk_env.html) を参照してください。このページは、InternetDisk ASP のメニューメニューで「動作環境」をクリックすると表示されます。

Web ビューを使う

Web ビューの開始と終了

Web ビューで InternetDisk ASP にログインする

1. Web ブラウザで <https://www.idiskasp.com/> にアクセスします。
メンバーログイン画面が表示されます。
2. お客様 ID、メンバーID、ログイン用パスワードを入力し、「SSL で暗号化されます」の設定を確認してから、[ログイン] をクリックします。
「SSL で暗号化されます」は初期状態で になっており、InternetDisk ASP へのアクセスは SSL で暗号化されます。セキュリティ上、この設定のままログインすることをおすすめします。
ログインに成功すると、利用可能な共有ディスクの一覧が表示されます。



ディスク名	ディスクの容量 (MB)	使用状況 (%)	登録日時
個人ディスク	0MB/20MB	0%	2006/01/24 18:25
ゲストディスク	-	-	2006/06/05 13:08
10010	9MB/100MB	9%	2006/07/20 21:00
10002	1MB/100MB	1%	2006/01/24 18:56

補足：SSL 通信を設定する

Web ビューは、ログイン時に SSL 通信にするか通常の通信にするかを設定します。この設定は、ログイン直後からログアウトするまでの間有効です。

SSL 通信のときには、Web ブラウザに鍵アイコンなどが表示されます。

補足：登録されていない共有ディスクは表示されません。

共有ディスク一覧には、ログインしたメンバーが共有メンバーとして登録されている共有ディスクが表示されます。実在する共有ディスクでも、ログインしたメンバーが登録されていない場合は、表示されません。

ログイン用パスワードを忘れた場合

1. メンバーログイン画面で [パスワードを忘れたら] をクリックします。
お客様 ID とメンバー ID を入力する画面が表示されます。
2. お客様 ID とメンバー ID を入力し、[送信] をクリックします。
メンバーのメールアドレス宛に、「パスワード再設定を続けてください」という見出しの通知メールが送信され、[メール送信完了] 画面が表示されます。
3. メールに記載された URL に Web ブラウザからアクセスします。
新しいパスワードを入力する画面が表示されます。
4. 「新しいパスワード」欄と「新しいパスワードの再入力」欄にログイン用パスワードを入力し、[変更] をクリックします。
新しいログイン用パスワードは、同じものを 2 回入力することになります。
ログイン用のパスワードの変更が完了すると、[変更完了] 画面が表示されます。
[閉じる] をクリックすると、画面が閉じます。

このあと新しいログイン用パスワードを用いて、ログイン画面から通常の手順でログインします。

→P.26 Web ビューで InternetDisk ASP にログインする

パスワード有効期限とログイン有効期限

メンバーのログイン用パスワードには、メンバー管理者によって有効期限が設定されることがあります。長期間同じパスワードを使っていると、パスワードは破られやすくなります。パスワード有効期限は、こうした危険性を防ぐために設定されます。

パスワード有効期限間近の警告

ログイン用パスワードの有効期限が設定されている場合、期限が近くなると次のようなメッセージが表示されます。こうしたメッセージは、ログイン用パスワードを変更するか有効期限になるまでの間、ログインするたびに表示されます。

ご利用のアカウントでは、パスワードの有効期限まであと X 日です。
有効期限までにパスワードを変更してください。
この有効期限はメンバー管理者によって定められています。

パスワードを変更するには、次のリンクをクリックします。

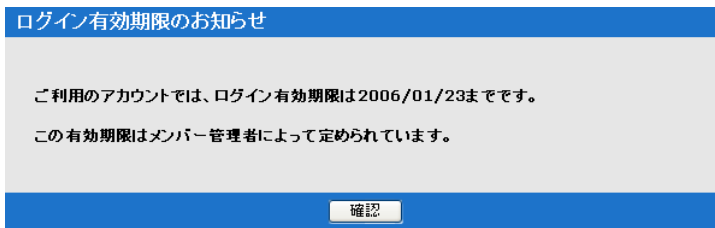
[パスワードの変更](#)

こうした場合は、[パスワードの変更] をクリックして InternetDisk ASP のログイン用パスワードを変更してください。

→P.29 ログイン用パスワードを変更する

ログイン有効期限間近の警告

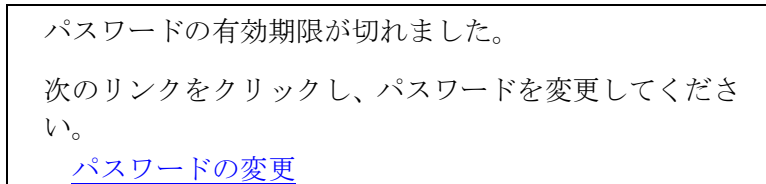
ログイン時に次のメッセージが表示されることがあります。



この場合、ログイン制御で有効期限が設定されており、その期限が近日中に切れることを表します。このメッセージは、終了期限の7日前からログインするたびに表示されます。ログイン有効期限が切れると、そのメンバーはログインできなくなります。ログイン有効期限の詳細は、メンバー管理者にお問い合わせください。

パスワード 有効期限切れのエラー

ログイン用パスワードを変更しないまま有効期限が切れた場合、次のエラーメッセージが表示されてログインできなくなることがあります。



こうした場合は、[パスワードの変更]をクリックし、ログイン用パスワードの変更を開始してください。ログイン用パスワードの変更が完了するまで、InternetDisk ASPへのログインはできません。

→P.29 ログイン用パスワードを変更する

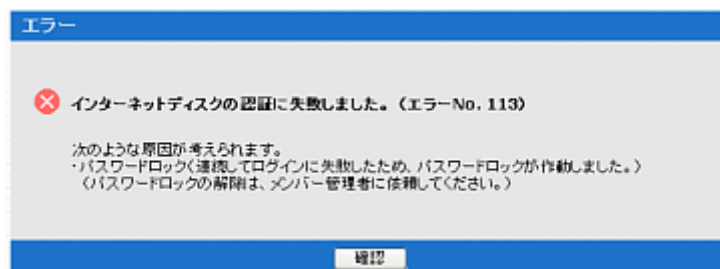
エラーが発生してログインできない場合

インターネットへの接続に問題がなく、正しいログイン情報を入力している場合でも、次のエラーが発生してログインできない場合があります。

- パスワードロック
- IPアドレス制限/ログイン制御

パスワードロックが原因でログインできない場合

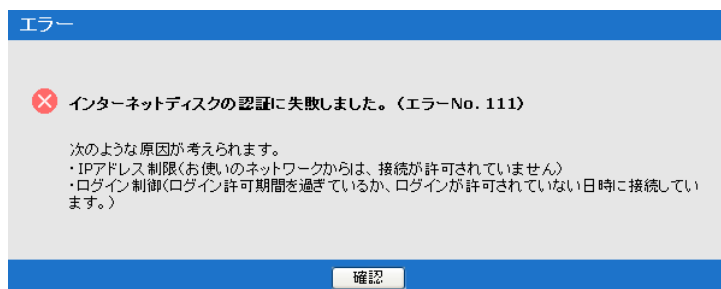
次のメッセージが表示される場合は、パスワードロックが原因でログインできなくなっています。



パスワードロックは、誤ったログイン用パスワードの入力によるログイン失敗が続けて起きたときに作動します。詳細や対応方法は、メンバー管理者にお問い合わせください。パスワードロックは、メンバー管理者が設定や解除をします。

IP アドレス制限/ログイン制御が原因でログインできない場合

次のメッセージが表示され、ログインに失敗する場合があります。



このエラーメッセージは、IPアドレス制限/ログイン制御が原因でログインできなかったことを表します。詳細や対応方法は、メンバー管理者にお問い合わせください。IPアドレス制限/ログイン制御はメンバー管理者が設定します。

補足：IPアドレス/ログイン制御設定時の通知メール

メンバー管理者がIPアドレス制限/ログイン制御を設定したり、設定を変更したりした場合には、メンバーに通知メールが送信されています。

Webビューの言語設定を切り替える

Webビューの言語設定は、お使いのWebブラウザの言語設定を元に自動的に切り替わります。手動で切り替える場合は、ログイン画面で切り替えます。

日本語から英語に切り替える

日本語のメンバーログイン画面で「→ENGLISH」をクリックします。

英語版のメンバーログイン画面が表示されます。この画面からは、英語版のWebビューにログインします。

英語から日本語に切り替える

英語版のログイン画面で「→JAPANESE」をクリックします。

日本語版のログイン画面が表示されます。この画面からは、日本語版のWebビューにログインします。

ログイン用パスワードを変更する

1. Webブラウザで <https://www.idiskasp.com/> にアクセスします。
メンバーログイン画面が表示されます。
2. メンバーメニューの中から【パスワードの変更】をクリックします。
パスワード変更用のログイン画面が表示されます。

ログイン

お客様ID、お客様のメンバーIDとメンバーパスワードを入力してください。

お客様ID

メンバーID

パスワード [English](#)

インターネットディスクの利用中に席を離れるときには、
お客様の大切なデータを保護するために、ログアウトするか、
PC本体のパスワード機能で操作自体をロックすることをお奨めします。

[パスワードを忘れた方は](#)

3. お客様 ID・メンバーID・メンバーの現在のログイン用パスワード を入力し、[ログイン] をクリックします。
[メンバー情報の変更] 画面が表示されます。

メンバー情報の変更

新しいメンバー情報に変更してください。

お客様ID 5dc7127003

お客様名 野々山

メンバーID member01

メンバー氏名 O山×太郎

メンバーメールアドレス hajime_nomiyama@justsystem.co.jp

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの再入力

※ 半角英数字が利用できます。
記号は「-」ハイフン、「_」アンダースコア、「.」ピリオドのみ利用できます。
6文字以上15文字以内で入力してください。大文字・小文字が区別されます。
※ 英字と数字の組み合わせをお勧めします。

4. 「現在のパスワード」「新しいパスワード」「新しいパスワードの再入力」欄にそれぞれのログイン用パスワード を入力します。
新しいログイン用パスワードは、同じものを2回入力することになります。
5. 3つの欄に入力したら、[次へ] をクリックします。
[内容の確認] 画面が表示されます。

内容の確認

表示されている内容が正しいことを確認して[変更]をクリックしてください。

お客様ID 5dc7127003

お客様名 野々山

メンバーID member01

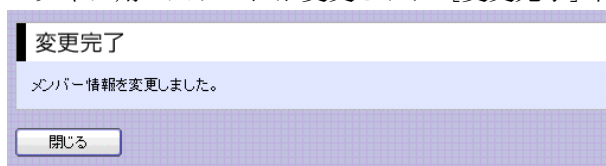
メンバー氏名 O山×太郎

メンバーメールアドレス hajime_nomiyama@justsystem.co.jp

新しいパスワード *****

6. 内容を確認し、[変更] をクリックします。

ログイン用パスワードが変更され、[変更完了] 画面が表示されます。



[閉じる] をクリックすると画面が閉じます。

補足：新しいログイン用パスワードは、今までとは違うものにしてください

新しいログイン用パスワードを、現在のログイン用パスワードや過去に使っていたログイン用パスワードと同じものにしようとすると、エラーが発生してログイン用パスワードを変更できません。

InternetDisk ASPの運用状況を確認する

1. 各画面（管理者ログイン画面・メニュー画面など）下部に表示される「運用状況」をクリックします。

現在の運用状況、予定されているメンテナンスについての情報などが表示されます。

ログアウトする

1. ログイン後の各画面（メニュー画面など）上部に表示される [ログアウト] をクリックします。

ログアウトし、メンバーのログイン画面が表示されます。

補足：ログイン後 15 分間操作をしないと自動的にログアウトします

作業を続行するには、ログインし直す必要があります。

共有フォルダを開く

ディスク一覧から共有フォルダを開く

通常にログインした場合は、共有ディスク一覧から共有フォルダを開きます。

1. ディスク一覧で、共有ディスク名をクリックします。
共有ディスク内にある共有フォルダ一覧が表示されます。
2. 共有フォルダ一覧で、フォルダ名をクリックします。
共有フォルダの画面になり、共有フォルダ内にあるフォルダやファイルの一覧が表示されます

補足：アクセス権のない共有フォルダは表示されません

共有フォルダの一覧には、アクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」の共有フォルダだけが表示されます。アクセス権「なし」の共有フォルダは表示されません。

URLを指定して直接共有フォルダを開く

共有フォルダの URL は、通知メールなどでメンバー管理者やほかのメンバーから連絡される場合があります。

こうした場合、Web ブラウザで連絡された URL を開くと、ログイン後に直接共有フォルダを開くことができます。

1. 共有フォルダの URL を Web ブラウザで開きます。
メンバーログイン画面が表示されます。
2. お客様 ID、メンバー ID、ログイン用パスワードを入力し、「SSL で暗号化されます」の設定を確認してから、[ログイン] をクリックします。
共有フォルダの内容一覧が表示されます

[オプション] 個人ディスクを開く

個人ディスクは、それぞれのメンバーが個人用に使用する領域です。

個人ディスクを利用できる場合、ログイン後に表示されるディスク一覧に「個人ディスク」が表示されます。

1. ディスク一覧で「個人ディスク」をクリックします。
個人ディスクの画面になり、個人ディスク内にあるフォルダやファイルの一覧が表示されます。

個人ディスクでは、共有フォルダと同じように、ファイルのアップロードやダウンロードなどができます。

ただし、自分以外のメンバーに個人ディスクをアクセスさせることはできません。

補足：個人ディスクを利用できる場合

個人ディスクを利用できるのは、メンバーの所属するお客様がオプションである個人ディスク契約を結んでいて、なおかつメンバー管理者が個人ディスクを利用できるようにメンバーを設定している場合です。

別のフォルダを開く

共有フォルダやフォルダの画面から、別のフォルダを開きます。

下のフォルダを開く

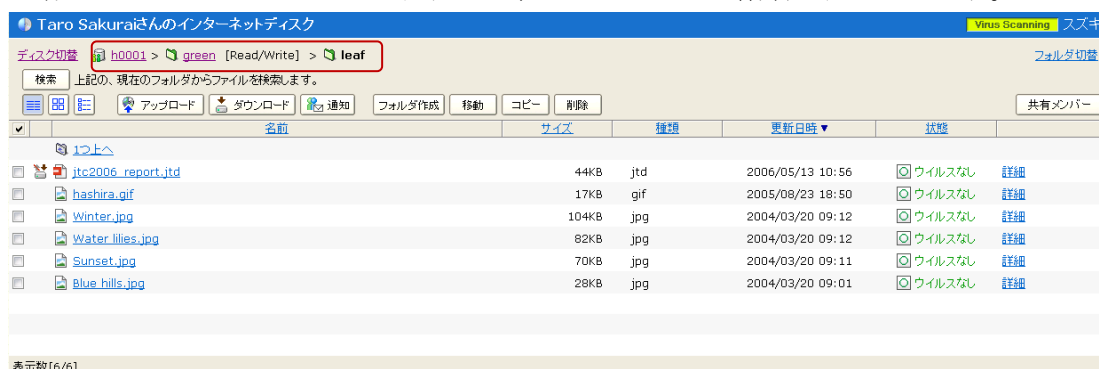
1. 共有フォルダまたはフォルダの画面で、一覧からフォルダをクリックします。
現在のフォルダの下にあるフォルダが開きます。

上のフォルダを開く

1. 共有フォルダまたはフォルダの画面で、一覧から「ひとつ上へ」をクリックします。
現在のフォルダの上にあるフォルダが開きます。

フォルダ階層を確認する

共有フォルダまたはフォルダの画面では、左上にフォルダ階層が表示されます。



ここに表示されている上位フォルダの名前をクリックすると、そのフォルダが開きます。

共有ディスクを切り替える

共有フォルダやフォルダを開いたあとで、共有ディスクを切り替えます。

1. フォルダ画面の左上にある「ディスク切替」をクリックします。
共有ディスク一覧が表示され、別の共有ディスクにあるフォルダを開けます。
→P.31 ディスク一覧から共有フォルダを開く

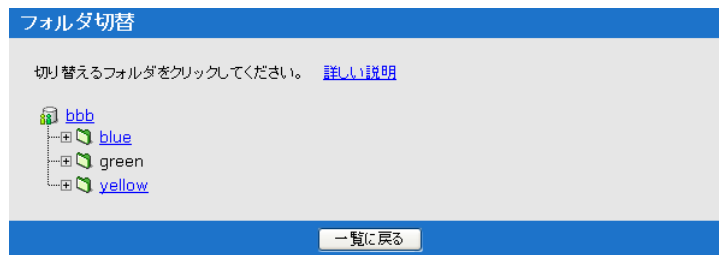
フォルダを切り替える

共有フォルダやフォルダを開いたあとで、同じ共有ディスクの下にある別のフォルダへ移動します。1回の操作で離れたフォルダを開くことができます。

1. フォルダの画面の右上にある「フォルダ切替」をクリックします。



「フォルダ切替」画面が表示されます。




フォルダ左側に□が表示される場合は、クリックすると下にあるフォルダが表示されます。

2. 青色のフォルダ名をクリックします。

クリックしたフォルダが開き、フォルダが切り替わります。

フォルダの内容を調べる

フォルダを開くと、そのフォルダに含まれるファイルの情報が一覧に表示されます。一覧の中で先頭にマークの付いたファイルは、共同編集機能を利用して編集中の、共同編集ファイルです。共同編集ファイルは、移動・コピー・削除することはできません。また、同じ名前のファイルをアップロードして上書きすることもできません。
→P.19 共同編集機能

フォルダやファイルの並び順を変更する

共有ディスク・共有フォルダ・フォルダ・個人ディスクの画面では、一覧に表示しているフォルダやファイルの並び順を変更できます。

1. 一覧の項目名のどれか1つをクリックします。

項目名の右側に▲が表示され、この項目の昇順に共有ディスク一覧が表示されます。昇順に表示された項目名をクリックすると右側が▼に変わり、降順に一覧が表示されます。

画像ファイルをサムネイル表示する

サムネイル表示では、画像ファイルの内容を縮小したものが一覧表示されます。この機能を使うと、画像ファイルが多数ある場合に内容をすばやく確認できます。

サムネール一覧を表示する

画面左上の  をクリックします。



サムネールをクリックすると、拡大表示されます。


サムネール詳細を表示する

画面左上の  をクリックします。

サムネール詳細が表示されます。



ファイル名一覧を表示する

画面左上の  をクリックすると、通常のフォルダやファイル名の一覧が表示されます。

補足：サムネール表示できる画像ファイル

サムネール表示できるのは、jpg、jpeg、jpe、gif、png 形式で、サイズが縦・横ともに 2048 ピクセル以内の画像ファイルです。それ以外のファイルは、ファイルの種類を表すアイコンで表示されます。

フォルダやファイルの詳細情報を表示する

1. 情報を確認したいフォルダやファイルがあるフォルダを開きます。
2. 情報を確認したいファイルの行にある [詳細] をクリックします。
[フォルダの詳細] または [ファイルの詳細] 画面にフォルダやファイルの詳細情報が表示されます。

フォルダの詳細情報

[フォルダの詳細] 画面では、フォルダの次の情報が表示されます。

- 場所
- フォルダ名
[フォルダ名変更] をクリックすると変更できます。
- 更新日時
- 種類

ファイルの詳細情報

[ファイルの詳細] 画面では、フォルダの次の情報が表示されます。

- 場所
- ファイル名
[ファイル名変更] をクリックすると変更できます。
- サイズ
- 更新日時
- 種類
- 更新者

ウイルスチェックオプションを利用している場合、次のウイルスチェック結果詳細情報が表示されます。

- 状態
- スキャン日時
- 定義ファイル
- ウイルス情報

また、ダウンロード情報を利用できる場合は、ここに表示されます。ダウンロード情報は、どの共有メンバーがいつファイルをダウンロードしたかを表します。

→P.47

ファイルのダウンロード状況を確認する

[オプション] ウイルスチェック結果を確認する

ウイルスチェック結果は、ウイルスチェックオプションを利用している場合にだけ確認できます。

ウイルスチェック結果を確認する

フォルダの画面の中にある、フォルダとファイル一覧の「状態」列に各ファイルのウイルスチェック結果が表示されます。チェック結果は、ファイルがアップロードまたはダウンロードされるたびに更新されます。

ウイルスチェック結果の詳細を確認する

ウイルスチェック結果の詳細を確認するには、ファイルの詳細画面を表示します。

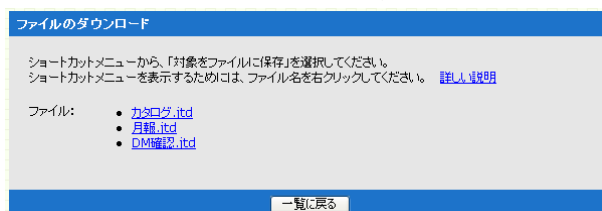
→P36 ファイルの詳細情報

ファイルをダウンロードする

メンバーは、アクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」が付与されている共有フォルダでファイルをダウンロードできます。

ファイルをダウンロードする

1. ダウンロードするファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイル一覧でダウンロードするファイルを にしてから、[ダウンロード] をクリックします。ダウンロードするファイルは複数選択できます。
[ファイルのダウンロード] 画面にダウンロードするファイルの一覧が表示されます。



3. ファイルを、お使いのコンピュータにダウンロードします。1ファイルずつダウンロードする必要があります。

補足：フォルダ単位でのダウンロードやアップロードはできません

Webビューでは、フォルダ単位でファイルをダウンロードしたりアップロードしたりすることはできません。

補足：ダウンロードに15分以上かかる場合

Webビューを15分以上操作しないと、自動的にログアウトします。そのため、ダウンロードに15分以上かかった場合、メンバーは再ログインが必要になります。ただしこの場合でもファイルのダウンロード自体は、ほかのエラーが発生しない限り、完了するまで続行されます。

ファイルをアップロードする

アクセス権「Read/Write」を付与されているメンバーは、次の作業ができます。

- ファイルをアップロードする
- 共有フォルダ内にフォルダを作成する
- フォルダやファイルを InternetDisk ASP 上で移動する
- フォルダやファイルを InternetDisk ASP 上でコピーする
- フォルダやファイルを InternetDisk ASP から削除する
- InternetDisk ASP 上にあるフォルダやファイルの名前を変える

補足：アクセス権「Read」または「Blind Read」のメンバーは、ファイルのアップロードなどはできません

ファイルをアップロードする

1. アップロード先のフォルダを開きます。
2. [アップロード] をクリックします。
[ファイルのアップロード] 画面が表示されます。

3. アップロードの内容を設定します。

通知メールの設定を確認し、必要があれば変更します。

→P.40 アップロードのときに通知メールを確認・設定する

アップロードするファイルを選択します。

3-1. [ファイル1:] と同じ行の [参照] をクリックします。

3-2. アップロードするファイルを選択し、[開く] をクリックします

[ファイル1:] の行にファイル名が入力されます。

3-3. 複数のファイルをアップロードする場合は、[ファイル2~10:] に対し操作 3-1 と操作 3-2 を繰り返します。

同名のファイルがあればアップロードしない

フォルダ内に、これからアップロードするファイルと同じ名前のファイルがあった場合の動作を設定します。

の場合、エラーが発生し、アップロードは中止します。

の場合、同じ名前のファイルを上書きする形でファイルがアップロードされます。

設定が完了したら、[アップロードする] をクリックします。

ファイルがアップロードされ、アップロードの進捗状況が表示されます。

アップロードが完了したら、フォルダの内容一覧が再び表示されます。

補足：ファイル名の制限

InternetDisk ASP では、ファイル名の長さはすべて全角文字の場合は 63 文字以内、すべて半角文字の場合は 189 文字以内です。また、記号 "*/:<>?¥|および機種依存文字は使えません

補足：ファイルの属性

ファイルを InternetDisk ASP にアップロードすると、そのファイルに設定されていた属性は無効になります。例えば、「読み取り専用」のファイルを InternetDisk ASP にアップロードした場合、そのファイルは読み取り専用ではなくなります。

アップロードのときに通知メールを確認・設定する

ファイルをアップロードするときには、共有アドレス通知メールとダウンロード通知メールを確認・設定できます。

共有アドレス通知を確認する

ファイルのアップロードが完了したとき、共有フォルダの URL (アドレス) を連絡する共有アドレス通知をメール送信できます。送信先に設定できるのは、共有フォルダのアクセス権が「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」のメンバーです。

共有アドレス (URL) 通知には次の 3 つの状態があり、現在の状態は [ファイルのアップロード] 画面の [通知メールの設定を行う・現在の設定状態・共有アドレス通知の設定] に表示されます。

The screenshot shows the 'File Upload' interface. At the top, there's a blue header 'ファイルのアップロード'. Below it, instructions in Japanese and a red note about notification settings. A section titled '通知メールの設定を行う' explains that settings are made when uploading or downloading. The '現在の設定状態' (Current Setting Status) section shows two items: '共有アドレス通知の設定 : 未設定' (Shared Address Notification Setting: Not Set) and 'ダウンロード通知の設定 : 未設定' (Download Notification Setting: Not Set). A '設定' (Settings) button is to the right. Below this, there's a section for selecting files to upload, showing a path 'bbb > green' and two input fields for file names with '参照...' (Reference) buttons.

共有メンバー全員に設定済み

すべての共有メンバーに共有アドレス通知メールを送信します。

一部の共有メンバーに設定済み

選択した共有メンバーに共有アドレス通知メールを送信します。送信するメンバーは、[通知メールの設定] 画面で設定します。

未設定

共有アドレス (URL) 通知は送信されません。

設定を変更するには、[設定] をクリックします。

→P. 42 通知メールの設定を変更する

初期状態は「共有メンバー全員に設定済み」か「未設定」のどちらかです。この初期状態はメンバー管理者が設定します。

補足：アップロードのときに共有アドレス通知の設定が必要な場合

- 設定を初期状態から変更する
- 一部の共有メンバーを選択して通知メールを送信する
- 通知メールにメッセージを加える
- ファイルをアップロードした本人に通知を送信する

ダウンロード 通知を確認する

ダウンロード通知は、InternetDisk ASP のファイルを共有メンバーがダウンロードしたとき、そのファイルをアップロードしたユーザーにメール送信されます。

ダウンロード通知には次の 3 つの状態があり、[ファイルのアップロード] 画面の [通知メールの設定を行う・現在の設定状態・ダウンロード通知の設定] に表示されます。

ファイルのアップロード

パソコンにあるファイルをインターネットディスクへアップロードします。 [詳しい説明](#)
※ 通知メールの設定を行う場合は、アップロードするファイルを選択する前に行ってください。

通知メールの設定を行う
ファイルアップロード完了時に、共有メンバーへ送る通知メールと
ファイルがダウンロードされたときに、更新者が受け取る通知メールの設定ができます。

現在の設定状態

共有アドレス通知の設定	: 未設定
ダウンロード通知の設定	: 未設定

アップロードするファイルを選択する

場所: bbb > green >

ファイル1:

ファイル2:

設定済み

ダウンロード通知が送信され、ファイルをアップロードしたユーザーが受け取るように設定されています。

未設定

ダウンロード通知が送信されないように設定されています。

管理者により利用しない設定となっています

ダウンロード通知は利用できません。メンバー管理者が、ダウンロード情報取得機能を利用しないように設定しているためです。

設定を変更するには、[設定] をクリックします。

→P. 42 通知メールの設定を変更する

初期状態はメンバー管理者が設定します。

補足：ダウンロード通知を設定済みにできない場合

ダウンロード情報取得機能を利用しないようにメンバー管理者が設定している場合、ダウンロード通知の設定状態を [設定済み] にすることはできず、ダウンロード通知は送信されません。

補足：ダウンロード 通知が設定済みでも送信されない場合

次の場合は、設定状態が「設定済み」でも、ダウンロード 通知は送信されません。

- アップロードしたファイルが、移動またはコピーされた場合
- アップロードしたファイルの上にあるフォルダが、移動またはコピーされた場合
また、アップロードしたファイルが別のメンバーによって上書きされた場合、上書きされたもとのファイルをアップロードしたメンバーには、ダウンロード 通知が送信されません。

通知メールの設定を変更する

[ファイルのアップロード] 画面で [通知メールの設定を行う・現在の設定状態] にある [設定] をクリックすると、[通知メールの設定] 画面が表示されます。

メンバー名	メールアドレス	アクセス権
<input checked="" type="checkbox"/> Hanako Uchiyama	hanako@example.com	Read/Write
<input checked="" type="checkbox"/> Jiro Usui	jirousui@justsystem.co.jp	Read/Write
<input checked="" type="checkbox"/> Tyoko Kobayashi	toriko@example.com	Read/Write

この画面では、通知メールの設定を変更できます。

共有アドレス (URL) 通知の設定を変更する

共有アドレス通知を設定します。

→P. 48 共有アドレス通知の設定項目

ダウンロード 通知の設定を変更する

[ダウンロードの通知-通知メールを受け取る] を または にします。メンバー管理者がダウンロード 情報取得機能を利用しないように設定している場合、[ダウンロードの通知] が表示されず、ダウンロード 通知の設定は変更できません。

変更が完了したら [設定する] をクリックします。

[ファイルのアップロード] 画面に戻り、[現在の設定状況] に変更が反映されます。

フォルダの下に別のフォルダを作成する

1. フォルダを作成する共有フォルダ、またはフォルダを開きます。
2. [フォルダ作成] をクリックします。
[フォルダの作成] 画面が表示されます。
3. [フォルダ名] を入力して、[作成する] をクリックします。
フォルダが作成され、親フォルダの画面に戻ります。

フォルダやファイルを移動する

InternetDisk ASP 内でフォルダやファイルを別のフォルダに移動します。

1. 移動するフォルダやファイルがあるフォルダを開きます。
2. 移動するフォルダやファイルを にし、[移動] をクリックします。
[移動先フォルダの選択] 画面が表示されます。
フォルダの右側に が表示される場合は、これをクリックするとフォルダの下にあるフォルダが表示されるようになります。
また [ディスク切替] をクリックすると、移動先を別ディスクに設定できます。
3. 移動先のフォルダを選択し、[移動する] をクリックします。
フォルダやファイルが移動し、移動元フォルダの画面に戻ります。

フォルダやファイルをコピーする

InternetDisk ASP 内でフォルダやファイルを別のフォルダにコピーします。

1. コピーするフォルダやファイルがあるフォルダを開きます。
2. コピーするフォルダやファイルを にし、[コピー] をクリックします。
[コピー先フォルダの選択] 画面が表示されます。
フォルダの右側に が表示される場合は、これをクリックするとフォルダの下にあるフォルダが表示されるようになります。
また [ディスク切替] をクリックすると、コピー先を別ディスクに設定できます。
3. コピー先のフォルダを選択し、[コピーする] をクリックします。
フォルダやファイルがコピーされ、コピー元フォルダの画面に戻ります。

フォルダやファイルを削除する

1. 削除するフォルダやファイルがあるフォルダを開きます。
2. 削除するフォルダやファイルを にし、[削除] をクリックします。
[フォルダ・ファイルの削除] 画面が表示されます。
3. 削除の内容を確認し、[削除する] をクリックします。
フォルダやファイルが削除され、フォルダの画面に戻ります。

フォルダやファイルの名前を変更する

フォルダ名を変更する

1. 名前を変更するフォルダがある共有フォルダまたはフォルダを開きます。
2. 一覧から、名前を変更するフォルダの行にある [詳細] をクリックします。
フォルダの詳細画面が表示されます。
3. [フォルダ名変更] をクリックします。
[フォルダの名前変更] 画面が表示されます。
4. [新しいフォルダ名] にフォルダ名を入力し、[変更する] をクリックします。
フォルダやファイルの詳細画面に戻ります。
5. [確認] をクリックします。
フォルダ名が変更され、親フォルダの画面に戻ります。

補足：共有フォルダ名をメンバーは変更できません

メンバーがフォルダ名を変更できるのは、共有フォルダの下に作成したフォルダだけです。
共有フォルダ名を変更したい場合は、メンバー管理者に依頼してください。

ファイル名を変更する

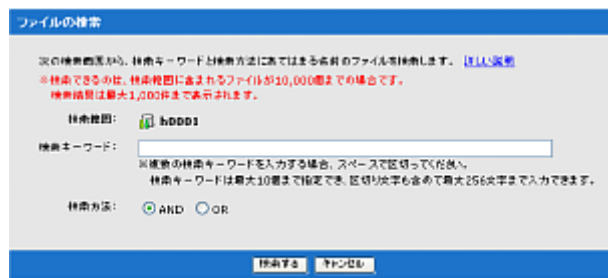
1. 名前を変更するファイルがあるフォルダを開きます。
2. 名前を変更するファイルの行にある [詳細] をクリックします。
ファイルの詳細画面が表示されます。
3. [ファイル名変更] をクリックします。
[ファイルの名前変更] 画面が表示されます。
4. [新しいファイル名] にファイル名を入力し、[変更する] をクリックします。
ファイルの詳細画面に戻ります。
5. [確認] をクリックします。
ファイル名が変更され、フォルダの画面に戻ります。

ファイルを検索する

ファイル検索を開始する

InternetDisk ASP では、共有ディスク・共有フォルダ・そのほかのフォルダ・個人ディスク画面からファイル名を元にした検索ができます。

1. ファイルを検索するディスクまたはフォルダを開きます。
2. [検索] をクリックします。
[ファイルの検索] 画面が表示されます。[検索範囲] は、前の画面で開いていたディスクまたはフォルダです。



3. 次の項目を設定します。

検索キーワード

検索に用いられるキーワードを入力します。

複数のキーワードを入力する場合は、半角スペースで区切ります。この場合、[検索方法] の設定によって検索方法が変わります。

検索キーワードは最大 10 個まで指定できます。また、入力できる最大の文字数は、区切り文字（半角スペース）も含めて最大 256 文字までです。

検索方法

複数のキーワードを [検索キーワード] に指定したときの検索方法を指定します。

[AND] の場合、複数のキーワードのすべてにあてはまるファイルを検索します。例えば、キーワードに「aa」と「bb」を入力した場合、「aabb.txt」「aaabb.txt」などのファイルが実在すれば、検索結果として表示されます。しかし、「aa.txt」や「bb.txt」は検索されません。

[OR] の場合、複数のキーワードのどれか 1 つにあてはまるファイルを検索します。例えば、キーワードに「aa」と「bb」を入力した場合は、「aabb.txt」「aaabb.txt」「aa.txt」「bb.txt」などのファイルが実在すれば、検索結果として表示されます。

4. 設定が完了したら、[検索] をクリックします。

検索結果画面に結果が一覧表示されます。



検索できなかった場合は、「検索結果を表示できません。該当するファイルが見つかりませんでした。」というメッセージが表示されます。

補足：ディスク一覧画面からのファイル検索はできません

ディスク一覧画面では、[検索] は表示されません。また、ほかのディスクやフォルダの画面でもフォルダやファイルがない場合は [検索] が無効になり、ファイル検索はできません。

補足：ファイル数の制限

ファイル検索は、検索範囲（対象となるディスクやフォルダ）に含まれるファイル数が10,000個以内の場合にできます。10,000を超えるファイルが検索範囲に含まれる場合、ファイル検索はできません。

また、表示できる検索結果は最大1,000ファイルまでです。それより多くのファイルが検索された場合、すべての検索結果を表示することはできません。

ファイル検索結果

ファイル検索の結果表示される検索結果画面では、次の作業ができます。作業の手順は、通常のフォルダを表示する画面と同じです。

- フォルダやファイルの並び順を変更する
→P. 34
- ファイルをダウンロードする
→P. 37
- ファイルを削除する
→P. 43
- 画像ファイルをサムネイル表示する
→P. 34

また、[条件を変えて検索] をクリックすると再びファイル検索を開始できます。

補足：絞込検索にはなりません

[条件を変えて検索] をクリックしたときは、検索範囲以外の条件を指定しなおして検索を改めてやり直すこととなります。現在の検索結果の中からさらにファイルを検索する、いわゆる絞込検索にはなりません。

ほかのメンバーに情報を連絡する

共有メンバーを確認する

フォルダにアクセスできるメンバーを調べます。フォルダにアクセスできるのは、その上にある共有フォルダにアクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」が設定されているメンバーです。

1. 共有メンバーを確認するフォルダを開きます。
2. [共有メンバー] をクリックします。

[メンバーの詳細] 画面に、このフォルダにアクセスできる共有メンバーの一覧が表示されます。太字で表示されているのは、一覧を表示したメンバー自身です。

メンバーの詳細	
メンバーの詳細情報を表示しています。 詳しい説明	
場所: h0001 > green > leaf	
メンバー名 ▲	アクセス権
Hanako Uchiyama	Read/Write
Jiro Usui	Read/Write
Taro Sakurai	Read/Write
Tyoko Kobayashi	Read/Write
表示数[4/4]	
確認	

ファイルのダウンロード 状況を確認する

「ダウンロード情報の取得機能」が有効な場合、[ファイルの詳細]画面の[ダウンロード情報]でファイルのダウンロード状況を確認できます。

→P. 36 ファイルの詳細情報

ダウンロード情報		
ダウンロード状況と更新者		
メンバー名 ▲	ダウンロード日時	共有アドレス通知
Hanako Uchiyama		非通知
Jiro Usui		非通知
Taro Sakurai	更新 (2005/08/23 18:50)	非通知
Tyoko Kobayashi		非通知
表示数[4/4]		
※ "共有アドレス通知"にはファイルのアップロードと同時にメール通知された場合に"通知済み"と表記されます。		

[ダウンロード状況と更新者] 表には、メンバーの次の項目が表示されます。

項目	説明
メンバー名	このファイルをダウンロードできる共有メンバーの名前です。メンバー管理者によって割り当てられたアクセス権が「Blind Read」で自分以外の「Blind Read」のメンバーがいる場合は、「非開示」と表示されます。メンバー名は表示されません。
ダウンロード日時	メンバーがファイルをダウンロードした日時です。ダウンロードしていない場合は、空欄です。ファイルを Web ビュー画面で直接表示した場合も、ダウンロードしたものと見なします。
共有アドレス通知	ファイルをアップロードしたときに共有アドレス通知が送信されたメンバーは「通知済み」、送信されなかったメンバーは「非通知」と表示されます。

ファイルをアップロードしたメンバーは、太字で表示されます。

補足：この機能は、「ダウンロード情報の利用設定」が有効な場合に利用できます

「ダウンロード情報の利用設定」は、メンバー管理者が設定します。

補足：2005/08/07 より前のファイルでは、「共有アドレス通知」列は表示されません。

「共有アドレス通知」列は、2005/08/07 版のサービス開始後にアップロードしたファイルにだけ表示されます。それより前にアップロードしたファイルでは、表示されません。

共有アドレス通知を送信する

共有アドレス通知では、共有フォルダやその配下にあるフォルダの共有アドレス（URL）と通知 ID をほかのメンバーにメールで連絡します。連絡されたメンバーは、共有フォルダやその配下にあるフォルダをすばやく開けます。共有アドレス通知の送信先にできるのは、共有フォルダのアクセス権が「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」のメンバーです。

共有アドレス通知メールはファイルをアップロードしたときに送信するように設定できます。

→P. 38 ファイルをアップロードする

また、次の手順でいつでも送信できます。

1. URL を連絡したい共有フォルダ、またはその中にあるフォルダを表示します。

2. [通知] をクリックします。

通知メールの設定画面が表示されます。

3. 共有アドレス通知メールを設定します。

→P.48 共有アドレス通知の設定項目

[通知メールの確認] をクリックすると、通知メールの内容を表示する画面が表示されます。[戻る] をクリックすると [通知メールの設定] 画面に戻ります。

設定が完了したら、[送信する] をクリックします。

共有アドレス通知メールが送信され、フォルダの内容一覧が再び表示されます。

通知メールを送信されたメンバーは、通知された共有フォルダまたはその配下のフォルダをすばやく開けます。

Web ビューを利用している場合は、共有アドレス（URL）を Web ブラウザで開きます。

→P. 32 URL を指定して直接共有フォルダを開く

ディスクマネージャを利用する場合は、通知 ID を選択します。

→P.67 通知 ID を選択する

共有アドレス通知の設定項目

共有アドレス通知メールを送信するときには、通知メールの送信先を設定します。

また、通知メールを送信できるメンバーの中に、通知メールの言語が日本語に設定されているメンバーがいる場合は日本語、通知メールの言語が英語に設定されているメンバーがいる場合は英語の通知メールを設定できます。両方のメンバーがいる場合は、2種類の通知メールを設定します。

通知メールの送信先

共有アドレス通知メールは、共有フォルダにアクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」をもつメンバーに送信できます。

日本語の通知メール

見出し

50 文字以内で設定します。初期状態のまま入力しない場合は、既定の見出し「共有フォルダへの URL 連絡」になります。また、実際の通知メールの見出しにはここで設定した内容の前に「[InternetDisk ASP]」がつきます。

メッセージ

メール本文に挿入するメッセージを 200 文字以内で入力します。初期状態では、メッセージはありません。メッセージは入力しないままでもかまいません。

英語の通知メール

見出し・メッセージともに、入力可能な文字は、半角英数字・半角スペース・半角記号 !"#%&'()*+,-./:;<=>@[¥] ^_{|}~ だけです。日本語は入力できません。

見出し

50 文字以内で設定します。初期状態のまま入力しない場合は、既定の見出し「Notification of URL for shared folders」になります。また、実際の通知メールの見出しにはここで設定した内容の前に「[InternetDisk ASP]」がつきます。

メッセージ

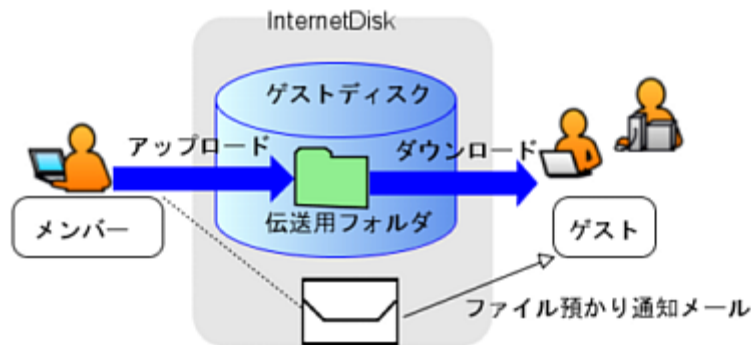
メール本文に挿入するメッセージを 200 文字以内で入力します。初期状態では、メッセージはありません。メッセージは入力しないままでもかまいません。

[オプション] ワンタイム伝送機能を利用する

ワンタイム伝送機能とは

ワンタイム伝送機能は、InternetDisk ASP のメンバーとメンバー以外の人との間で手軽で安全なファイルの受け渡しを実現します。ワンタイム伝送では、メンバー以外の人をゲストとして扱うことができます。ゲストはメンバーとは異なり、メンバー管理者が事前に登録したり、共有ディスクや共有フォルダを設定したりする必要はありません。

ワンタイム伝送では、メンバーは、ゲストディスクの伝送用フォルダに一時的にファイルをアップロードし、受け取りダウンロードが可能なゲストを指定します。ゲストは、ファイルをダウンロードするための情報や方法を記載した「ファイル預かり通知メール」を受け取り、このメールの指示に従ってファイルを受け取りダウンロードします。



補足：ワнтаイム伝送機能を実行できるメンバー

ワнтаイム伝送機能を実行できるのは、ワнтаイム伝送オプションを契約しているお客様の、同報ゲスト 上限割当数が0よりも大きい値に設定されているメンバーです。オプション契約や同報ゲスト 上限割当数は、メンバー管理者が設定します。

ワнтаイム伝送の手順

ワнтаイム伝送の手順は次のとおりです。

メンバーがワнтаイム伝送を開始する

ワнтаイム伝送を開始すると、ファイルがアップロードされ、ゲストに通知メールが送信されます。

→P. 51 ワнтаイム伝送を開始する

なお、ワнтаイム伝送用にメールアドレスを登録すると、ワнтаイム伝送開始を効率的にできる場合があります。

→P. 55 ワнтаイム伝送用にメールアドレスを登録する

ゲストがファイルをダウンロードする

ゲストには、ワнтаイム伝送が開始されると自動的に通知メールが送信されます。この通知メールの指示に従って操作することで、ゲストは伝送されたファイルをダウンロードできます。

→P. 56 ゲストがファイルをダウンロードする

また、ゲストがファイルをダウンロードすると、ワнтаイム伝送を開始したメンバーにダウンロード通知メールが送信されます。

→P. 58 ワнтаイム伝送のダウンロード通知を受け取る

メンバーが伝送用フォルダを削除する

ゲストの受け取りダウンロードが完了した場合などは、伝送用フォルダを削除することでワнтаイム伝送を終了させることができます。

→P.54 伝送用フォルダを削除する

なお、ワнтаイム伝送を開始してから預かり期限として定められている72時間（3日間）が過ぎると、自動的に伝送用フォルダが削除され、ワнтаイム伝送は終了します。

ワンタイム伝送の運用ルール

同報ゲスト 上限割当数

ワンタイム伝送を開始するときに設定できる、伝送 1 件あたりのゲスト数の最大値は、「同報ゲスト上限割当数」としてメンバー管理者によって定められます。同報ゲスト上限割当数は最大で 10 です。

ワンタイム伝送の件数

ワンタイム伝送は、同時に 10 件まで実行できます。伝送中のワンタイム伝送が 10 件ある場合、新しいワンタイム伝送は開始できません。開始できるようにするには、実行中のワンタイム伝送のどれか 1 つが預かり期限切れになるのを待つか、伝送用フォルダを削除します。

ファイル数とファイルサイズ

1 件のワンタイム伝送では、最大 10 のファイルを伝送できます。また、ファイルサイズの最大は、合計 100MB です。

預かり期限

ワンタイム伝送では、ファイルの預かり期限は伝送を開始してから 72 時間（3 日間）です。預かり期限を過ぎると、ゲストはファイルをダウンロードできなくなります。預かり期限が切れた伝送用フォルダは、自動的に削除されます。

ダウンロード回数

ゲストがダウンロードできる回数は 3 回までです。この回数を越えると、預かり期限内であっても、ゲストはファイルをダウンロードできません。

ワンタイム伝送を開始する

ワンタイム伝送は、InternetDisk ASP のメンバーが次の手順で開始します。

1. ログイン直後などに表示される共有ディスクの一覧で、「ゲストディスク」をクリックします。

ゲストディスク画面が表示されます。



2. **【ワнтаイム伝送】** をクリックします。
【ワнтаイム伝送(1/2)】 画面が表示されます。

ワнтаイム伝送(1/2)

ゲスト(ファイルの伝送先)と、ゲストに送信される「ファイル預かり通知メール」を設定します。 [詳しい説明](#)
ゲストのメールアドレス・見出し・メッセージを設定し、[次へ進む]をクリックしてください。
次の画面では、伝送用フォルダ名と伝送するファイルを設定します。

ゲスト: メールアドレスを入力欄に直接入力するか、登録メールアドレス一覧から選択してください。
同時に伝送できる人数として、最大で同時に1人まで管理者により許諾されています。
入力欄(複数のメールアドレスを入力する場合は、「,」で区切ります。)

登録メールアドレス一覧

<input checked="" type="checkbox"/>	メールアドレス ▲
<input type="checkbox"/>	jiro@example.com
<input type="checkbox"/>	saburo@example.com

登録メールアドレス一覧は、ここから追加・編集できます。 [登録メールアドレスの編集](#)

言語設定: 日本語 英語
※「英語」の場合、ゲストに英語の通知メールが送信されます。

見出し(50文字以内): 「ファイル預かり通知メール」の見出しです。入力しない場合は既定の見出しになります。 [通知メールの確認](#)
※見出しは、日本語の場合は全角文字または半角英数字で入力してください。半角カナや半角中黒点などはご利用できません。
英語の場合は半角英数字、半角スペース、半角記号(!"#%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{|}~)だけで入力してください。

メッセージ(200文字以内): 「ファイル預かり通知」の本文に挿入するメッセージです。
※メッセージは、日本語の場合は全角文字または半角英数字で入力してください。半角カナや半角中黒点などはご利用できません。
英語の場合は半角英数字、半角スペース、半角記号(!"#%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{|}~)だけで入力してください。

通知メールは上記で指定したゲスト全員に送信されますが、受信者には他の同種ゲストのメールアドレスを知られることはありません。
(通知メールのTo(宛先):欄に個別に記載されます。)

[次へ進む](#) [キャンセル](#)

3. 次の項目を設定します。

ゲスト

ファイルの伝送先となるゲスト をメールアドレスで設定します。ワнтаイム伝送を開始するには、ゲストを必ず1人は設定する必要があります。設定方法には、次の2つがあり、両方一緒に設定することもできます。

メールアドレスは入力欄に直接入力する

複数のゲストを設定する場合は、次のように「,」で区切って入力します。

taro@example.com,hanako@example.com

登録メールアドレス一覧で選択する

登録メールアドレス一覧で、ゲストを にします。複数のメールアドレスを にすることもできます。この一覧には、あらかじめワнтаイム伝送用に登録されたメールアドレスが表示されます。メールアドレスを登録するには、[登録メールアドレスの編集] をクリックします。

見出し

ファイル預かり通知メールの見出しを 50 文字以内で入力します。初期状態のまま入力しない場合は、既定の見出し「ファイルの預かり連絡(パスワードを設定してください)」になります。

なお、実際の通知メールの見出しにはここで設定した内容の前に「[InternetDisk ASP]」が付きまます。

メッセージ

メール本文に挿入されるメッセージを 200 文字以内で入力します。初期状態では、メッセージはありません。メッセージは入力しないままでもかまいません。

4. 設定が完了したら、[次へ進む] をクリックします。

[ワンタイム伝送(2/2)] 画面が表示されます。

5. 次の項目を設定します。

伝送用フォルダ名

伝送用フォルダの名前を設定します。この欄には初期状態で現在の日時を元に自動生成した名前が入力され、そのまま伝送用フォルダ名として使えます。また、次のような名前に変更することもできます。

英数字と日本語が使用できます。ただし、記号"/:<>?¥|および機種依存文字は使用できません

63文字以内で入力します

既存の伝送用フォルダと同じ名前にはできません。

通知メールの設定

[ワンタイム伝送 (1/2)] 画面で設定したゲストの数などが表示されます。

ゲストや通知メールの設定を変更する場合は [前へ戻る] をクリックし、 [ワンタイム伝送 (1/2)] 画面に戻ります。

伝送するファイル

[ファイル 1～ファイル 10]欄に伝送するファイル名をフルパスで入力します。ファイル名の入力は、各欄に直接入力するか、各行の [参照] をクリックして [ファイルの選択] ダイアログボックスから選択します。伝送できるファイル数は、最大 10 です。また、ファイルサイズは合計 100MB までです。

6. 設定が完了したら、[伝送する] をクリックします。

伝送するファイルが伝送用フォルダにアップロードされ、ゲストに「ファイル預かり通知メール」が送信されます。伝送が完了すると、ゲストディスク画面に戻ります。

伝送用フォルダを削除する

ゲストのダウンロードが完了した場合など、不要になった伝送用フォルダは次の手順で削除できます。伝送用フォルダを削除すると、そのフォルダを利用していたワンタイム伝送が終了します。

1. ゲストディスク画面で削除する伝送用フォルダを にしてから、[削除] をクリックします。伝送用フォルダは 1 つだけ指定できます。
[フォルダの削除] 画面が表示されます。

フォルダの削除

ゲストディスクにある以下の伝送用フォルダを削除します。
また、ゲスト(ファイルの伝送先)に「削除通知メール」を送信します。 [詳しくは説明](#)

※ 伝送用フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
※ ファイルの預かり期限が切れるときにも、伝送用フォルダは削除されます。

フォルダ: 060531_210043945

見出し(50文字以内): 「削除通知メール」の見出しです。入力しない場合は既定の見出しになります。 [通知メールの確認](#)

メッセージ(200文字以内): 「削除通知メール」本文に挿入するメッセージです。

通知メールは伝送フォルダ作成時に指定したゲスト全員に送信されますが、
受信者には他の同種ゲストのメールアドレスを知られることはありません。
(通知メールのTo(宛先):欄に個別に記載されます。)

2. 「削除通知メール」の見出しとメッセージを設定します。

見出し

ファイル預かり通知メールの見出しを 50 文字以内で入力します。初期状態のまま入力しない場合は、既定の見出し「ファイルの預かり連絡(パスワードを設定してください)」になります。

なお、実際の通知メールの見出しにはここで設定した内容の前に「[InternetDisk ASP]」が付きまます。

メッセージ

メール本文に挿入されるメッセージを 200 文字以内で入力します。初期状態では、メッセージはありません。メッセージは入力しないままでもかまいません。

3. 設定が完了したら、[削除する] をクリックします。

伝送用フォルダが削除され、ゲストに削除通知メールが送信されます。削除が完了すると、ゲストディスク画面に戻ります。

なお、預かり期限が切れた伝送用フォルダは自動的に削除されます。

ワнтаイム伝送用にメールアドレスを登録する

メールアドレスを登録することで、同じゲストに繰り返しワнтаイム伝送する場合にメールアドレスを入力する手間を省くことができます。

1. ゲストディスク画面で [メールアドレス登録] をクリックします。

または [ワнтаイム伝送(1/2)] 画面で、 [登録メールアドレスの編集] をクリックします。

[メールアドレス登録] 画面が表示され、ワнтаイム伝送用のメールアドレスを登録できます。

メールアドレス登録

メールアドレスを一覧へ追加、または一覧から削除してから、[上記の設定で登録する]をクリックしてください。
登録したメールアドレスはワнтаイム伝送を設定するとき、ゲスト(ファイルの伝送先)を指定する画面に「登録メールアドレス一覧」として表示されます。メールアドレスは最大で100人分登録できます。 [詳しい説明](#)

追加するメールアドレス: メールアドレスを一覧へ追加するには、メールアドレスを入力してから [メールアドレスの追加]をクリックしてください。
複数のメールアドレスを入力する場合は、「,」で区切ります。

メールアドレスの追加

メールアドレス一覧
削除するメールアドレス: メールアドレスを一覧から削除するには、削除するメールアドレスを
オンにしてから [メールアドレスの削除]をクリックして下さい。

メールアドレスの削除

上記の設定で登録する キャンセル

2. [追加するメールアドレス] 欄にメールアドレスを入力し、[メールアドレスの追加] をクリックします。

複数のゲストを設定する場合は、次のように「,」で区切って入力します。

`taro@example.com,hanako@example.com`

[メールアドレス一覧] に項目が追加されます。

[メールアドレス一覧] に登録された項目は、にしてから [メールアドレスの削除] をクリックすることで削除できます。

3. [メールアドレス一覧] の設定が完了したら、[上記の設定で登録する] をクリックします。

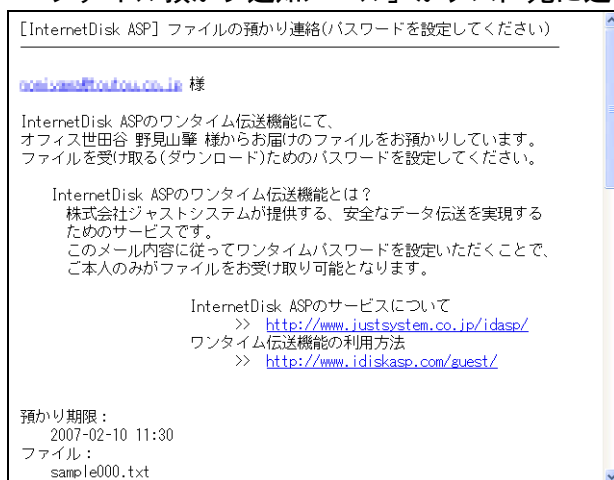
画面に表示されていた一覧の内容が登録され、ワнтаイム伝送のときにこの一覧からメールアドレスを選択できるようになります。

元の、伝送用フォルダ一覧画面または [ワнтаイム伝送 (1/2)] 画面に戻ります。

ゲストがファイルをダウンロードする

ワнтаイム伝送のゲストは、次の手順で伝送されたファイルをダウンロードできます。

1. 「ファイル預かり通知メール」がゲスト宛に送信されます。



2. 通知メールに記載された URL を Web ブラウザで開きます。

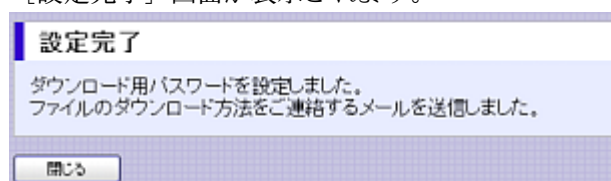
[ダウンロード用パスワードの設定] 画面が表示されます。



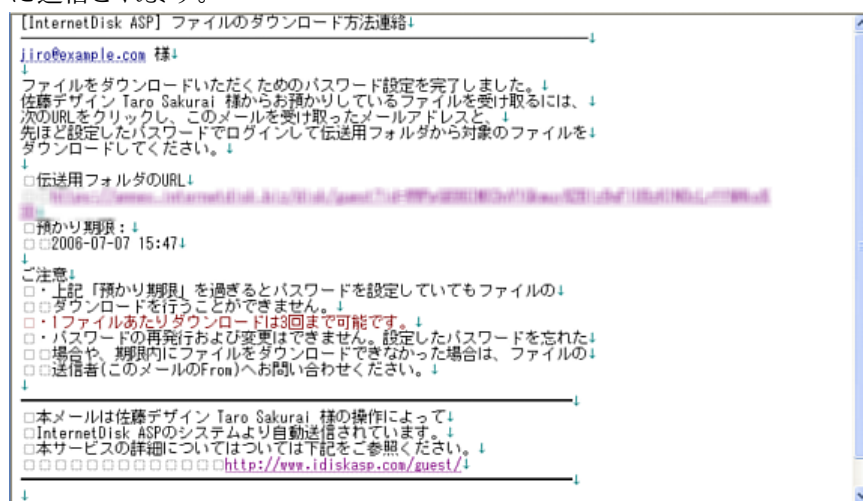
3. ダウンロード用パスワードを入力します。確認のため、同じものを2回入力します。

ダウンロード用パスワードは、半角英数字と「-」ハイフン、「_」アンダースコア、「.」ピリオドを6文字以上15文字以内で入力します。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。

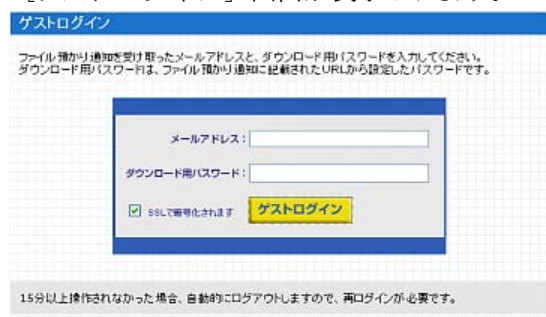
4. **【設定】をクリックします。**
【設定完了】画面が表示されます。



【閉じる】をクリックすると、【設定完了】画面が閉じます。
 このとき、「ファイルのダウンロード方法連絡」という見出しの通知メールがゲスト宛に送信されます。

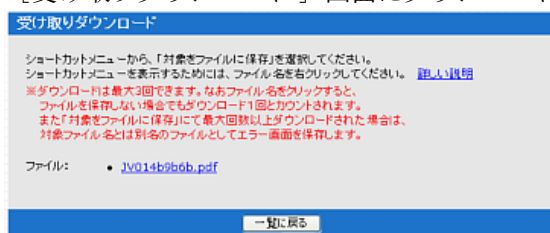


5. **通知メールに記載された伝送用フォルダの URL を Web ブラウザで開きます。**
【ゲストログイン】画面が表示されます。



6. **メールアドレスとダウンロード用パスワードを入力し、「SSLで暗号化されま**
す」の設定を確認してから、【ログイン】をクリックします。
 セキュリティ上、「SSLで暗号化されます」はにすることをおすすめします。
【ゲストディスク】画面にダウンロードできるファイルの一覧が表示されます。

7. ダウンロード 対象となるファイルの行にある[ダウンロード]をクリックします。
[受け取りダウンロード] 画面にダウンロードするファイルが表示されます。



8. ファイルを、お使いのコンピュータにダウンロードします。複数のファイルが表示されている場合は、1ファイルずつダウンロードします。

ワンタイム伝送のダウンロード 通知を受け取る

ワンタイム伝送を開始したメンバーは、ゲストがファイルを最初にダウンロードしたときに、ダウンロード 通知を受け取ります。ダウンロード 通知は、メンバーの言語の設定により、日本語または英語のものが送信されます。

補足：ワンタイム伝送のダウンロード 通知は必ず送信されます

通常のダウンロード 通知とは異なり、通知を受け取らないように設定することはできません。

ディスクマネージャを使う

ディスクマネージャの開始と終了

ディスクマネージャをダウンロードする

InternetDisk ディスクマネージャ ASP (ディスクマネージャ) は、<http://www.idiskasp.com/download/> からダウンロードします。InternetDisk ASP を利用している方は、自由にダウンロードできます。

ディスクマネージャをセットアップする

ディスクマネージャを利用するには、セットアップする必要があります。ディスクマネージャのファイルをダウンロードしてから実行し、画面の指示に従ってセットアップしてください。

セットアップする際は、あらかじめ Administrators 権限をもつユーザーとして OS にログインするか、実行時に管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

注意：日本語版と英語版のディスクマネージャ両方をセットアップすることはできません。

一つのコンピュータに日本語版と英語版のディスクマネージャ両方をセットアップすることができません。あとからセットアップした方に上書きされます。
なお、英語版はノンサポートで提供しています。あらかじめご了承ください。

補足：プロキシの設定

ディスクマネージャは最初に起動してログインするときに、Windows の設定を元に自動的にプロキシサーバーなどを設定します。ディスクマネージャを最初に起動してログインするときは、ブラウザでインターネットに接続できることを確認してください。

補足：ディスクマネージャと同期ツールで設定が連動します

ディスクマネージャより先に InternetDisk 同期ツール ASP をセットアップして利用している場合、同期ツールの設定がディスクマネージャに反映されます。そのため、ディスクマネージャをはじめて起動してログインした場合でもメンバーID やログイン用パスワードを入力する必要はありません。

ディスクマネージャを起動してログインする

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[InternetDisk ディスクマネージャ ASP] を選択します。
ディスクマネージャが起動します。
2. はじめて起動するときなどは、[認証] ダイアログボックスが表示されます。こうした場合は、お客様 ID・メンバーID・メンバーのログイン用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
お客様 ID・メンバーID・メンバーのログイン用パスワードは、InternetDisk ASP にログインするために必要な情報です。
3. InternetDisk ASP にログインします。

補足：ログイン用パスワードを記憶する

[認証] ダイアログボックスで [パスワードを記憶する] を にすると今回ログインしたお客様 ID・メンバーID・ログイン用パスワードが記憶され、次回からは自動的にログインするようになります。記憶したログイン用パスワードや ID は、Windows のログインユーザーごとに区別されます。

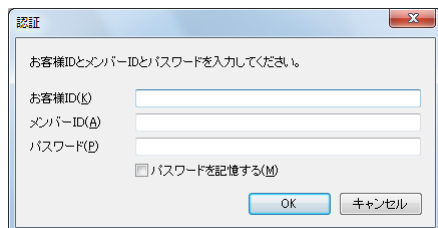
ただし、複数人で同じ Windows のログインユーザーを共有して利用している場合にログイン用パスワードを記憶するように設定すると、ほかの人が InternetDisk ASP にログインする危険性が発生します。

補足：プロキシ認証

お使いのコンピュータが、ユーザー名やアカウントを使って認証する Proxy を経由してインターネットに接続している場合、[Proxy 認証] ダイアログが表示されることがあります。この場合、Proxy 認証用のユーザー名とパスワードを入力する必要があります。このダイアログボックスで [パスワードを記憶する] を にすると、今回 Proxy 認証したユーザー名とパスワードが記憶され、次回からは自動的に認証されます。

ディスクマネージャから InternetDisk ASP へログインする

ディスクマネージャや同期ツールを初めて使う場合などには、次のような [認証] ダイアログボックスが表示されます。



この場合、お客様 ID・メンバーID・メンバーのログイン用パスワードを入力して [OK] をクリックするとログインを開始します。ログインに成功すると、InternetDisk ASP が使えるようになります。失敗した場合はエラーメッセージが表示されます。

[パスワードを記憶する] を にするとログイン用パスワードが記憶され、次回ディス

クマネージャを起動したときに自動的にログインします。その場合は、今回ログインしたときと同じお客様 ID・メンバーID・ログイン用パスワードを使ってログインを開始します。

補足：ログイン用パスワードを記憶する

ログイン用パスワードを記憶する場合、記憶したログイン用パスワードや ID は、Windows のログインユーザーごとに区別されます。

複数人で同じ Windows のログインユーザーを共有して利用している場合にログイン用パスワードを記憶するように設定すると、ほかの人が InternetDisk ASP にログインする危険性が高くなります。

補足：ログイン用パスワード記憶の許可

ログイン用パスワードの記憶は、メンバー管理者が許可しないように設定している場合があります。そうした場合はログイン用パスワードを記憶できません。

パスワード有効期限とログイン有効期限

メンバーのログイン用パスワードには、メンバー管理者により有効期限が設定されることがあります。長期間同じログイン用パスワードを使っていると、パスワードが破られる危険性が高くなるからです。

パスワード有効期限間近の警告

ログイン用パスワードの有効期限が設定されている場合、期限が近くなると次のようなメッセージが表示されます。こうしたメッセージは、ログイン用パスワードを変更するか有効期限になるまでの間、ログインするたびに表示されます。

ご利用のアカウントでは、パスワードの有効期限まであと x 日です。
有効期限までにパスワードを変更してください。
この有効期限はメンバー管理者によって定められています。

こうした場合は、InternetDisk ASP のログイン用パスワードを変更してください。

→P.80 ログイン用パスワードを変更する

パスワード有効期限切れのエラー

パスワードを変更しないままパスワードの有効期限が切れた場合、次のエラーメッセージが表示されてログインできなくなることがあります。

パスワードの有効期限が切れました。

こうした場合は、InternetDisk ASP のパスワードを変更してください。

→P.80 ログイン用パスワードを変更する

パスワードを変更しなければ、ログインできません。

補足：パスワード有効期限が切れてもログインできる場合

メンバー管理者の設定によっては、パスワード有効期限が切れると、ログインするたびに次のメッセージが表示されるようになります。この場合、ログイン自体は可能です。

パスワードの有効期限が過ぎています。
この有効期限はメンバー管理者によって定められています。

エラーが発生してログインできない場合

インターネットへの接続に問題がなく、正しいログイン情報を入力している場合でも、次のエラーが発生してログインできない場合があります。

- パスワードロック
- IPアドレス制限/ログイン制御

パスワードロックが原因でログインできない場合

次の場合、パスワードロックが原因でログインできません。

連続してログインに失敗したため、パスワードロックが作動しました。

パスワードロックの解除は、メンバー管理者に依頼してください。

パスワードロックは、誤ったパスワードの入力によるログイン失敗が続けて起きたときに作動します。詳細や対応方法は、メンバー管理者にお問い合わせください。パスワードロックは、メンバー管理者が設定や解除をします。

IPアドレス制限/ログイン制御が原因でログインできない場合

次の場合、IPアドレス制限/ログイン制御が原因でログインできません。

インターネットディスクの認証に失敗しました。

次のような原因が考えられます。

- ・ IPアドレス制限（お使いのネットワークからは、接続が許可されていません）
- ・ ログイン制御（ログイン許可期間を過ぎているか、ログインが許可されていない日時に接続しています。）

詳細や対応方法は、メンバー管理者にお問い合わせください。IPアドレス制限/ログイン制御はメンバー管理者が設定します。

補足：IPアドレス/ログイン制御設定時の通知メール

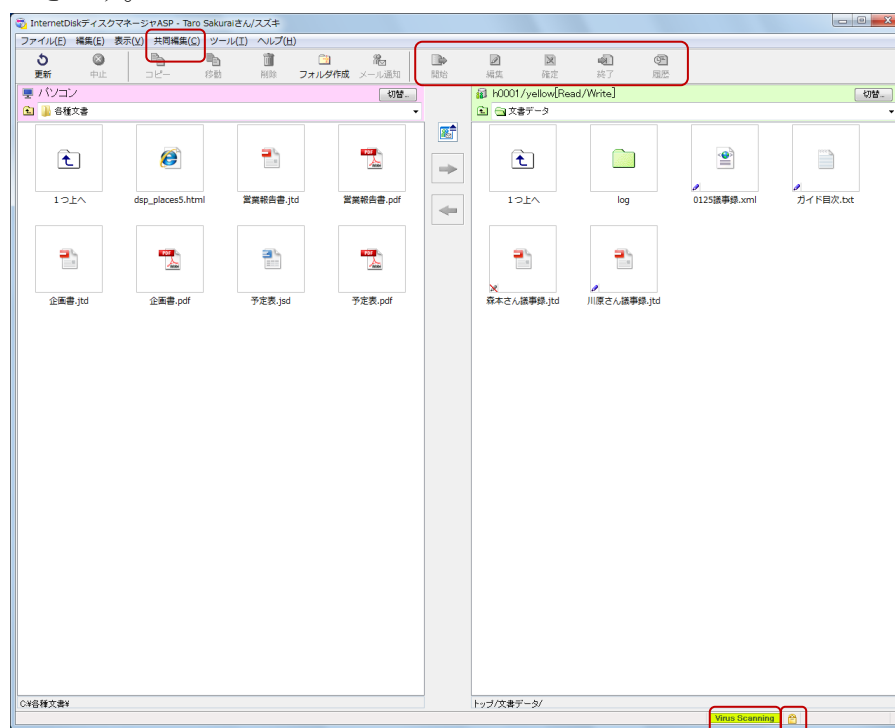
メンバー管理者がIPアドレス制限/ログイン制御を設定したり、設定を変更したりした場合には、メンバーに通知メールが送信されています。

ディスクマネージャを終了する

1. **【ファイル終了】** を選択します。
ディスクマネージャが終了します。

ディスクマネージャの画面

ディスクマネージャでは、左右2つの画面にお使いのコンピュータや InternetDisk ASP のフォルダの内容が表示されます。この2つの画面間でファイルのコピーなどができます。



SSL 通信

InternetDisk ASP にアクセスするためのデータ通信で SSL を使用している場合、画面右下にそのことを表す鍵マークが表示されます。SSL を使用するかどうかは、ディスクマネージャの設定で決まります。また、鍵マークをクリックすると、SSL 通信で利用される証明書が表示されます。

→P. 70 SSL の証明書を表示する

ウイルスチェック

ウイルスチェックサービスを利用している場合、画面右下にそのことを表すマークが表示されます。ウイルスチェックサービスを利用するにはオプション契約が必要です。

共同編集機能

共同編集機能が利用できる場合、ディスクマネージャのメニューに [共同編集] が追加されます。また、ツールボックスや右クリックメニューにも機能が追加されます。

表示するディスクやフォルダを切り替える

表示可能なディスク/フォルダ

ディスクマネージャでは、左右 2 つの画面にそれぞれ次の種類のディスクやフォルダを表示できます。

パソコン

お使いのコンピュータ（または同じ LAN 内にあるコンピュータ）のディスクやフォルダです。

個人ディスク

InternetDisk ASP の個人フォルダです。個人ディスクが利用できる場合に表示されます。個人ディスクは、メンバーが所属するお客様が個人ディスクオプションを契約していて、メンバー管理者が個人ディスクを利用できるようにメンバーを設定している場合に利用できます。

共有フォルダ

InternetDisk ASP の共有フォルダ、またはその配下にあるフォルダです。アクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」が付与された共有フォルダとその配下を表示できます。

表示するディスクやフォルダの種類を切り替える

画面に表示するディスクや共有フォルダの種類を切り替えるには、左右それぞれの画面の上右にある「切替」をクリックします。



「切替」をクリックするとプルダウンメニューに次の項目が表示されます。

- パソコン
- 個人ディスク（利用できる場合）
- 共有フォルダ
- 通知 ID の選択

このメニューから切り替えるディスク/共有フォルダの種類を選択します。

パソコンのフォルダに切り替える

1. 「切替」をクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
2. 「パソコン」を選択します。
画面がパソコンのフォルダに切り替わります。

個人ディスクに切り替える

1. 「切替」をクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
2. 「個人ディスク」を選択します。
画面に個人ディスクに切り替わります。

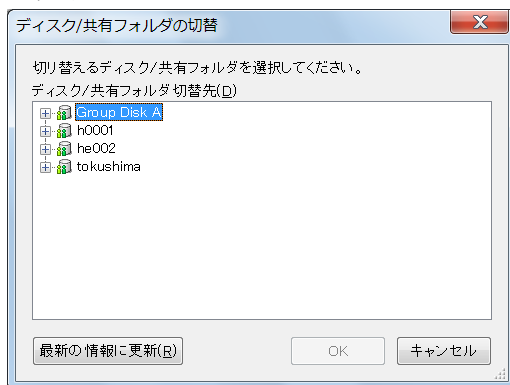
個人ディスクが利用できない場合、プルダウンメニューに「個人ディスク」が表示されません。

共有フォルダに切り替える

1. 「切替」をクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。

「共有フォルダ」を選択します

「ディスク/共有フォルダの切替」ダイアログボックスが表示されます。



「ディスク/共有フォルダ切替先」で共有フォルダまたはその配下のフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

画面が選択したフォルダに切り替わります。

補足：【ディスク/共有フォルダの切替】ダイアログボックスを最新の情報に更新する

【ディスク/共有フォルダの切替】ダイアログボックスを表示している間に、ほかのメンバーなどにより InternetDisk ASP のフォルダ構成が変わる場合があります。こうした場合は、【最新の情報に更新】をクリックし、新しいフォルダ構成の情報を読み込みます。

通知 ID を選択する

InternetDisk ASP では共有アドレス通知で、共有フォルダまたはその配下のフォルダを表すアドレス（URL）と通知 ID がメンバー管理者やメンバーから連絡される場合があります。ディスクマネージャでは通知 ID を利用して、連絡された共有フォルダやその配下のフォルダをすばやく開くことができます。

1. 【切替】をクリックします。

プルダウンメニューが表示されます。

2. 「通知 ID の選択」を選択します。

【通知 ID 選択によるフォルダ切り替え】ダイアログボックスが表示されます。



3. 共有通知一覧で通知 ID を選択し、【OK】をクリックします。

画面が、選択された通知 ID に対応する共有フォルダまたはその配下のフォルダに切り替わります。

ファイルやフォルダの情報を表示する

画面を最新の情報に更新する

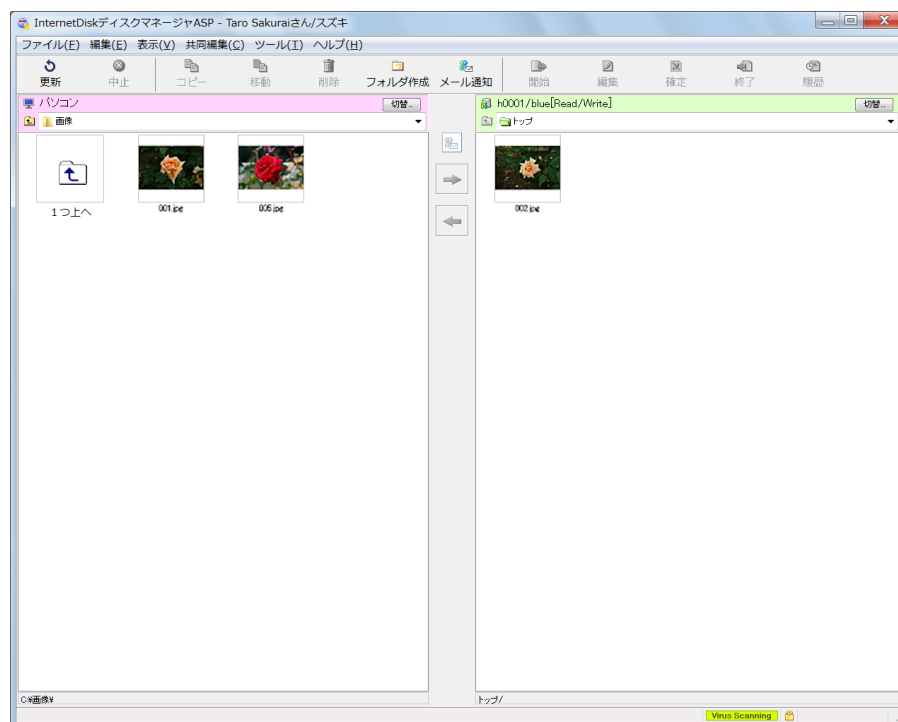
1. **「表示-最新の情報に更新」** を選択します。
左右の画面両方を最新の情報に更新します。
更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
更新しているときに**「表示-中止」** を選択すると、更新は中止します。

表示方法を切り替える

1. **「表示-大きいアイコン／小さいアイコン／一覧／詳細」** をクリックします。
フォルダやファイルの表示方法が切り替わります。
表示方法の種類は、Windows のエクスプローラと同じです。
表示方法を切り替えると、左右の画面の表示方法が同時に変更になります。片方の画面だけ表示方法を変更することはできません。

サムネイル表示する

サムネイル表示すると、画像ファイルを縮小したものが一覧表示されます。



この機能は、多数の画像ファイルを扱う場合などに便利です。

1. **「表示-サムネイル」** をクリックします。
フォルダやファイルがサムネイル表示されます。

補足：サムネイル表示するための設定

サムネイル表示ができるのは、ディスクマネージャの設定で「サムネイル表示する」を にしている場合です。

→P. 79 ディスクマネージャを設定する

初期状態では「サムネイル表示する」は になっており、サムネイル表示はできません。

補足：サムネイル表示されるファイル

サムネイル表示されるのは、JPEG、GIF、BMP、TIFF、PNG 標準形式の画像ファイルです。それ以外のファイルは、ファイルの種類を表すアイコンで表示されます。

フォルダやファイルを整理させる

フォルダやファイルは、左右それぞれの画面で項目順に並び替えられます。

1. 左右どちらかの画面をクリックし、「表示-アイコンの整列-名前順／種類順／サイズ順／日付順」を選択します。

フォルダやファイルの並び順がクリックした項目の昇順になります

昇順に表示されている項目名をクリックすると、その項目の降順に一覧が表示されます。

共有メンバー一覧を表示する

共有フォルダを表示している画面では、その共有フォルダのアクセス権をもつメンバーについて次の情報を表示できます。

- メンバー名
- アクセス権の種類

1. 左右どちらかの画面をクリックし、「ツール-共有メンバー一覧」を選択します。クリックした画面に表示されているフォルダの共有メンバー一覧を表すダイアログボックスが表示されます。

ディスク容量と空き容量を確認する

共有フォルダや個人ディスクで、ディスク容量と空き容量を確認します。

1. 左右どちらかの画面をクリックし、「ツール-ディスク容量の確認」を選択します。

ディスク容量を表すダイアログボックスが表示されます。



パソコンのフォルダでは、ディスク容量や空き容量は確認できません。

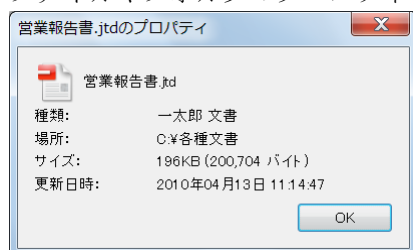
フォルダやファイルのプロパティを表示する

画面に表示されているフォルダやファイルの次の情報（プロパティ）を表示します。

- 種類
- 場所
- サイズ
- 更新日時
- 内容（フォルダの場合）

1. 左右どちらかの画面でファイルやフォルダを選択し、[ファイルプロパティ]をクリックします。

ファイルやフォルダのプロパティを表すダイアログボックスが表示されます。



SSLの証明書を表示する

SSL (Secure Socket Layer) を使用してデータを暗号化している場合、信頼できる認証機関が InternetDisk ASP のサイトに発行した証明書が利用されます。ディスクマネージャでは次の手順で現在利用されている証明書の内容を表示し、その内容が正しいかどうかを検証できます。

1. ディスクマネージャ画面の右下に表示された、SSL 通信を表す鍵マークをクリックします。

[証明書] ダイアログボックスに証明書の内容が表示されます。

次の例のような証明書では、発行先は www.idiskasp.com サイト、発行者は Cybertrust 社です。

発行先	www.idiskasp.com
発行者	Cybertrust Japan Public CA
有効期限	2010/2/8 から 2013/3/8

2つの画面間でフォルダやファイルをコピーする

ディסקマネージャでは、2つの画面間で、ファイルやフォルダを互いにコピーできます。ただし、アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダやその配下のフォルダへコピーすることはできません。

補足：複数のファイルを選択する

ファイルやフォルダを選択するときは、Shift キーや Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のフォルダやファイルを選択できます。

また、[編集-すべて選択]で、フォルダ内のすべてのフォルダやファイルを選択できます。

[編集-選択の切り替え]を選択すると、現在選択しているフォルダやファイルの選択を解除し、選択していないファイルやフォルダを選択します。

補足：容量が2GB を超えるファイル

1ファイルあたりの容量が2GB を超える場合、InternetDisk ASP 上の共有フォルダや個人ディスクにコピー（アップロード）できません。

ドラッグ&ドロップでコピーする

2つの画面のうちどちらかの画面に表示されているファイルやフォルダを選択し、もう1つの画面にドラッグ&ドロップします。

右画面にコピーする

1. 左の画面に表示されているファイルやフォルダを選択します。
2. [編集-右画面へコピー]を選択します。

ファイルやフォルダが右画面にコピーされます。

左画面にパソコンのフォルダ、右画面に共有フォルダを表示している場合、ファイルやフォルダを InternetDisk ASP にアップロードすることになります。

左画面にコピーする

1. 右の画面に表示されているファイルやフォルダを選択します。
2. [編集-左画面へコピー]を選択します。

ファイルやフォルダが左画面にコピーされます。

左画面にパソコンのフォルダ、右画面に共有フォルダを表示している場合、ファイルやフォルダを InternetDisk ASP からダウンロードすることになります。

共有アドレスを通知する

共有アドレス通知機能を利用することで、共有フォルダまたはその配下のフォルダに対する共有アドレス (URL) や通知 ID をほかのメンバーや自分自身に通知できます。通知先として設定できるのは、共有フォルダにアクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」をもつメンバーです。

通知メールを送信されたメンバーは、通知された共有フォルダまたはその配下のフォルダをすばやく開けます。

Web ビューを利用している場合は、共有アドレス (URL) を Web ブラウザで開きます。

→P. 32 URL を指定して直接共有フォルダを開く

ディスクマネージャを利用する場合は、通知 ID を選択します。

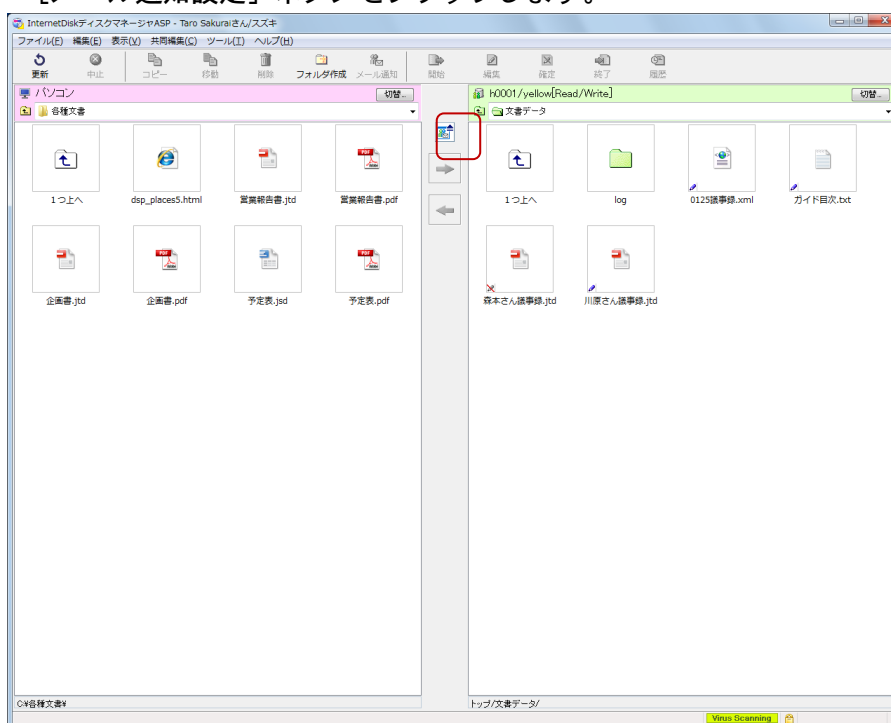
→P.67 通知 ID を選択する

アップロード時にメール通知する

アップロード時のメール通知方法を設定する

InternetDisk ASP にファイルをアップロードするときは、共有アドレス通知をすることができます。共有アドレス通知をするには、アップロード前に次の設定をします。

1. [メール通知設定] ボタンをクリックします。



プルダウンメニューが表示されます。

- メール通知の詳細を設定する(D)
- 管理者の設定に従う(A)
- メール通知しない(N)

2. メール通知の設定を選択します。

設定に従ってメール通知が動作するようになります。

メール通知の動作は次のように設定できます。初期状態は、「メール通知しない」です。

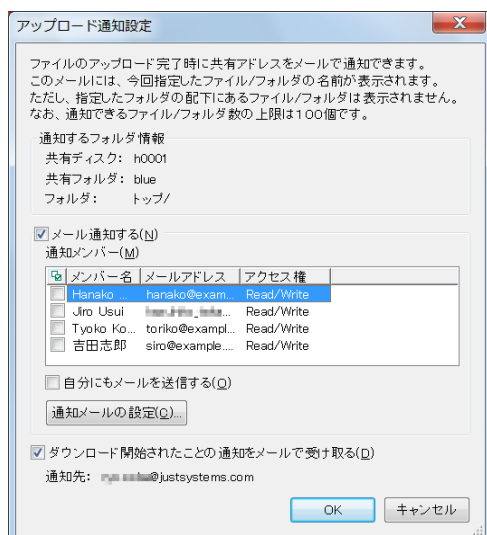
項目	説明
メール通知の詳細を設定する	ファイルがアップロードされるたびに [アップロード通知設定] ダイアログボックスが表示され、メール通知の詳細を設定するモードです。
管理者の設定に従う	InternetDisk ASP でお客様のメンバー管理者が設定した「共有アドレス通知の初期状態」に従うモードです。共有アドレス通知の初期状態が「アップロード操作ごとに通知設定を行う」の場合は、 [アップロード通知設定] ダイアログボックスが表示されます。「常に共有アドレス (URL) 通知を行う」の場合は、 ダイアログボックスは表示されず、すべての共有メンバーに自動的にメール通知されます。共有アドレス通知の初期状態については、メンバー管理者にお問い合わせください。
メール通知しない	ファイルをアップロードするとき、メール通知をしないモードです。

補足：アップロード時の通知を設定できる場合

アップロード時の通知を設定できるのは、左右の画面の一方にお使いのコンピュータのフォルダ、もう一方にアクセス権が「Read/Write」の共有フォルダが表示されている場合です。これ以外の場合、アップロード時のメール通知ができないため、共有アドレス通知機能は設定できません。

メール通知の詳細を設定する

ファイルアップロード時のメール通知設定方法が [メール通知の詳細を設定する] の場合、ファイルをアップロードするたびに [アップロード通知設定] ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスではメール通知とダウンロード通知について次の項目を設定します。

メール通知する

メール通知する場合はにします。初期状態ではとなっています。

通知メンバー

共有フォルダにアクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」をもつメンバーが一覧に表示されます。通知するメンバーをにします。

自分にもメールを送信する

にすると、自分宛に通知メールが送信されます。

通知メールの設定

クリックすると、通知メールの見出しやメッセージを設定できます。

ダウンロード 開始されたことの通知をメールで受け取る

ダウンロード 通知メールを受け取る場合はにします。ダウンロード 通知メールは、このファイルがダウンロードされたときに送信されるメールです。

お客様のメンバー管理者がダウンロード 情報の取得機能利用の設定を「取得機能を利用しない（速度優先）」に設定している場合、この設定をにすることはできません。

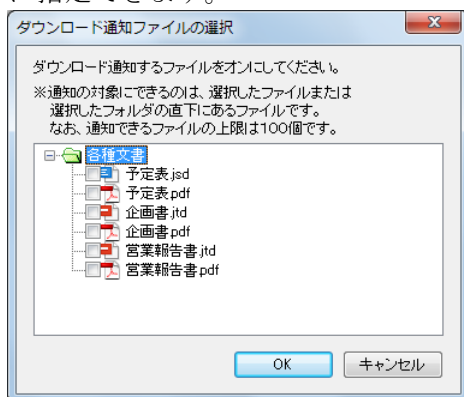
にしたい場合は、メンバー管理者にお問い合わせください。

また、ダウンロード 情報を利用できる場合、この設定はあとで変更することもできます。

フォルダのアップロード時に、ダウンロード通知するファイルを設定する

フォルダをアップロードする場合、[ダウンロード通知ファイルの選択]ダイアログボックスが表示される場合があります。

このダイアログボックスでは、フォルダの中でダウンロード通知するファイルを個別に指定できます。



ただし、指定できるのはアップロードの対象として直接選択したファイルと、アップロードの対象として直接選択したフォルダの直下にあるファイルだけです。それ以外の、2階層目以降のフォルダにあるファイルは、ダウンロード通知の対象になりません。

補足： [ダウンロード通知ファイルの選択] ダイアログボックスが表示される場合

ディスクマネージャの設定で「フォルダ単位のアップロード時にダウンロード通知設定ダイアログを表示する」がの場合に、[アップロード通知設定]ダイアログボックスで[ダウンロード通知されたことの通知をメールで受け取る]をにすると、[ダウンロード通

知ファイルの選択] ダイアログボックスは表示されます。

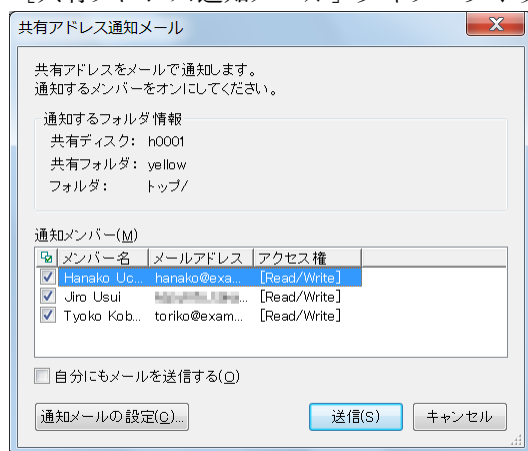
→P. 79 ディスクマネージャを設定する

の場合、[ダウンロード 通知ファイルの選択] ダイアログボックスは表示されません。
初期状態では、になっています。

画面に表示している共有フォルダなどをメール通知する

ディスクマネージャでは、画面に表示している共有フォルダやその配下のフォルダの共有アドレスをメール通知できます。

1. 共有フォルダまたはその配下のフォルダが表示されている画面をクリックしてから、[ツール-共有アドレス通知メール] をクリックします。
[共有アドレス通知メール] ダイアログボックスが表示されます。



2. 各項目を選択し、[送信] をクリックします。

画面に表示されているフォルダの共有アドレスがメール通知されます。

メール通知の送信先

[共有アドレス通知メール] や [アップロード通知設定] ダイアログボックスでは、メール通知の送信先に関する次の項目を設定します。

項目	説明
通知メンバー	一覧で、通知メールの送信先となるメンバーを <input checked="" type="checkbox"/> にします。一覧に表示されるのは、共有フォルダにアクセス権「Read」、「Read/Write」、または「Blind Read」をもつメンバーです。
自分にもメールを送信する	自分のメールアドレスに通知メールを送信します。

また [通知メールの設定] をクリックすると [通知メール設定] ダイアログボックスが表示されます。

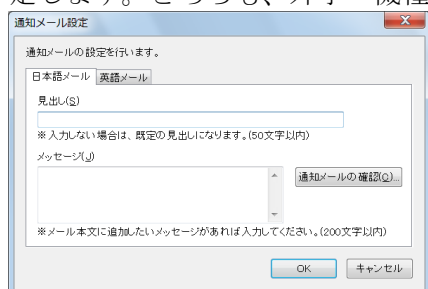
通知メールの設定

[通知メール設定] ダイアログボックスでは、通知メールの見出しと本文中に挿入されるメッセージを日本語メール・英語メールのそれぞれについて設定します。

メールを送信すると、Web ビューからアクセスするときに必要な共有アドレスと、ディスクマネージャからアクセスするとき利用される通知 ID が送信先のメンバーに連絡されます。

日本語メールの設定

[日本語メール] シートで、見出しは 50 文字以内、メッセージは 200 文字以内で設定します。どちらも、外字・機種依存文字・半角カタカナは使えません。



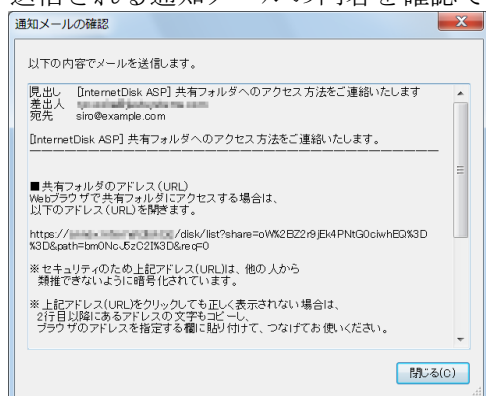
英語メールの設定

[英語メール] シートで、見出しは 50 文字以内、メッセージは 200 文字以内で設定します。どちらも、半角英数字・半角スペース・半角記号!"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[¥]^_`{|}だけを記述できます。

英語メールは、言語の設定が「英語」のメンバーに通知メールを送信する場合に設定します。

通知メールの確認

[通知メールの確認] をクリックすると、[通知メールの確認] ダイアログボックスで送信される通知メールの内容を確認できます。

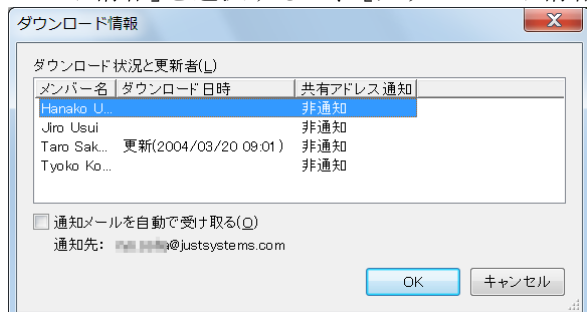


[通知メールの確認] ダイアログボックスで [閉じる] をクリックすると [通知メールの設定] ダイアログボックスに戻ります。

[通知メールの設定] ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、[アップロード通知設定] や [共有アドレス通知メール] ダイアログボックスに戻ります。

ダウンロード 情報を確認・設定する

共有フォルダやその配下のフォルダにあるファイルを選択してから [ファイル-ダウンロード情報] を選択すると、[ダウンロード情報] ダイアログボックスが表示されます。



「ダウンロード状況と更新者」にはこのファイルにアクセスできるメンバーとそれぞれのメンバーのダウンロード状況が表示されます。

「通知メールを自動で受け取る」を にすると、このファイルがダウンロードされるときにダウンロード通知メールを受け取ることができます。初期状態では になっています。

ただし、メンバー管理者がダウンロード情報を取得しないように設定している場合、ダウンロード情報の確認や設定はできません。

フォルダやファイルを操作する

ファイルを開く

パソコンのフォルダでは、選択しているファイルを開くことができます。

1. お使いのコンピュータのファイルを選択し、[ファイル-開く] を選択します。
ファイルが開きます。

ファイルを開くときに用いられるアプリケーションソフトは、Windows のエクスプローラでファイルを開くときと同じです。

フォルダを作成する

パソコンのフォルダや個人ディスク・アクセス権「Read/Write」の共有フォルダでは、次の手順でフォルダを作成できます。

1. フォルダを作成するフォルダ（親フォルダ）を表示します。
2. [ファイル-フォルダの作成] を選択します。
フォルダが「新しいフォルダ」という名前で作成され、フォルダ名が編集可能な状態になります。
3. フォルダ名を入力して、確定します。

アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダでは、フォルダを作成できません。

フォルダやファイルの名前を変更する

パソコンのフォルダや個人ディスク・アクセス権「Read/Write」の共有フォルダでは、次の手順でフォルダ名やファイル名を変更できます。

1. 左右どちらかの画面で名前を変更したいフォルダやファイルを選択します。
2. [ファイル-名前の変更] を選択します。
3. 変更後の名前を入力します。

アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダでは、フォルダ名やファイル名の変更はできません。

フォルダやファイルを削除する

パソコンのフォルダや個人ディスク・アクセス権「Read/Write」の共有フォルダで削除できます。

1. 削除したいフォルダやファイルを選択します。
2. [ファイル-削除]を選択します。
確認のメッセージが表示されます。
3. [はい]をクリックします。
フォルダやファイルが削除されます。

アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダでは、フォルダやファイルは削除できません。

フォルダやファイルを移動する

同じディスク/共有フォルダ内でフォルダやファイルを移動します。パソコンのフォルダや個人ディスク・アクセス権「Read/Write」の共有フォルダで可能です。

1. 移動したいファイルを選択します。
2. [編集-移動]を選択します。
3. 移動先のフォルダを選択して、[OK]をクリックします。

アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダでは、フォルダやファイルの移動はできません。

フォルダやファイルをコピーする

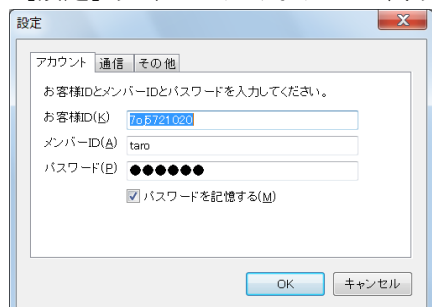
同じディスク/共有フォルダ内でフォルダやファイルをコピーします。パソコンのフォルダや個人ディスク・アクセス権「Read/Write」の共有フォルダで可能です。

1. コピーしたいファイルを選択します。
2. [編集-コピー]を選択します。
3. コピー先のフォルダを選択して、[OK]をクリックします。

アクセス権「Read」または「Blind Read」の共有フォルダではコピーできません。

ディスクマネージャを設定する

1. [ツール設定] を選択します。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。



2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。
ディスクマネージャの各項目が設定されます。

ディスクマネージャの設定項目

ディスクマネージャでは、次の項目を設定できます。

項目	説明
アカウント お客様 ID メンバー ID パスワード パスワードを記憶する	起動時に設定したログインに必要な情報を変更します。 →P.61 ディスクマネージャを起動してログインする
通信 SSL を使用してデータを暗号化する アップロード時のデータ分割単位	<input checked="" type="checkbox"/> にするとインターネット上で送受信するデータを SSL で暗号化し、漏えいする危険性を小さくします。 データを分割して送信する必要があるときに設定します。プロキシサーバー経由でインターネットに接続しているネットワークなどでは、1 度に送信できるデータのサイズに制限が設定されている場合があります。この値は、そうした上限にあわせて設定します。初期状態は「512KB」です。
Proxy アカウント ユーザー名 パスワード パスワードを記憶する	お使いのコンピュータが、ユーザー名やアカウントを使って認証する Proxy を経由してインターネットに接続している場合に設定します。
その他 サムネイル表示する	画像ファイルをサムネイル表示できるようにするかしないかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> にするとサムネイル表示ができるようになります。 サムネイル表示を利用すると、画像ファイルの概要を一覧表示できて便利です。ただしサムネイル表示を利用できるようにすると、通信などに時間がかかるようになります。そのため、速度を優先する場合はサムネイル表示はしません。
ツールバーの文字を表示する	ディスクマネージャの画面で、ツールバーの文字を表示するかどうかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> の場合、文字が表示されます。初期状態は、 <input checked="" type="checkbox"/> です。

項目	説明
フォルダ単位のアップロード時にダウンロード通知設定ダイアログを表示する	フォルダを共有フォルダにアップロードしたときに、[ダウンロード通知設定] ダイアログボックスを表示するかしないかを設定します。初期状態は、 <input checked="" type="checkbox"/> です。

ログイン用パスワードを変更する

次の手順で、ディスクマネージャから InternetDisk ASP でのメンバーID のログイン用パスワードを変更できます。

1. [ツールパスワードの変更] を選択します。
[パスワード変更] ダイアログボックスが表示されます。

2. InternetDisk ASP での現在のログイン用パスワードと、新しいログイン用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

新しいログイン用パスワードは同じものを2回入力します。

ログイン用パスワードが変更されると、ダイアログボックスが閉じます。

ログイン用パスワードを変更した場合、Web ビューでも新しいログイン用パスワードでログインします。

補足：新しいログイン用パスワードは、今までのログイン用パスワードとは違うものにしてください

新しいログイン用パスワードを、現在のログイン用パスワードや過去に使っていたログイン用パスワードと同じものにしてしまうと、エラーが発生してログイン用パスワードを変更できません。

ディスクマネージャの情報を表示する

ディスクマネージャの使い方を調べる

1. [ヘルプ-使い方の Web ページ] を選択します。
Web ブラウザにディスクマネージャのヘルプが表示され、使い方を調べられます。

InternetDisk ASP の FAQ を見る

1. [ヘルプ-FAQ の Web ページ] を選択します。
Web ブラウザに InternetDisk ASP の「よくある質問」が表示されます。

Webビューを開く

1. [ヘルプ-InternetDisk ASP のサービスサイト] を選択します。
Webブラウザに Webビューのログインページが表示されます。

InternetDisk ASP の運用状況を見る

1. [ヘルプ-運用状況の Web ページ] を選択します。
Webブラウザに InternetDisk ASP の運用状況が表示されます。

ディスクマネージャのバージョンを確認する

セットアップされているディスクマネージャのバージョンを確認します。

1. [ヘルプ-バージョン情報] を選択します。
セットアップされているディスクマネージャのバージョン情報を表示します。

ディスクマネージャを自動更新する

1. [ツール-ディスクマネージャの自動更新] を選択します。
ディスクマネージャの新しいバージョンがリリースされているかいないかを確認し、リリースされている場合はセットアップされているディスクマネージャを自動的に更新します。

[オプション] 共同編集機能

共同編集機能は、共有フォルダ内のファイルを共同編集ファイルに設定し、複数のメンバーで編集できるようにする機能です。共同編集ファイルをあるメンバーが編集しているとき、ほかのメンバーの編集は禁止されます（排他制御）。この編集が終了すると、ほかのメンバーは編集できるようになります。このため共同編集機能を利用すると、内容の整合性を保ちながら複数の人間でファイルを編集できます。

共同編集機能を利用するには

オプション契約

共同編集機能は、別途申し込みが必要なオプションサービスです。共同編集機能を新たに利用したい場合は、メンバー管理者に連絡してください。

ディスクマネージャのセットアップ

共同編集機能を利用するには、バージョン 2.0 以降のディスクマネージャをセットアップする必要があります。

→P.60 ディスクマネージャをセットアップする

バージョン 2.0 より前のバージョンのディスクマネージャをお使いの場合は、最新のものに更新してください。

→P.81 ディスクマネージャを自動更新する

なお、共同編集機能は Web ビューからは利用できません。

共同編集可能なメンバー

共同編集を開始したファイルを編集できるのは、共有フォルダにアクセス権「Read/Write」が設定されているメンバーです。特定のメンバーで共同編集したい場合は、メンバー管理者に次の作業を依頼してください。

- 共同編集用の共有フォルダを作成する
- 編集するメンバーにアクセス権「Read/Write」を設定する

共同編集開始可能なファイル

共同編集を開始できるのは、共有ディスク内でアクセス権「Read/Write」があるファイルです。

また、次のファイルはアクセス権があっても共同編集を開始できません。

- 拡張子のないファイル
- 拡張子が「exe」「dll」のファイル

共同編集用のメニュー

共同編集機能が利用できる場合、ディスクマネージャのメニューに、[共同編集]が追加されます。また、ツールボックスや右クリックメニューでも機能が追加されます。

共同編集の手順

ファイルの共同編集は、次の手順で行います。

共同編集を開始する

編集と、編集履歴参照が可能になります。

また、ファイルのコピー・移動・削除・名前の変更ができなくなります。ダウンロードは、ディスクマネージャからも Web ビューからも可能です。

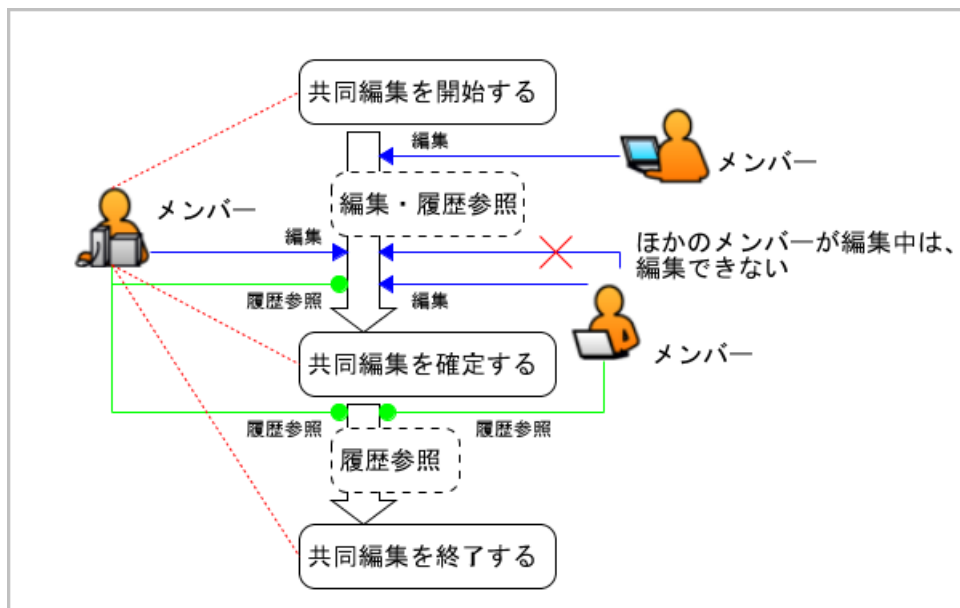
共同編集を確定します。

編集ができなくなります。編集履歴参照は可能です。

ファイルのコピーなどはできないままです。

共同編集を終了します。

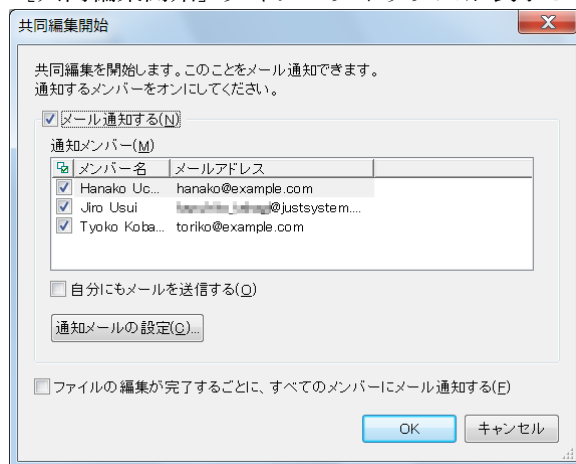
共同編集ファイルが通常のファイルとなり、コピーなどが可能になります。



共同編集を開始する

共同編集を開始するファイルを設定します。

- 共有フォルダのファイルを選択し、[共同編集-共同編集開始]を選択します。
[共同編集開始] ダイアログボックスが表示されます。




- 次の項目を設定します。

項目	説明
メール通知する	共同編集を開始したことを通知するメールを送信します。
通知メンバー	一覧で、通知メールを送信するメンバーを☑にします。
自分にもメールを送信する	☑にすると、自分のメールアドレスに通知メールが送信されます。

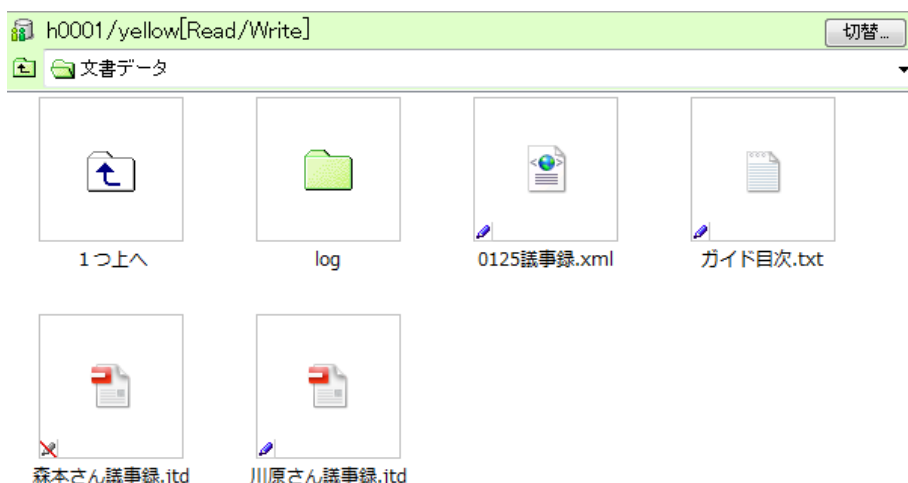
項目	説明
通知メールの設定	クリックすると、通知メンバーに設定されている言語に従って、[日本語メール] や [英語メール] タブが表示されます。通知メール本文に挿入するメッセージを、言語ごとに 200 字以内で入力します。メッセージは入力しないままでもかまいません。
ファイルの編集が完了するごとに、すべてのメンバーにメール通知する	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、ファイルの編集が完了するごとに通知メールが送信されるようになります。この通知メールは、このファイルを共有しているすべてのメンバー（ただし、編集した本人を除く）に送信されます。

3. [OK] をクリックします。

選択したファイルの共同編集が開始します。共同編集を開始したファイルには、が表示されます。

共同編集ファイルの表示

フォルダを開いて共同編集を開始したファイルを表示すると、次の画面のようにファイルのアイコンに、共同編集の状態を表す小さなアイコンが付きます。



共同編集の状態を表すアイコンには、次の種類があります。



開始している共同編集ファイルを表します。



確定している共同編集ファイルを表します。



新たに次の状態になった共同編集ファイルに表示されます。

- 共同編集開始
- ほかのメンバーによる編集
- 共同編集確定


ファイルを編集・履歴表示・ダウンロードすると、このアイコンは消えます。

共同編集ファイルを編集する

共同編集ファイルとアプリケーション

共同編集ファイルを編集する場合、そのファイルを編集するためのアプリケーションがお使いのコンピュータにセットアップされ、ファイルの拡張子に関連づけられている必要があります。例えば共同編集ファイルが拡張子 `jtd` の一太郎ファイルの場合、このファイルを編集するにはお使いのコンピュータで一太郎がセットアップされていて、拡張子 `jtd` に一太郎が関連づけられている必要があります。

編集の手順

1. ファイルが共同編集ファイルであることを確認します。
共同編集ファイルには  が表示されます。
2. 共同編集ファイルを選択し、[共同編集-共同編集ファイルの編集] を選択します。
「編集結果を反映させるには保存終了してください」というメッセージが表示されたあと、選択した共同編集ファイルがアプリケーションで開きます。
3. ファイルを編集します。
4. 編集が完了したら、ファイルを保存してアプリケーションを閉じ、共同編集ファイルに編集結果を反映します。
編集を反映できる場合には、「共同編集ファイルに書き込みます。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。
5. ダイアログボックスで [はい] をクリックします。
共同編集ファイルに編集内容が反映され、1 回分の編集が終了します。
[再編集] をクリックすると、ファイルの編集を続行できます。
[編集内容を破棄] をクリックすると、共同編集ファイルは編集前のままになります。

補足：ファイル編集完了時の通知メール

共同編集を開始するときに [共同編集開始] ダイアログボックスで [ファイルの編集が完了するごとに、すべてのメンバーにメール通知する] を にしていた場合、ファイル編集があったことを連絡する通知メールが送信されます。

→P. 83 共同編集を開始する

補足：ファイルを保存しても編集結果が反映できない場合

ジャストシステムのアプリケーションである一太郎・三四郎・花子・Just Right! などではファイルの保存操作を省略してもアプリケーション終了時にダイアログボックスが表示され、編集結果を共同編集ファイルへ反映できます。

そのほかのアプリケーションでは、終了させただけでは編集結果を反映できない場合があります。明示的にファイルを保存してからアプリケーションを終了してください。

それでも編集結果を反映できない (ダイアログボックスが表示されない) 場合は、デスクマネージャのツールボックスにある [編集終了] をクリックしてください。

編集中の共同編集ファイル

編集中の共同編集ファイルは、ほかの共有メンバーが同時に編集することはできません。また、移動・削除・コピーなどの操作もできなくなります。

ただし、編集中の共同編集ファイルでもダウンロードすることは可能です。

ほかのメンバーが共同編集ファイルを編集中のとき

ほかのメンバーがすでに編集中の共同編集ファイルを編集しようとする、「〇〇さんが編集中です。」という編集中のメンバーを表すメッセージが表示され、編集ができません。

この場合、ほかのメンバーによる編集が終了するまでファイルの編集はできません。

編集の上限時間

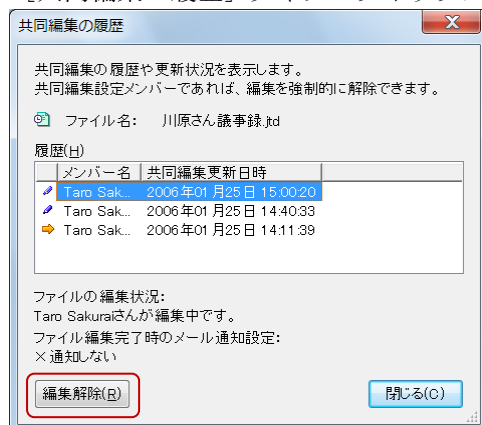
共同編集ファイルでは、編集を開始してから終了するまでの時間に上限（有効期間）がメンバー管理者により定められています。この上限を超えると、共同編集ファイルに編集内容を反映することができません。

編集を強制的に終了する

あるメンバーが長時間ファイルを編集すると、ほかのメンバーはずっと書き込みできなくなります。このような場合、ファイルの共同編集を開始したメンバーは、強制的に編集を終了させることができます。編集を強制的に終了すると、編集終了時点の編集結果が共同編集ファイルに反映されます。編集を強制的に終了する手順は次のとおりです。

1. 共同編集ファイルを選択し、[共同編集-共同編集履歴] を選択します。

[共同編集の履歴] ダイアログボックスに [編集解除] が表示されます。



ファイルの編集を開始したメンバーではない場合、[共同編集の履歴] ダイアログボックスに [編集解除] は表示されません。

2. [編集解除] をクリックします。

「編集を解除しました」というメッセージが表示され、選択したファイルの編集が強制的に終了されます。

編集を強制終了した場合は、編集していたメンバーに連絡してください。

編集を反映できなかった場合

編集時間が上限を超えた場合や共同編集が強制的に終了した場合は、編集中のファイルを保存して終了しても共同編集ファイルに反映することができず、そのことを知らせる「編集有効期限が過ぎたか、編集解除されたため、編集内容を共同編集ファイルに書き込めませんでした。」というメッセージが表示されます。この場合に編集結果を共同編集ファイルに反映させるには、編集したファイルをいったんお使いのコンピュータに保存し、それを元にあとで共同編集ファイルを編集してください。

ただし、共同編集ファイルはほかのメンバーに編集され、変更されている場合があります。編集を開始する時点で、共同編集の履歴やファイルの内容を確認してください。

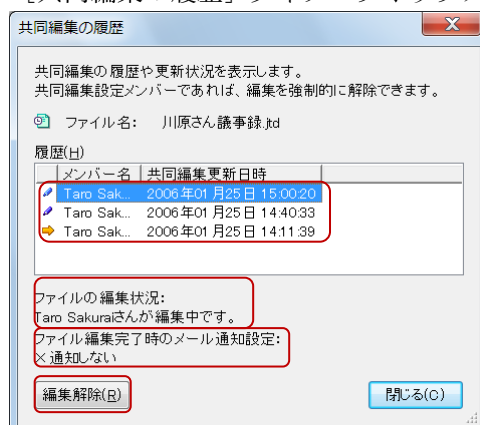
共同編集を開始したメンバーが途中で削除された場合

共同編集を開始したメンバーが共同編集を終了する前にメンバー管理者によって削除された場合、その共同編集ファイルをほかの共有メンバーが編集起動した時点で、自動的に通常のファイルに戻ります。

共同編集の履歴を表示する

1. 共同編集ファイルを選択し、[共同編集-共同編集履歴] を選択します。

[共同編集の履歴] ダイアログボックスに共同編集の履歴一覧が表示されます。



履歴一覧

共同編集の履歴を表します。

- 👉 共同編集の開始
- ✍️ 共同ファイルの編集
- 🔒 共同編集の確定

ファイルの編集状況

共同編集ファイルの現在の状態を表します。

ファイル編集完了時のメール通知設定

ファイルの編集が完了するたびに、メール通知をするかしないかを表示します。

通知する場合は、すべてのメンバーに通知します。

この設定は、共同編集を開始するときになります。

【編集解除】

ファイルの共同編集を開始したメンバーの場合だけに表示されます。

共同編集を確定する

共同編集ファイルの編集が確定すると、そのファイルは編集できない状態になります。ファイルのダウンロードや編集履歴の表示はできません。

共同編集を確定できるのは、そのファイルの共同編集を開始した共有メンバーだけです。

1. **【共同編集-共同編集確定】** を選択します。

共同編集が確定することを確認する「共同編集ファイルの内容を確定します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。

2. **【はい】** をクリックします。

共同編集が確定します。

共同編集を終了する

確定している共同編集ファイルでは、共同編集を終了させることができます。ただし、共同編集を終了できるのは、そのファイルの共同編集を開始した共有メンバーだけです。

共同編集が終了すると、共同編集ファイルは通常のファイルに戻り、共同編集履歴は消去されます。また、ファイルの移動・削除・コピー・名前の変更が可能になります。

1. **共同編集ファイル**を選択し、**【共同編集-共同編集終了】** をクリックします。

共同編集が終了することを確認するダイアログボックスが表示されます。

2. **【はい】** をクリックします。

共同編集が終了します

[オプション] 同期ツールを使う

InternetDisk 同期ツール ASP (同期ツール) を使うと、InternetDisk ASP の個人ディスクとお使いのコンピュータの指定したフォルダ (同期対象フォルダ) を同じ内容に保つことができます。同期ツールは、次のような場合におすすめします。

会社と自宅など、複数の場所で同じファイルに対して作業する

両方のコンピュータに同期ツールをセットアップして使うことで、2つのコンピュータの指定したフォルダ内にあるファイルを同期させることができます。

個人ディスクにファイルをバックアップする

お使いのコンピュータの同期対象フォルダにファイルをコピーすると、ファイルが個人ディスクにバックアップされるようになります。

同期ツールは、個人ディスクを利用できるメンバーだけが使えます。個人ディスクを利用できないメンバーは、同期ツールも使えません。

同期ツールの開始と終了

同期ツールをダウンロードする

同期ツールは、<http://www.idiskasp.com/download/> からダウンロードします。InternetDisk ASP をご利用の方は、自由にダウンロードできます。

同期ツールの動作環境

項目	要件
OS	Windows 11 Windows 10
ハードディスク容量	約 5MB ※セットアップ時、20MB の空き容量が必要です。
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
画面	解像度 800×600 以上、High Color 以上
その他	インターネットに接続できる環境とメールアドレス

※ 最新の詳細情報は、InternetDisk ASP の Web サイトにある「動作環境」(http://www.idiskasp.com/rules/disk_env.html) を参照してください。

同期ツールをセットアップする

同期ツールを利用するには、セットアップする必要があります。ダウンロードした同期ツールのファイルを実行し、画面の指示に従ってセットアップしてください。

セットアップする際は、あらかじめ Administrators 権限をもつユーザーとして OS にログインするか、実行時に管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

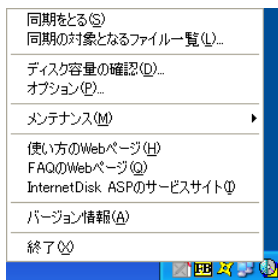
セットアップが完了すると、同期ツールが Windows に常駐し、タスクバーのトレイに同期ツールのアイコンが表示されるようになります。



同期ツールのアイコンをクリックすると、個人ディスクとお使いのコンピュータで同期対象フォルダの同期を開始します。

→P.91 同期をとる

同期ツールアイコンを右クリックすると、同期ツールのメニューが表示されます。



このメニューからは同期がとれるほか、同期の対象となるファイル一覧の表示や、同期ツールの設定などができます。

補足：プロキシの設定

同期ツールはセットアップされるときに、Windows の設定を元に自動的にプロキシサーバーなどを設定します。同期ツールをセットアップする前に、ブラウザでインターネットに接続できることを確認してください。

補足：ディスクマネージャと同期ツールで設定が連動します

同期ツールより先に InternetDisk ディスクマネージャ ASP をセットアップして利用している場合、ディスクマネージャの設定が同期ツールに反映されます。そのため、同期ツールをはじめて起動した場合でもメンバーID やログイン用パスワードを入力する必要はありません。



同期ツールを終了する

同期ツールの常駐を終了します。

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. [終了] を選択します。
同期ツールの常駐が終了します。

同期をとる

同期の必要性を確認する

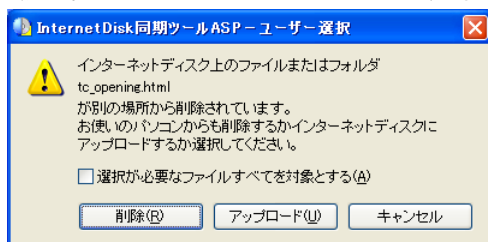
タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンが青色から赤色のアニメーションで表示される場合は、個人ディスクまたは同期対象フォルダのファイルが変更されており、同期が必要だと考えられる状態です。このアニメーションは表示しないように設定することもできます。

→P. 94 同期ツールを設定する

同期をとる

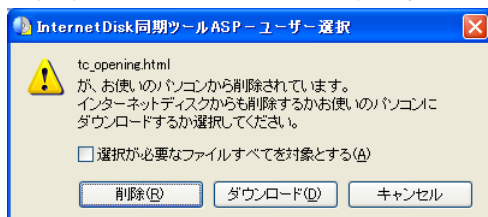
1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンをクリックします。
2. 同期をとることを確認するメッセージが表示される場合があります。同期をとるには、[はい] をクリックします。
確認メッセージを表示するかしないかは設定できます。初期状態では、確認メッセージが表示されます。
3. InternetDisk ASP にログインします。
ログイン時には、ディスクマネージャの場合と同様、[認証] ダイアログボックスが表示される場合と、自動的にログインを開始する場合があります。ログインに失敗する原因も、ディスクマネージャと同じです。
→P.61 ディスクマネージャから InternetDisk ASP へログインする
4. ファイルごとにどのように同期するかを設定します。
個人ディスクまたは同期対象フォルダのどちらか一方のファイルだけが変更された場合、自動的にダウンロードまたはアップロードが行われ、個人ディスク・同期対象フォルダとも変更後のファイルになります。
次の状態のファイルは、ダイアログボックスで同期方法を選択します。

同期対象フォルダにはあるが、個人ディスクからは削除されたファイル



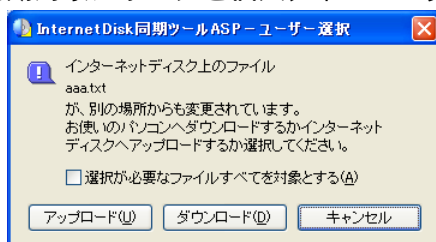
[アップロード] をクリックすると、個人ディスクにファイルをアップロードします。[削除] をクリックすると同期対象フォルダからファイルが削除されます。

個人ディスクにはあるが、同期対象フォルダからは削除されたファイル



[ダウンロード] をクリックすると、同期対象フォルダにファイルをダウンロードします。[削除] をクリックすると個人ディスクからファイルが削除されます。

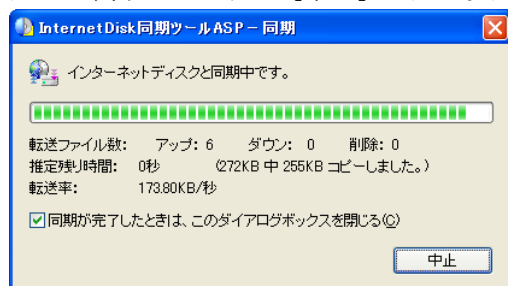
同期対象フォルダと個人ディスクで異なる変更が行われたファイル



[アップロード] をクリックすると、個人ディスクのファイルが同期対象フォルダのファイルで上書きされます。[ダウンロード] をクリックすると、同期対象フォルダのファイルが個人ディスクのファイルで上書きされます。

それぞれのダイアログボックスで「選択が必要なファイルをすべて対象とする」を にすると、同じ状態のファイルはすべて同じ方法で同期をとることになります。

すべてのファイルを設定すると同期が実行され、進捗を表す次のようなダイアログボックスが表示されます。[中止] をクリックすると、同期は中止します。



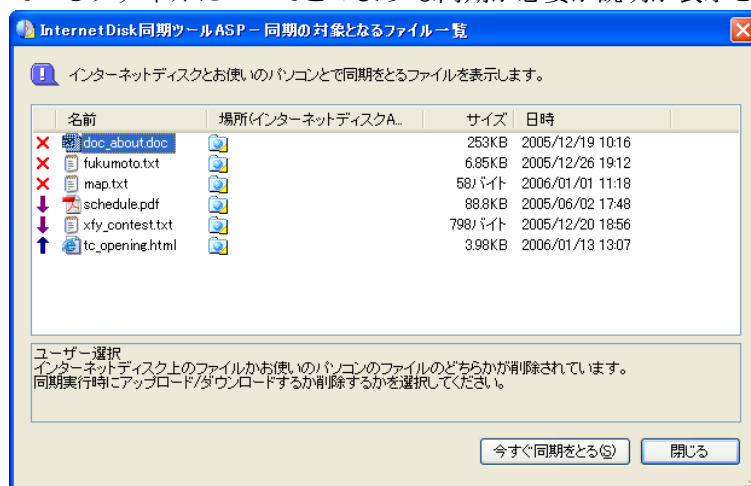
同期の対象となるファイル一覧を表示する

同期を実行する前に、同期の対象となるファイル一覧を表示して個人ディスクと同期対象フォルダの内容を確認できます。

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。

2. [同期の対象となるファイル一覧] を選択します。

ダイアログボックスに同期対象のファイル一覧が表示されます。一覧の下には、選択しているファイルについてどのような同期が必要か説明が表示されます。



[今すぐ同期をとる] をクリックすると、同期をとります。

[閉じる] をクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。

ディスク容量を確認する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。

2. [ディスク容量の確認] を選択します。

ダイアログボックスに個人ディスクの全容量・使用容量・空き容量が表示されます。



[閉じる] をクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。

同期ツールを設定する

同期ツールのオプションを設定する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. [オプション] を選択します。
同期ツールのオプションを設定するダイアログボックスが表示されます。
オプションを設定し、[OK] をクリックします。

同期ツールでは、次のオプションが設定できます。

項目	説明
お客様 ID メンバーID パスワード パスワードを記憶する	起動時などに設定したログインに必要な情報を変更します。
Windows 起動時にこのツールを起動する	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、Windows 起動時に同期ツールも起動します。初期状態は <input checked="" type="checkbox"/> です。
起動時に同期が必要なファイルがあるかチェックする	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、同期ツールが起動してログインしたときに同期が必要かどうか自動的に確認します。初期状態は <input checked="" type="checkbox"/> です。
同期を促すアニメーションを行う	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、同期が必要だと考えられる場合に、タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンをアニメーション表示します。初期状態は <input checked="" type="checkbox"/> です。
同期開始時に確認メッセージを表示する	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、同期をとる前に確認メッセージが表示されます。初期状態は <input checked="" type="checkbox"/> です。
同期完了時に進捗ダイアログボックスを閉じる	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、同期が完了したときに進捗ダイアログボックスが自動的に閉じます。初期状態は <input type="checkbox"/> です。
SSL を使用してデータを暗号化する	<input checked="" type="checkbox"/> にするとインターネット上で送受信するデータを SSL で暗号化し、漏えいする危険性を小さくします。初期状態は <input checked="" type="checkbox"/> です。
大きなファイルのアップロードに失敗するとき	[設定] をクリックすると、データ分割単位を指定します。 プロキシサーバー経由でインターネットに接続しているネットワークなどでは、1 度に送信できるデータのサイズに制限が設定されている場合があります。データ分割単位は、そうした上限に合わせて設定します。

同期対象フォルダを変更する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. [メンテナンス-同期の対象となるフォルダの変更] を選択します。
同期対象フォルダを設定するダイアログボックスが表示されます。

3. 同期対象フォルダを設定します。

同期対象フォルダ

現在の同期対象フォルダが表示されます。初期状態では、ユーザーのホームディレクトリ（初期状態では、C:\Documents and Settings\<ユーザー名>）の下にある My InternetDisk ASP フォルダです。変更するには、[参照] をクリックしてフォルダを指定します。

指定したフォルダの名前が My InternetDisk ASP 以外の場合は、指定したフォルダの下に My InternetDisk ASP フォルダが作成され、このフォルダが同期対象フォルダになります。

フォルダの内容を変更先にコピーする

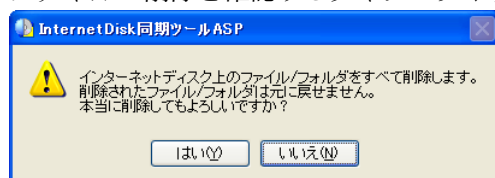
にすると、同期対象フォルダを変更するときに、変更前の同期対象フォルダにあるファイルをすべて変更後の同期対象フォルダにコピーします。初期状態では、です。

[既定の設定に戻す] をクリックすると、同期対象フォルダは初期状態に戻ります。設定が完了したら、[OK] をクリックします。

補足：同期対象フォルダの名前は、必ず My InternetDisk ASP になります。

個人ディスクのファイルをすべて削除する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. [メンテナンス-インターネットディスク上のファイルをすべて削除] を選択します。
ファイルの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。



3. [はい] をクリックします。
個人ディスクのファイルがすべて削除されます。
個人ディスクのファイルを削除した場合、元に戻すことはできないのでご注意ください。

補足：同期情報をリセットする

メニューから [メンテナンス-同期情報のリセット] をクリックすると、同期ツールで内部的に利用している同期情報をすべて削除し、同期対象フォルダと個人ディスクから再取得します。この機能は、正しく同期がとれなくなったときに実行します。通常は実行しません。

同期ツールのバージョンを確認する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. **【バージョン情報】**を選択します。
セットアップされている同期ツールのバージョン情報を表示します。

同期ツールを更新する

1. タスクバーのトレイにある同期ツールのアイコンを右クリックします。
同期ツールのメニューが表示されます。
2. **【メンテナンス-同期ツールの自動更新】**を選択します。
同期ツールの最新版がないか確認し、最新版がある場合には自動的に更新します。

ログインアグリゲータを使う

概要

ログインアグリゲータとは

ログインアグリゲータとは、InternetDisk ASP 関連のツールをアカウント 情報ごと登録し、InternetDisk ASP に簡単にログインできるようにするツールです。

複数のアカウント を使い分ける

従来では、複数のアカウント をもっている場合、インターネットディスクにログインするたびにアカウント 情報を設定しなおす必要がありました。

ログインアグリゲータでは、登録したツールには個々のアカウント 情報が登録されています。このため複数のアカウント の使い分けを、登録したツールのアイコンをクリックすることで簡単に行えます。

登録できるツールは、メンバー管理者ツール、Web ビュー、ディスクマネージャ（バージョン 3.0 以降）です。

操作の流れ

ログインアグリゲータは次のように使います。また InternetDisk ASP 関連以外のツールも同じように登録して利用することができます。

1. ツールを登録する

表示された画面に従って必要な情報を設定するだけで、登録が完了します。

→P.101 アカウント 情報セット の登録

2. 登録したアイコンをクリックする

Web ビューの場合もログイン用パスワードを設定しておけるので、アイコンをクリックするだけでログインでき、すぐ共有フォルダを確認できます。

→P.105 InternetDisk ASP にログインする

動作環境

項目	要件
OS	Windows 11 Windows 10
ハードディスク容量	約 6MB ※セットアップ時、21MB の空き容量が必要です。
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
画面	解像度 800×600 以上、High Color 以上
その他	インターネットに接続できる環境とメールアドレス


※ 最新の詳細情報は、InternetDisk ASP の Web サイトにある「動作環境」
(http://www.idiskasp.com/rules/disk_env.html) を参照してください。


画面の説明





コマンド ボタン

編集 は、アカウント 情報を登録・変更・削除したり、分類用のカテゴリー名を変更したりします。

 は、ログインアグリゲータの起動用パスワードを変更したり、シート内に背景画像を設定したりします。またプロキシサーバーのアカウントを設定することもできます。

 は、各種情報の提示やツールのダウンロード・更新を行います。

 は、ログインアグリゲータを最小化します。

 は、ログインアグリゲータを終了します。

カテゴリーシート

登録されたアカウント情報はアイコンで表示されます。アイコン上にマウスを移動させると登録したアカウント情報がツールチップ表示されます。

1つのカテゴリーシートには、15件のアカウント情報を登録できます。カテゴリーシートは6つあるので、最大90件のアカウント情報を登録できます。

6つのシートを使い分けることで、登録したアカウント情報を分類整理します。タブをクリックしてシートを切り替えます。

インフォメーションビュー

InternetDisk ASP の最新情報を確認できます。

ログインアグリゲータの開始と終了

ログインアグリゲータをダウンロードする

ログインアグリゲータは、<http://www.idiskasp.com/download/> からダウンロードします。

InternetDisk ASP を利用している方は、自由にダウンロードできます。

ログインアグリゲータをセットアップする

ログインアグリゲータを利用するには、セットアップする必要があります。

ダウンロードしたログインアグリゲータのファイルを実行し、画面の指示に従ってセットアップしてください。

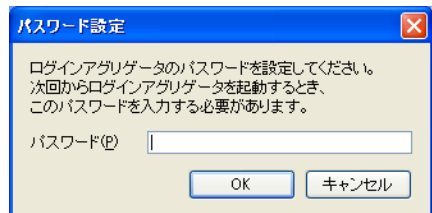
セットアップする際は、あらかじめ Administrators 権限をもつユーザーとして OS にログインするか、実行時に管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

ログインアグリゲータを初めて起動する

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[InternetDisk ASP ログインアグリゲータ] を選択します。

パスワード 設定ダイアログボックスが表示されます。

このパスワード は InternetDisk ASP のログイン用パスワード ではありません。ログインアグリゲータの起動用パスワード を新規に設定します。

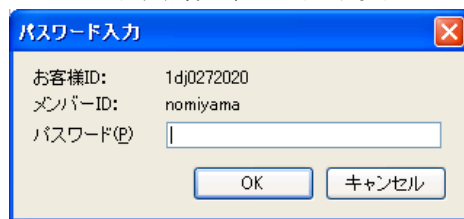


2. ログインアグリゲータの起動用パスワード を入力して、[OK] をクリックします。
ログインアグリゲータが起動します。

ログインアグリゲータを起動する（2回目以降）

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[InternetDisk ASP ログインアグリゲータ] を選択します。

パスワード 入力ダイアログボックスが表示されます。




2. ログインアグリゲータの起動用パスワード を入力して、[OK] をクリックします。
ログインアグリゲータの起動用パスワード は、初めてログインアグリゲータを起動したときに入力したパスワード です。
ログインアグリゲータが起動します。

注意：起動用パスワード を忘れた場合

起動用パスワード を忘れるとログインアグリゲータを起動することはできません。

ログインアグリゲータをいったん削除（アンインストール）して、再インストールすると改めて起動用パスワード を設定することができます。ただし、ログインアグリゲータで設定した内容がすべて消去されるので、アカウント 情報などの登録をやり直してください。

ログインアグリゲータを終了する

1.  をクリックします。
ログインアグリゲータが終了します。

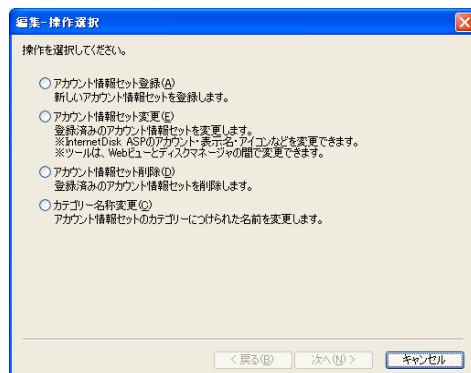
使い方

アカウント 情報セット の登録

登録する

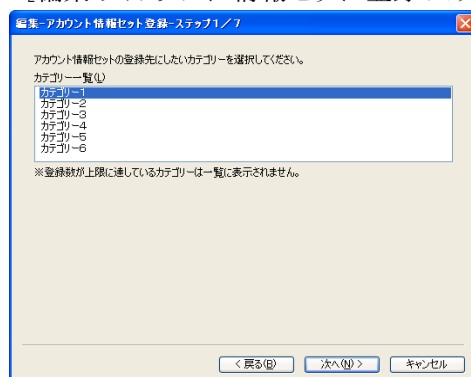
1. **編集** をクリックします。

[編集-操作選択] ダイアログボックスが表示されます。



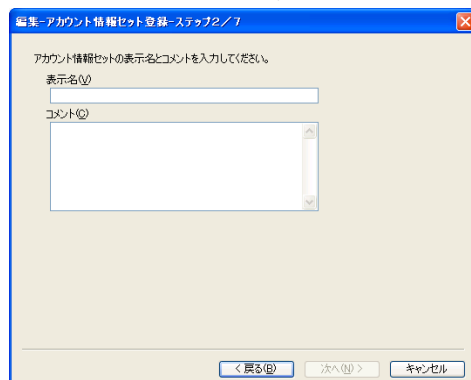
2. 「アカウント 情報セット 登録」をクリックして、[次へ] をクリックします。

[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 1/7] ダイアログボックスが表示されます。



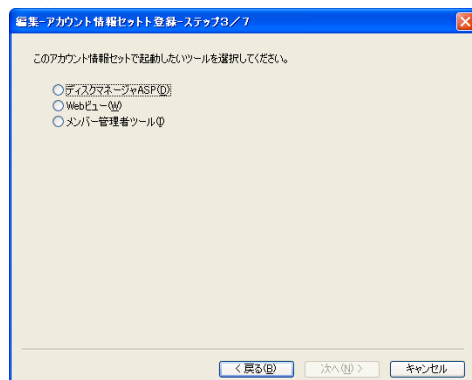
3. 登録するカテゴリーをクリックして、[次へ] をクリックします。

カテゴリー一名はあとで変更できます。→P.106 カテゴリー一名を変更する

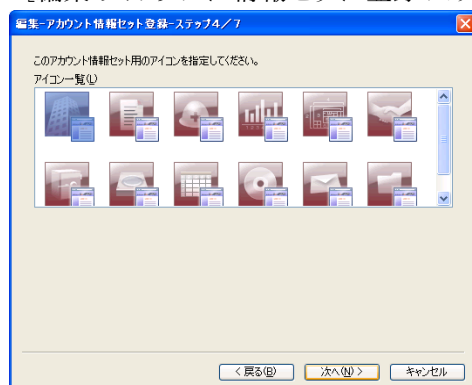


[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 2/7] ダイアログボックスが表示されます。

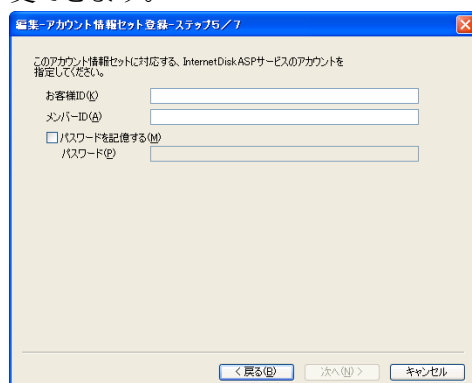
4. 登録するアカウント 情報セット の名前を入力して、[次へ] をクリックします。
[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 3/7] ダイアログボックスが表示されます。



5. 起動してログインするツールをクリックして、[次へ] をクリックします。
[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 4/7] ダイアログボックスが表示されます。



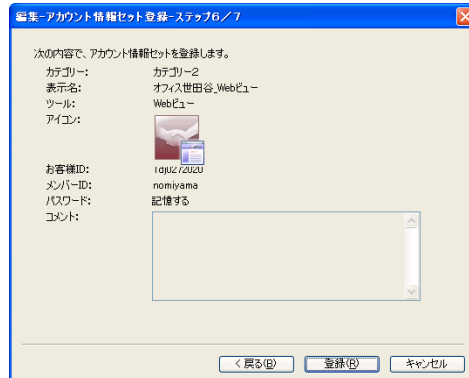
6. 登録するアカウント 情報セット 用に設定するアイコンをクリックして、[次へ] をクリックします。
アイコンは数種類用意されています。その中から自由に設定できます。また、あとで変更できます。



[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 5/7] ダイアログボックスが表示されます。

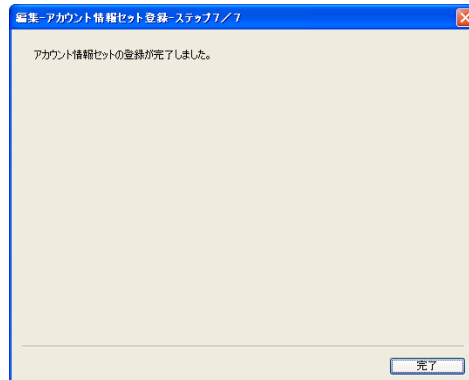
7. アカウント 情報を入力して、[次へ] をクリックします。
「パスワードを記憶する」をクリックして にすると InternetDisk ASP のログイン用パスワードも入力できます。ログイン用パスワードを入力してもダイアログボックス内では「*」と表示されます。

[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 6/7] ダイアログボックスが表示されます。



8. 登録する内容を確認して、[登録] をクリックします。

[編集-アカウント 情報セット 登録-ステップ 7/7] ダイアログボックスが表示されます。

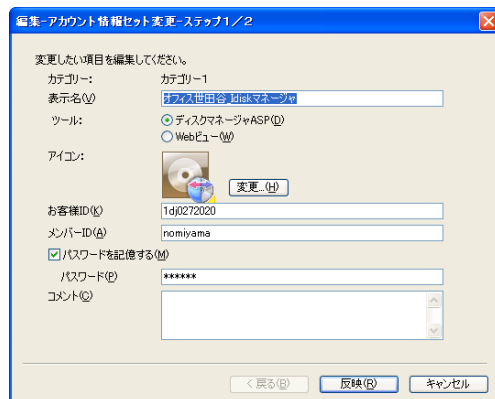


9. [完了] をクリックします。

変更する

1. 変更したいアカウント 情報のアイコン上で右クリックして、[変更] を選択します。

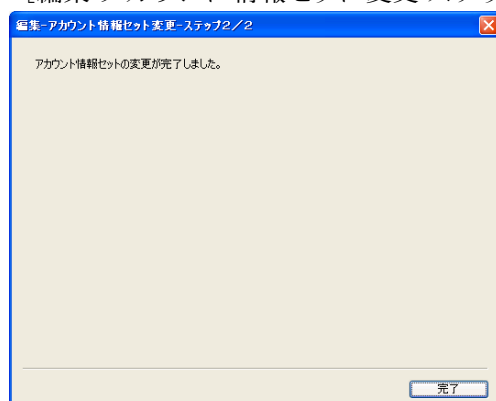
[編集-アカウント 情報セット 変更-ステップ 1/2] ダイアログボックスが表示されます。



編集 をクリックして、編集-操作選択ダイアログボックスから 変更することもできます。

2. 変更する内容を入力して、[反映] をクリックします。

[編集-アカウント 情報セット 変更-ステップ 2/2] ダイアログボックスが表示されます。

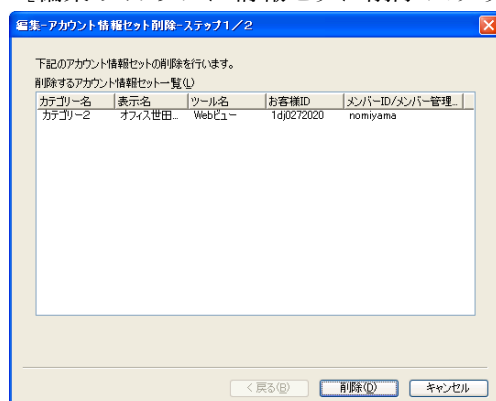


3. [完了] をクリックします。

削除する

1. 削除したいアカウント 情報のアイコン上で右クリックして、[削除] を選択します。

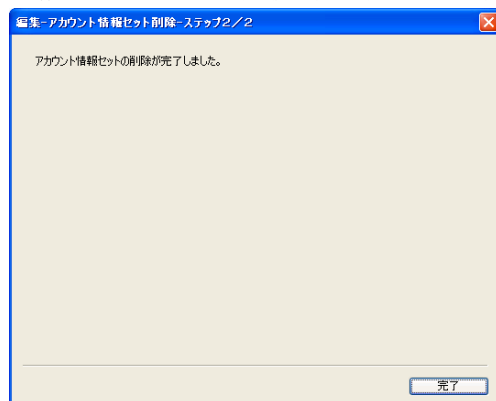
[編集-アカウント 情報セット 削除-ステップ 1/2] ダイアログボックスが表示されます。



編集 をクリックして、編集-操作選択ダイアログボックスから削除することもできます。

2. 削除するアカウント 情報であることを確認して、[削除] をクリックします。

[編集-アカウント 情報セット 削除-ステップ 2/2] ダイアログボックスが表示されます。

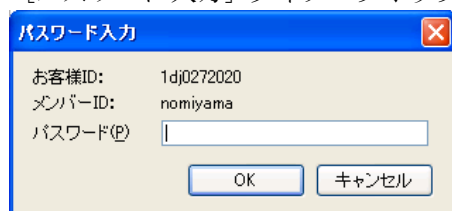


3. [完了] をクリックします。

InternetDisk ASPにログインする

カテゴリ ー内に登録したツールを起動してログインする

1. アカウント 情報のアイコンをクリックします。
[パスワード 入力] ダイアログボックスが表示されます。



「パスワードを記憶する」設定にしている場合は、そのままツールが起動してログインします。

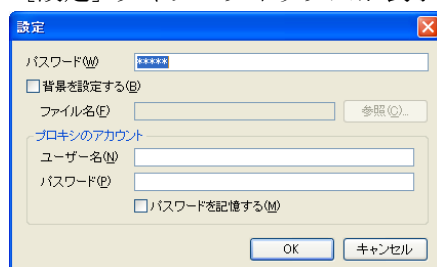
2. InternetDisk ASP のログイン用パスワード を入力して、[OK]をクリックします。
ツールが起動してログインします。

注意：ディスクマネージャを起動する場合

ディスクマネージャがすでに起動している状態でログインアグリゲータからディスクマネージャを起動すると、起動中のディスクマネージャが前面に表示されます。

ログインアグリゲータの設定

1. [設定] をクリックします。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。



2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。
ログインアグリゲータの各項目が設定されます。

ログインアグリゲータの設定項目

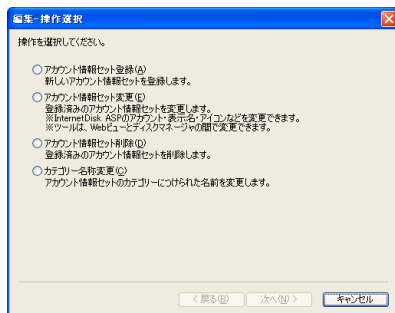
ログインアグリゲータでは、次の項目を設定できます。

項目	説明
パスワード	ログインアグリゲータの起動用パスワードを変更できます。
背景	カテゴリシートに背景の画像を設定できます。
プロキシのアカウント	認証の必要なプロキシサーバー経由でインターネットに接続している環境の場合に、そのアカウント（ユーザー名・パスワード）を設定できます。

カテゴリ名を変更する

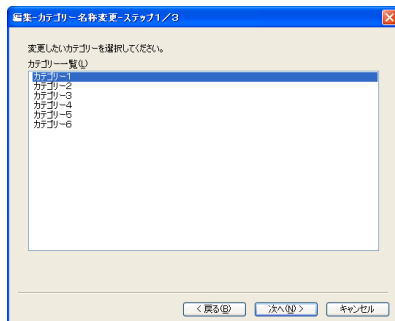
1. **編集** をクリックします。

[編集-操作選択] ダイアログボックスが表示されます。



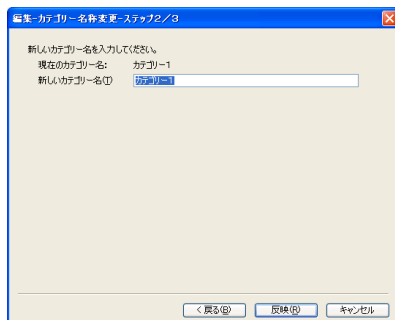
2. 「カテゴリ名称変更」をクリックして、[次へ] をクリックします。

[編集-カテゴリ名称変更-ステップ 1/3] ダイアログボックスが表示されます。



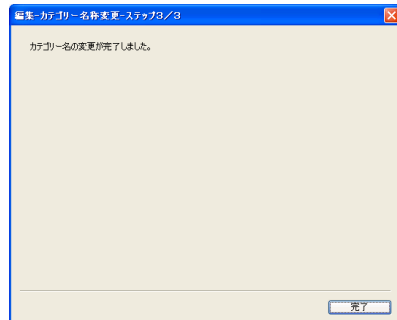
3. 変更するカテゴリ名をクリックして、[次へ] をクリックします。

[編集-カテゴリ名称変更-ステップ 2/3] ダイアログボックスが表示されます。



4. 新しいカテゴリ名を入力して、[反映] をクリックします。

[編集-カテゴリ名称変更-ステップ 3/3] ダイアログボックスが表示されます。

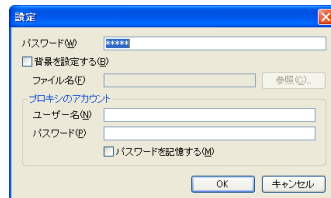


5. [完了] をクリックします。

ログインアグリゲータの起動用パスワードを変更する

1. [設定] をクリックします。

[設定] ダイアログボックスが表示されます。



2. 新しい起動用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ログインアグリゲータの情報を表示する

ログインアグリゲータの使い方を調べる

1. [ヘルプ] をクリックして [使い方の Web ページ] を選択します。

Web ブラウザにログインアグリゲータのヘルプが表示され、使い方を調べられます。

InternetDisk ASP の「よくある質問」を表示する

1. [ヘルプ] をクリックして [FAQ の Web ページ] を選択します。

Web ブラウザに InternetDisk ASP の「よくある質問」が表示されます。

Web ビューを開く

1. [ヘルプ] をクリックして [InternetDisk ASP のサービスサイト] を選択します。

Web ブラウザに Web ビューのログインページが表示されます。

ログインアグリゲータのバージョンを確認する

セットアップされているログインアグリゲータのバージョンを確認します。

1. [ヘルプ] をクリックして [バージョン情報] を選択します。

セットアップされているログインアグリゲータのバージョン情報を表示します。

ツールをダウンロードする

InternetDisk ASP 関連の各ツールをダウンロードするページを Web ブラウザに表示します。

1. をクリックして [ツールのダウンロード] を選択します。
Web ブラウザにツールのダウンロード ページが表示されます。

ログインアグリゲータを自動更新する

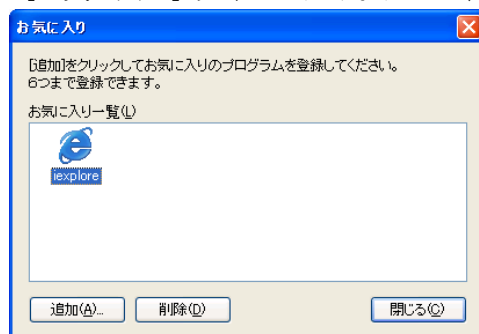
1. をクリックして [ログインアグリゲータの自動更新] を選択します。
ログインアグリゲータの新しいバージョンがリリースされているかいないかを確認し、リリースされている場合はセットアップされているログインアグリゲータを自動的に更新します。

InternetDisk ASP関連以外のプログラムの登録

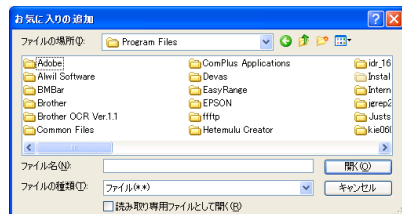
ログインアグリゲータには、InternetDisk ASP 関連以外のプログラムを登録することもできます。

登録する

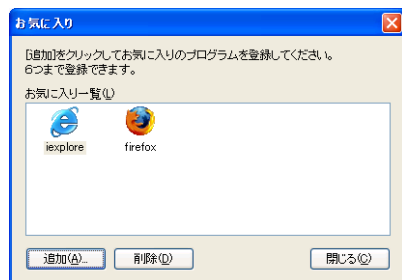
1. をクリックします。
[お気に入り] ダイアログボックスが表示されます。



2. [追加] をクリックします。
[お気に入りの追加] ダイアログボックスが表示されます。



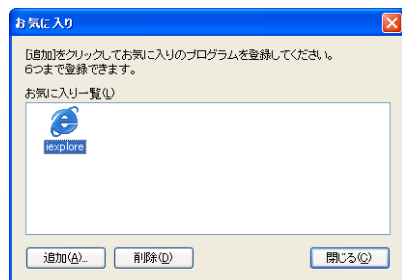
3. 追加するプログラムの実行ファイルを選択して、[開く] をクリックします。
[お気に入り] ダイアログボックスに追加されます。



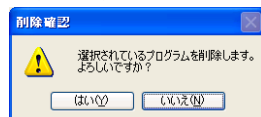
4. [閉じる] をクリックします。

削除する

1. [お気に入り] をクリックします。
[お気に入り] ダイアログボックスが表示されます。



2. 削除するプログラムのアイコンをクリックして、[削除] をクリックします。
[削除確認] ダイアログボックスが表示されます。



3. [はい] をクリックします。
[お気に入り] ダイアログボックスから 選択したプログラムが削除されます。
4. [閉じる] をクリックします。

お気に入りに登録したプログラムを起動する

ログインアグリゲータ下部にある登録したプログラムのアイコンをクリックすると起動します。

付録

付録

新機能と改良点

InternetDisk ASP は、よりよいサービスを提供するため、随時新機能の追加と、改良を行っています。ここでは、まとめて機能アップした場合の改良ポイントを提供開始日ごとにまとめました。

2023.6.19 版での主な改良・変更ポイント

通知メールの迷惑メール対策

通知メールの迷惑メール対策を行いました。それに伴い送信者のメールアドレスが @justsystems.com のものに変更になっています。詳細は通知メール一覧をご参照ください。

2012.10.17 版での主な改良・変更ポイント

登録内容確認書

登録内容確認書を発行できるようになりました。お客様 ID やメンバー管理者の情報などの登録内容を確認できます。

2012.2.15 版での主な改良・変更ポイント

お客様情報の変更

お客様情報の項目で設定・変更できる項目が増えました。

2011.12.12 版での主な改良・変更ポイント

メンバー情報の一括取得

メンバー情報の一括取得機能で、登録されているメンバー情報を CSV 形式のファイルで一気に取得できるようになりました。

メンバー情報の一括変更

あらかじめ準備した CSV 形式のファイルを読み込むことにより、複数のメンバー情報を一括して変更できるようになりました。

共有ディスク・共有フォルダの削除方式選択

共有ディスクや共有フォルダを削除するには、これまでは、保存されているデータを削除して空にする必要がありました。

共有ディスクや共有フォルダにデータが保存されていても、強制的に削除できる選択肢を設け、削除方式が選択できるようになりました。

メンバー検索

メンバー情報の参照や削除、アクセス制限など、個別のメンバーを指定する必要がある場面で、メンバーを検索できるようになりました。

2010.06.21 版での主な改良・変更ポイント

英語版 InternetDisk ディスクマネージャ ASP

英語版 InternetDisk ディスクマネージャ ASP を提供開始しました。これにより、非日本語環境でディスクマネージャを使用できるようになりました。

※ 英語版はノンサポートでのご提供となります。

2008.12.15 版での主な改良・変更ポイント

アクセスログ機能に、管理者操作ログ追加

アクセスログ機能で、管理者やサブ管理者の操作を記録した管理者操作ログを取得できるようになりました。

2008.09.28 版での主な改良・変更ポイント

Blind Read 機能

アクセス権「Blind Read」を新設しました。「Blind Read」権を持つメンバーは、同じ「Blind Read」権を持つほかのメンバーの存在を知ることなく、共有フォルダからファイルを受け取れます。

2007.07.08 版での主な改良・変更ポイント

InternetDisk ディスクマネージャ ASP のバージョンアップ

InternetDisk ディスクマネージャ ASP の最新バージョン 3.3 を提供開始します。これまでに比べてパフォーマンスを改善しており、またお客様よりご指摘のあった細かな改良も加えています。

Web ビューでの共同編集ファイル識別化

「共同編集」状態にあるファイルを Web ビューの画面でも通常のファイルと区別できるようにしました。

2007.02.13 版での主な改良・変更ポイント

ログインアグリゲータの提供

複数のアカウントとツールをまとめて登録し、起動できるログインアグリゲータの提供を開始しました。

2006.10.15 版での主な改良・変更ポイント

セキュリティ機能の改善

セキュリティを高める機能として、パスワードロックやパスワード変更強制機能が、従来の IP アドレス制限/ログイン制御のほかに追加されました。また、ディスクマネージャ・同期ツール・自動実行管理ツール・自動実行ツールにこうした機能が適用されるようになりました。

ファイル検索機能

InternetDisk ASP 上の共有フォルダ一覧や各フォルダから、ファイル名によるファイル検索ができるようになりました。

ワンタイム伝送英語版対応

ワンタイム伝送機能が英語でも使えるようになりました。

2006.06.25 版での主な改良・変更ポイント

ワンタイム伝送機能の追加

オプションサービスとして、メンバーからメンバー以外の人へファイルを受け渡しするワンタイム伝送機能が追加になりました。

InternetDisk ディスクマネージャ ASP のバージョンアップ

メール通知機能などが新規に追加された、InternetDisk ディスクマネージャ ASP3 の提供を開始しました。

2006.02.05 版での主な改良・変更ポイント

IP アドレス制限/ログイン制御の設定

パートナー管理者とメンバー管理者が、IP アドレス制限/ログイン制御を設定できるようになりました。

共有アドレス通知メールの見出し設定

共有アドレス通知メールの見出しを設定できるようになりました。

2005.08.07 版での主な改良・変更ポイント

共有アドレス通知とダウンロード情報の設定

アップロード時に行われる共有アドレス通知とダウンロード情報の設定について、メンバー管理者が初期状態を詳細に設定できるようになりました。

共有アドレス通知済みの表示

共有メンバーがダウンロード情報を表示するときに、共有アドレス (URL) を通知したかどうかを表示できるようになりました。

2005.01.24 版での主な改良・変更ポイント

共同編集機能

オプションサービスとして、共有フォルダ内のファイルを共有メンバー間で編集できるようになりました。

InternetDisk ディスクマネージャ ASP のバージョンアップ

共同編集機能に対応した InternetDisk ディスクマネージャ ASP2.0 の提供を開始しました。

2004.04.18 版での主な改良・変更ポイント

セキュリティ機能の向上

パスワードを変更するときに、現在のパスワードも入力するようにしました。

ダウンロード通知機能

共有フォルダのファイルダウンロードについて情報を取得できるようになりました。

ファイルをアップロードしたメンバーはダウンロードされるたびに自動的にメール通知を受けたり、ファイルの詳細画面で現在のダウンロード状況を、共有メンバーが確認できたりするようになりました。

この機能を利用するには、メンバー管理者ツールで設定する必要があります。

ウイルスチェック結果の明確化

ウイルスチェックの結果「ウイルスなし」と「修復済み」を明確に区別し、別々のアイコンで表示するようにしました。従来は、同じものとして扱っていました。

2004.01.25 版での主な改良・変更ポイント

セキュリティ向上

パスワードを入力する画面での処理を変更し、メンバーの方がご利用のコンピュータからはパスワードを解読できないようにしました。

ログアウト時の表示ページ

ログアウトすると、ログイン画面を表示するようにしました。

2003.09.28 版での主な改良・変更ポイント

URL だけで共有フォルダおよびファイルへ直接アクセスできる(Webビュー)

Web ブラウザに URL を入力するだけで、共有フォルダの一覧または共有フォルダ内の特定ファイルを直接表示できるようになります。

URL 通知機能でファイルをアップロードしたメンバーから通知メールを受信すると、連絡された URL をクリックするだけでスムーズに共有フォルダにアクセスできます。

アップロードしたファイルへのアクセス URL を共有メンバーに通知(Webビュー)

Web ビューでファイルをアップロードすると同時に、アップロードしたことをメンバーに伝えるメールを発信できる機能が用意されます。

発信メールには、該当ファイルにアクセスできる URL とともに、アップロードした本人のメッセージを添えることもできます。

登録完了通知(メール)の送信形式が変わります

登録完了通知や共有フォルダ作成などの連絡メールは「メンバー管理者」のメールアドレスから届くようになります。

また、メールの文中には、メンバー管理者からのメッセージが記載されるようになります。はじめて InternetDisk ASP を利用するときに必要な ID やパスワード連絡が、通常の業務メールと同じように自然に受け取ることができます。

また質問したい内容があったときにはそのまま連絡メールに返信することで、メンバー管理者へ連絡ができるようになります。

共有フォルダへアクセスできるメンバーの一覧表示

Web ビューや InternetDisk ディスクマネージャ ASP の共有フォルダ一覧画面で、その共有フォルダにアクセス権をもっているメンバーを一覧表示できるようになります。

ウイルスチェックサービス

オプションサービスとして、提供開始しました。

通知メール一覧

メンバーに送信される通知メール一覧

連絡内容	送信者	見出し	
パスワードを忘れた場合	idiskasp@justsystems.com	パスワード再設定を続けてください	
IPアドレス制限の新規設定		IPアドレス制限が設定されました	
IPアドレス制限の設定解除		IPアドレス制限が解除されました	
IPアドレス制限の設定変更		IPアドレス制限の設定が変更されました	
パスワードロックの作動	idiskasp_pwchk@justsystems.com	パスワードロックが作動しました	
連続したログイン失敗の発生		連続したログイン失敗が検知されました	
メンバー登録	idiskasp@justsystems.com	メンバー登録完了通知	
共有ディスク作成		共有フォルダへのアクセス権追加連絡	
共有ディスク容量の変更		共有ディスク名・サイズ変更連絡	
共有フォルダのアクセス権追加		共有フォルダへのアクセス権追加連絡	
共有ディスクのアクセス権解除		共有ディスクのメンバー解除連絡	
共有ディスクの削除		共有ディスクの削除連絡	
共有ディスク名の変更		共有ディスク名・サイズ変更連絡	
共有フォルダ名の変更		共有フォルダ名・アクセス権変更連絡	
共有フォルダのアクセス権解除		共有フォルダのアクセス権が解除されました	
共有フォルダの削除		共有フォルダ削除連絡	
共有アドレス通知		共有フォルダへのアクセス方法をご連絡いたします	
ファイルアップロード時の共有アドレス通知		共有フォルダ内にファイルを追加しました	
共同編集開始		共有ファイルの共同編集設定連絡	
ダウンロード通知		idiskasp_notice@justsystems.com	共有フォルダからのファイルダウンロード連絡
ゲストが伝送用フォルダからファイルをダウンロードしたとき			ゲストによるファイルのダウンロード連絡

ワンタイム伝送機能のゲスト に送信される通知メール一覧

連絡内容	送信者	見出し
メンバーがワンタイム伝送を開始したとき	idiskasp@justsystems.com	ファイルの預かり連絡 (パスワードを設定してください)
パスワード設定が完了したとき		ファイルのダウンロード方法連絡
メンバーが伝送用フォルダを削除した場合		伝送用フォルダの削除連絡

メンバーの状況別お問い合わせ先一覧

状況	問い合わせ先 または対処方法	備考
お客様 ID を正しく入力しているはずなのに、ログインできない	お客様 ID は、次の命名ルールになっています。 nccnnnnnnn : 10 けた n : 数字 c : 英小文字	「0 (数字)」と「O (英字)」、「1 (数字)」と「I (英字)」は特に紛らわしいので注意してください。
お客様 ID・メンバー ID・メンバー ID のパスワードを忘れた	メンバー管理者	
メンバーツールの動作がおかしい		
サーバーのメンテナンス予定など、運用状況を知りたい	運用状況掲示板で確認	
ディスク容量を増やしたい	メンバー管理者	

エラーメッセージ一覧

Webビュー エラーメッセージ一覧

番号	メッセージ	備考
0	サーバーに接続できません。	InternetDisk ASP のサーバーに障害が発生している場合に表示されます。
1	サーバーが混雑しています。時間をおいて接続しなおしてください。	ネットワークの障害などが原因で InternetDisk ASP のサーバーに接続できない場合に表示されます。
100	サービスが利用できません。	
101	インターネットディスクの認証に失敗しました。	
102	仮登録を完了してください。	
103	仮登録有効期限切れです。	
104	お客様との契約はすでに終了しています。	
105	サービスを利用できません。	
111	インターネットディスクの認証に失敗しました。	
113	インターネットディスクの認証に失敗しました。	
114	パスワードの有効期限が切れました。	
170	現在、ご契約社様の都合により、サービスをご利用いただけません。	
200	入力されていない項目があります。	
201	パスワードが未入力もしくは不適切です。 6文字以上、15文字以内で指定してください。 使用できる文字は半角の英数字と、ピリオド「.」、ハイフン「-」、アンダースコア「_」です。 また、以前と同じパスワードを指定することはできません。	
202	パスワードとパスワードの再入力が入力された内容が異なります。	
203	パスワードが片方しか入力されていません。 「パスワード」と「パスワードの再入力」の両方に入力してください。	
300	メッセージに指定できる最大文字数を超過しています。	
301	メッセージが指定されていません。	
302	通知先メールアドレスに指定できる最大人数を超過しています。	
303	通知先にメールアドレスとして不正な文字を含むアドレスが指定されています。	
304	通知先メールアドレスが指定されていません。	

番号	メッセージ	備考
305	メッセージが送信できませんでした。	
306	メッセージに不正な文字が含まれています。	
307	タイトルに指定できる最大文字数を超過しています。	
308	タイトルに不正な文字が含まれています。	
3000	ファイル、またはフォルダが見つかりません。	
3001	このファイル、またはフォルダを利用することができません。	
3002	このファイルは編集中です。時間をおいてもう一度操作してください。	
3003	同名のファイルまたはフォルダがすでに存在しています。	
3004	この操作はフォルダに対しては実行できません。	
3005	この操作はファイルに対しては実行できません。	
3006	ファイル名、またはフォルダ名に使用できない名前です。	
3007	共有フォルダは移動・削除できません。	
3008	公開フォルダを含んでいるため移動・削除・名前の変更はできません。	
3009	トップフォルダは名前を変更できません。	
3010	フォルダの上書きはできません。	
3011	同名のファイルが存在しています。	
3012	サーバーでエラーが発生しました。	
3013	名前を入力してください。	
3014	ファイル名が違います。	
3015	ファイルを指定してください。	
3016	ファイルまたはフォルダを選択してください。	
3017	フォルダがありません。フォルダを作成してください。	
3018	受け側のフォルダは送り側のサブフォルダです。	
3019	送り側と受け側のフォルダが同じです。	
3020	ファイル、もしくはフォルダは公開されていません。	
3021	以下のファイルはアップロードできませんでした。	
3022	フォルダ内にファイルが存在しません。	
3023	操作対象となるディスクの空き容量が不足しています。不要なファイルを削除してください。※ディスクを増量する場合は、メンバー管理者に依頼してください。	
3024	ファイル名またはフォルダ名が長すぎます。	
3025	移動先のフォルダが存在しません。	
3026	コピー先のフォルダが存在しません。	
3027	アップロード先のフォルダが存在しません。	
3028	フォルダが選択されていません。	
3029	選択されたファイルが見つかりませんでした。	

番号	メッセージ	備考
3030	対象のファイルまたはフォルダは、現在アクセスできない状態です。時間をおいてもう一度操作してください。	
3031	同名のフォルダが存在します。別のフォルダにアップロードするか、名前を変えてからアップロードしてください。	
3032	一部のファイルを移動することができませんでした。	
3033	一部のファイルをコピーすることができませんでした。	
3034	ディスクが選択されていません。	
3035	以下のファイルでウイルスが発見されました。	メンバーがファイルをアップロードまたはダウンロードしようとしたときに、ウイルスが検出されると表示されます。
3036	通知先が選択されていません。	
3037	共有ディスクが見つかりません。	
3038	共有フォルダが見つかりません。	
3500	ファイルの一覧を表示できません。	
3501	ファイルの内容を表示できません。	
3502	ファイルをダウンロードできません。	
3503	ファイル・フォルダの詳細を表示できません。	
3504	ファイル・フォルダをコピーできません。	
3505	ファイル・フォルダを移動できません。	
3506	ファイル・フォルダを削除できません。	
3507	フォルダを作成できません。	
3508	ファイルをアップロードできません。	
3509	ファイルの編集開始ができませんでした。	
3510	ファイルの編集反映ができませんでした。	
3511	ファイルの編集取消ができませんでした。	
3512	ファイル・フォルダの名前を変更できません。	
3513	不明な操作中にエラーが発生しました。	
3514	フォルダを切り換えられません。	
3515	ファイル・フォルダを公開できません。	
3516	フォルダを非公開にできません。	
3517	フォルダの公開/非公開ができません。	
3518	公開表示名を変更できません。	
3519	ログインできません。	
3520	ログアウトできません。	
3521	ディスクの一覧を表示できません。	
3522	共有フォルダの一覧を表示できません。	
3523	共有メンバーの一覧を表示できません。	
3524	通知メールの設定でエラーが発生しました。	

番号	メッセージ	備考
3525	伝送フォルダの一覧を表示できません。	
3526	ワнтаイム伝送(1/2)画面を表示できません。	
3527	ファイルをワнтаイム伝送できません。	
3528	メールアドレス登録画面を表示できません。	
3529	フォルダの削除画面を表示できません。	
3530	伝送先ゲストの詳細画面を表示できません。	
3531	ファイルの詳細画面を表示できません。	
3532	ファイルを検索できません。	
3533	検索結果を表示できません。	
3534	ファイルを削除できません。	
3535	グループの詳細を表示できません。	
3536	グループのメンバー一覧を表示できません。	
3537	フォルダ・ファイルの操作中にエラーが発生しました。	
3538	同時アクセスなどからファイルを保全するためロックされました。時間をおいてもう一度操作してください。	
3539	同時アクセスなどからファイルを保全するためロックされました。時間をおいてもう一度操作してください。	
3540	サーバーが混雑しています。時間をおいてもう一度操作してください。	
3541	サーバーが混雑しています。時間をおいてもう一度操作してください。	
3542	サーバーが混雑しています。時間をおいてもう一度操作してください。	
3543	サーバーが混雑しています。時間をおいてもう一度操作してください。	
3544	サーバーが混雑しています。時間をおいてもう一度操作してください。	
4000	フォルダを共有できませんでした。	
4001	フォルダの共有を中止できませんでした。	
4002	アクセス権が変更できませんでした。	
4010	共有できないフォルダが指定されています。	
4011	フォルダは共有されていません。	
4012	フォルダが指定されていません。	
4013	共有は既に解除されています。	
4020	共有名が設定されていません。	
4021	共有名が指定できる最大文字数を超過しています。	
4022	共有名はすでに使用されています。	
4023	共有名に使用できない文字が含まれています。	
4030	共有メンバーが指定できる最大人数を超過しています。	
4031	共有メンバーが指定されていません。	

番号	メッセージ	備考
4032	共有メンバーがいませんでした。	
4033	共有メンバーが削除できませんでした。	
4034	MyWebTop 利用者が指定されていません。	
5000	フォルダを公開できませんでした。	
5001	フォルダを非公開にできませんでした。	
5002	公開アドレスを取得できませんでした。	
5010	フォルダが公開されていません。	
5020	公開ページに表示する名前を変更できませんでした。	
5021	公開ページの表示名が取得できませんでした。	
5023	公開ページの表示名として指定できる最大文字数を超えています。	
6000	キーワードが入力されていません。	
6001	キーワード数が指定可能な最大値を超えています。	
6002	指定されているキーワードが長すぎます。	
6003	キーワードに不正な文字が含まれています。	
6004	検索対象が多すぎます。	
6005	検索条件に該当する件数が多すぎます。条件を絞って再度検索してください。	
6006	該当するファイルが見つかりませんでした。	
6007	権限がないため削除できません。	
7000	ウイルスチェックでエラーが発生しました。	ウイルスチェック実行時に予期していないエラーが発生すると表示されます。
7001	駆除できないウイルスが発見されました。	ウイルススキャンエンジンで自動的に駆除できないウイルスが発見された場合に表示されます。
7002	ウイルスチェックに失敗しました。	
7003	ウイルスが発見されたため操作を取り消しました。	
7004	ファイルの修復が行われました。	ウイルスに感染したファイルの修復が完了したときに表示されます。
8000	共同編集ファイルを含むフォルダや共同編集ファイルに対しては、作業できません * 「共同編集ファイル」は共同編集モードにあるファイルです。	
9000	ゲスト（ファイルの伝送先）数がメンバー管理者によって許諾された同報ゲスト上限割当数を超えるため、ワンタイム伝送を実行できません。 ゲスト数が同報ゲスト上限割当数よりも小さくなるように、伝送先を設定しなおしてください。	

番号	メッセージ	備考
9001	伝送件数が同時預かり件数を超えるため、ワンタイム伝送を実行できません。 すでにお預かりしている伝送用フォルダを削除するか、預かり期限が切れてから実行してください。	
9002	登録メールアドレスの数が規定値を超えます。 登録メールアドレスを設定しなおしてください。	
9003	メールアドレスに利用できない文字が含まれています。または、メールアドレスが不適切です。64文字以内で指定してください。	
9004	対象のメールアドレスが選択されていません。	
9005	メールアドレスが入力されていません。	
9006	伝送用フォルダを選択してください。	
9007	通知可能なゲストは存在しません。	
9008	ワンタイム伝送で利用できる転送容量以上のファイルサイズを伝送しようとしてしました。 ファイルを合計で転送容量以下となるファイルサイズを伝送するように再設定してください。	
9009	不正なアクセスです。メールに記載されている URL を正しく入力してください。	
9012	ファイルサイズの合計が規定値を超えるため、ワンタイム伝送を実行できません。 ファイルサイズの合計が規定値よりも小さくなるように、伝送するファイルを設定しなおしてください。	
9013	すでに同じ名前の伝送用フォルダが存在します。	
9014	ゲスト（ファイルの伝送先）数がメンバー管理者によって許諾された同報ゲスト上限数を超えるため、ワンタイム伝送を実行できません。 ゲスト数が同報ゲスト上限数よりも小さくなるように、伝送先を設定しなおしてください。	
9015	すでに同じメールアドレスが設定済です。	
9016	URL のパラメータが不適切です。正しい URL を指定してください。ログイン状態の場合は一度ログアウトしてから再度お試しください。	
9017	本来とは異なる手順で操作を行ったためワンタイム伝送 2/2 画面を表示することができません。	
9018	アルファベットの大文字小文字だけが異なるメールアドレスは同じものとして扱われ、重複して設定することはできません。	
9019	同じメールアドレスを重複して設定することはできません。	
9020	伝送用フォルダは、同時に複数の削除はできません。	

パスワード 変更・再設定時のエラーメッセージ一覧

番号	メッセージ	備考
105	URL のパラメータが不適切です。 メールに記載されている URL にアクセスしてください。	メールに記載されている URL に改行が入っていないか確認してください。
106	パスワードの再設定ができません。 パスワード再設定のメールを送信してから 24 時間以内にパスワード再設定の手続きを行ってください。	再度パスワード再設定のメールを送信してください。
154	連続してログインに失敗したため、パスワードロックが作動しました。 パスワードロックの解除は、メンバー管理者に依頼してください。	
159	パスワードロックが作動しているため、パスワードを変更できません。 パスワードを変更する前に、メンバー管理者に依頼してパスワードロックを解除してください。	

ゲストログイン時のエラーメッセージ一覧

番号	メッセージ	備考
112	インターネットディスクの認証に失敗しました。	
9010	削除されたか、預かり期限が切れているため、指定された伝送用フォルダが見つかりません。	
9011	ダウンロード回数が規定値を超えるため、指定されたファイルの受け取りダウンロードを実行できません。	

InternetDiskディスクマネージャASP エラーメッセージ一覧

メッセージ	備考
正しく通信できませんでした。接続し直してください。 次のような原因が考えられます。 ・ LAN・モデムなどのケーブルが外れている。 ・ 途中の通信経路(プロバイダーなど)で通信できない状態である。 ・ Microsoft Internet Explorer の設定が正しくない。 ・ インターネットディスクサービスがメンテナンス中である。	
ゲートウェイあるいは Proxy でタイムアウトしました。 タイムアウトしました。接続し直してください。	
Proxy の認証に失敗しました。 次のような原因が考えられます。 ・ ユーザー名またはパスワードが間違っている。	
ドライブにディスクを挿入してください。	
ライトプロテクトされています。	
サーバーが混雑しています。 時間をおいて接続し直してください。	
メソッドが許可されませんでした。	
フォルダは存在しません。	
受け側のフォルダは、送り側フォルダのサブフォルダです。	
ファイルまたはフォルダは存在しません。	
アクセスできません。ファイルは使用中の可能性が あります。	
アクセスが拒否されました。	
ファイル名は、無効かまたは長すぎます。別の名前を指定してください。	
パソコンの空き領域が不足しています。 不要なファイルを削除して再度実行してください。	
インターネットディスクの空き領域が不足しています。 不要なファイルを削除して再度実行してください。	
送り側と受け側のフォルダが同じです。	
送り側と受け側のファイル名が同じです。	
ファイル名は、無効かまたは長すぎます。別の名前を指定してください。	
名前に使用できない文字が含まれています。	InternetDisk ASP のフォルダ名やファイル名には、"* / : < > ? ¥ および機種依存文字は使えません
ファイル名またはフォルダ名を入力してください。	
指定されたファイル名またはフォルダ名は既に存在 します。	

メッセージ	備考
実行できません。 共有フォルダのアクセス権が Read です。	
ディスク/共有フォルダを表示できません。 [切替]を押して、ディスク/共有フォルダを切り替えてください。	
インターネットディスクの認証に失敗しました。 次のような原因が考えられます。 ・ IP アドレス制限（お使いのネットワークからは、接続が許可されていません） ・ ログイン制御（ログイン許可期間を過ぎているか、ログインが許可されていない日時に接続しています。）	
現在、ご契約社様の都合により、サービスをご利用いただけません。	
原因不明のエラーです。	

共同編集機能のエラーメッセージ一覧

メッセージ	備考
共同編集機能のオプション契約がありません。	
共同編集設定者は存在しないか Read/Write 権限がありません。	
指定したファイルはすでに共同編集ファイルです。	
ファイルが共同編集ファイルではありません。	
ファイルが共同編集ファイルの編集中です。	
ファイルが共同編集の確定状態ファイルではありません。	
共同編集ファイルの編集中なので、ディスクマネージャを終了できません。 ディスクマネージャを終了するためには、 編集起動中のアプリケーションを終了するか、編集終了を実行してください。	
編集起動できないファイルです。	
指定先フォルダ/ファイルに共同編集ファイル○○が見つかりました。 このファイルは上書きアップロードできません。現在の処理を中止します。 上書きアップロードするためには、 このファイルを通常ファイルに戻してから再操作を行ってください。	○○はファイル名を表します。
指定先フォルダ/ファイルに共同編集ファイル ○○ が見つかりました。 このファイルはコピーできません。現在の処理を中止します。 コピーするためには、 このファイルを通常ファイルに戻してから再操作を行ってください。	○○はファイル名を表します。
指定元フォルダ/ファイルに共同編集ファイル ○○ が見つかりました。 このファイルは移動/名前の変更できません。現在の処理を中止します。 移動/名前の変更するためには、 このファイルを通常ファイルに戻してから再操作を行ってください。	○○はファイル名を表します。
削除対象のフォルダ/ファイルに共同編集ファイルが存在します。 共同編集ファイルは削除できません。 共同編集ファイルを確定・終了してから削除を再実行してください。	

InternetDisk同期ツールASP エラーメッセージ一覧

メッセージ	備考
Windows ソケットを初期化できませんでした。	Windows を再起動してください
インターネットディスクに接続できません。 次のような原因が考えられます。 ・LAN・モデムなどのケーブルが外れている。 ・途中の通信経路(プロバイダーなど)で通信できない状態である。 ・Microsoft Internet Explorer の設定が正しくない。 ・インターネットディスクサービスがメンテナンス中である。 【運用状況の確認】 ボタンで確認いただけます。	
インターネットディスクの認証に失敗しました。 次のような原因が考えられます。 ・お客様 ID またはメンバーID またはパスワードが間違っている。 ・インターネットディスクの利用申し込みをしていない。	
<ファイル名> のファイル名またはフォルダ名が長すぎます。 名前を半角 80 文字以内にして再度同期をとってください。	
<ファイル名> 原因不明のエラーで、同期をとれませんでした。 再度同期をとってください。	
お使いのパソコンの空き領域が不足しています。 不要なファイルを削除して再度同期をとってください。	
インターネットディスクの空き領域が不足しています。 同期が中断されました。 不要なファイルを削除して再度同期をとってください。	
<フォルダ名> フォルダが見つかりません。 インターネットディスクと同期をとるためのフォルダを指定してください。	表示されるダイアログボックスで、同期対象フォルダを設定してください
同期をとれませんでした。 次のような原因が考えられます。 ・複数のマシンから同時に同期をとろうとしている。 ・インターネットディスク上に、ファイル名がユニコードのファイルが存在する。	しばらく待ってから同期をとってください
同期をとれませんでした。 このパソコンでのファイルの長さ、フォルダ階層の上限を超えています。 同期をとった別のパソコンで、ファイルの長さ、フォルダ階層を少なくして、再度同期をとってください。	
<ファイル名> は他のアプリケーションで使用中のため更新できません。 アプリケーションを終了して再度実行してください。	
長すぎるファイル名またはフォルダ名が お使いのパソコンに存在します。 名前を短くして再度同期をとってください。	

メッセージ	備考
<p>インターネットディスクサーバーと、プログラムのバージョンが一致しません。 【メンテナンス-IDisk ツール】を実行して IDisk ツールを最新にしてください。</p>	
<p>正しく通信できませんでした。 再度同期をとってください。</p>	
<p>指定されたフォルダにアクセスできません。 別のフォルダを指定してください。</p>	
<p>ファイルを削除できませんでした。</p>	
<p><ファイル名> 現在ほかの人がファイルを編集中です。 しばらく時間をおいてから接続し直してください。</p>	
<p>同期情報をリセットできませんでした。</p>	
<p><フォルダ名> お使いのパソコンに同名のフォルダが存在するため、 ファイルをダウンロードできません。 フォルダ名を変更して再度同期をとってください。</p>	
<p><ファイル名> お使いのパソコンに同名のファイルが存在するため、 フォルダをダウンロードできません。 ファイル名を変更して再度同期をとってください。</p>	
<p>インターネットディスクへの接続が切断されました。</p>	
<p>インターネットディスクサーバーが混雑しています。 時間をおいて接続し直してください。</p>	<p>しばらく待ってから同期をとってください</p>
<p>現在、ご契約社様の都合により、サービスをご利用いただけません。</p>	
<p>原因不明のエラーです。</p>	

ログインアグリゲータ エラーメッセージ一覧

メッセージ	備考
パスワードを入力してください。	
パスワードが間違っています。	ログインアグリゲータのパスワード認証に失敗
このパソコンは、ログインアグリゲータの情報を作成したパソコンではないため、起動できません。	
背景を正しく設定できませんでした。	
ディスクマネージャ ASP が見つかりません。ディスクマネージャ ASP が正しくセットアップされていない可能性があります。	
指定されたカテゴリー名はすでに存在します。	
コメントは 200 文字以内で指定してください。	
インターネットディスクの認証に失敗しました。 次のような原因が考えられます。 ・ IP アドレス制限（お使いのネットワークからは、接続が許可されていません） ・ ログイン制御（ログイン許可期間を過ぎているか、ログインが許可されていない日時に接続しています。）	
連続してログインに失敗したため、パスワードロックが作動しました。 パスワードロックの解除は、メンバー管理者に依頼してください。	
パスワードの有効期限が切れました。 パスワードを変更してからやり直してください。	ログインが禁止されている場合もあります。
インターネットディスクの認証に失敗しました。 次のような原因が考えられます。 ・ お客様 ID、メンバー ID またはパスワードが間違っている。 ・ インターネットディスクの利用申し込みをしていない。	
正しく通信できませんでした。接続し直してください。 次のような原因が考えられます。 ・ LAN・モデムなどのケーブルが外れている。 ・ 途中の通信経路(プロバイダーなど)で通信できない状態である。 ・ Microsoft Internet Explorer の設定が正しくない。 ・ インターネットディスクサービスがメンテナンス中である。	
ゲートウェイまたは Proxy でタイムアウトしました。	
タイムアウトしました。接続し直してください。	
サーバーが混雑しています。 時間をおいて接続し直してください。	
現在、ご契約社様の都合により、サービスをご利用いただけません。	
原因不明のエラーです。	